

燃料槽容量 二九・五五立
 氯化器 下回通風式
 点火装置 バツテリコイル式
 点火順序 一・二・三・四
 点火栓 メトリック
 蓄電池 六ボルト
 點燈装置 —
 機關潤滑 壓送及飛沫式
 冷却装置 自然循環水冷却
 放熱器 細管式
 製造本社 フォード・モーター・コンパニー
 日本組立販賣元 日本フォード株式会社

▲シャシ部
 シヤシ重量 八〇五KG
 最大重量 —
 軸 距 二・二八六米
 輪 距 一・一四三米
 全 長 三・六九五米
 全 幅 一・四四八米
 全 高 一・六〇〇米
 變速裝置 選擇滑動型
 變速比 —
 後車軸減速比 五・五對一
 最高速度 —
 クラッチ 乾燥單盤式
 制動裝置 機械式内部摩擦四輪制動
 制動面積 七・八平方呎

車 輪 鋼絞型
 タイヤ 一六×五・〇〇
 操向裝置 ウォームアンドナット式
 操向減速比 一〇對一
 發 條 半楯田型構置式
 前車軸 Iビーム
 後車軸 四分三浮動式
 最小回轉半徑 一〇・〇五八米
 最路上隙 二〇九呎

フォード一九三八型V8バス・
 シヤシ部

▲機 關 部
 機關製作社及型 自社製V型
 氣筒數 八氣筒
 氣筒内徑 七八呎
 行 程 九五呎
 氣筒頭形式 L頭式
 ビストン押のけ量 三六二立方呎
 壓縮比 六・二對一
 最大回轉數 毎分三八〇〇廻轉
 最大制動馬力 八五馬力
 警視馬力 三〇馬力
 弁配列 L型
 機關支持 三點支持
 軸受數 四個
 カム軸回轉 高壓縮ベークライト製カムシヤ

燃料供給 機械式燃料ポンプ
 燃料槽容量 —
 氯化器 複式下回通風式
 点火装置 直接驅動單一式
 点火順序 一・五・四・八・一・六・三・七・二
 点火栓 —
 蓄電池 一〇〇アンペア時
 點燈装置 —
 機關潤滑 直接壓送式
 冷却装置 —
 放熱器 細管式
 製造本社 フォード・モーター・コンパニー
 日本組立販賣元 日本フォード株式会社

▲シャシ部
 シヤシ重量 —
 最大重量 五七三八呎
 軸 距 一・三二・五吋(三・三四〇米)
 輪 距 前部一・四四八米後部一・四五〇米
 全 長 —
 全 幅 —
 全 高 —
 變速裝置 選擇滑動齒車式
 後車軸減速比 五・一四對一
 クラッチ 乾燥單盤式
 制動裝置 フォード式安全ブレーキ
 制動面積 三・五三平方呎

車 輪 テーパー鋼ディスク型
 タイヤ 六・〇〇×二・〇一六ブライ
 三二×六八ブライ
 操向裝置 ウォーム及ローラー式
 操向減速比 一八・四對一
 發 條 後部半楯田型
 前車軸 「I」ビーム落し鍛造
 後車軸 全浮動式
 最小回轉半徑 一四・〇二米
 最路上隙 —

フォード三八年型V8トラック

▲機 關 部
 機關製作社及型 自社製V型
 氣筒數 八氣筒
 氣筒内徑 七八呎
 行 程 九五呎
 氣筒頭形式 L頭式
 ビストン押のけ量 三六二立方呎
 壓縮比 六・二對一
 最大回轉數 毎分三八〇〇廻轉
 最大制動馬力 八五馬力
 警視馬力 三〇馬力
 弁配列 L型
 機關支持 四點支持
 軸受數 三個
 カム軸回轉 高壓縮ベークライト製カムシヤ

燃料供給 フトギヤ
 燃料槽容量 機械式燃料ポンプ
 氯化器 複式下回通風式
 点火装置 直接驅動式
 点火順序 —
 点火栓 一四呎
 蓄電池 一〇〇アンペア時
 點燈装置 直接壓送式
 機關潤滑 —
 冷却装置 —
 放熱器 細管式
 製造本社 フォード・モーター・コンパニー
 日本組立販賣元 日本フォード株式会社

▲シャシ部
 シヤシ重量 一八一〇呎
 最大重量 五六七〇呎
 軸 距 三・四〇四米(一一三四吋)
 輪 距 前部一・四八一米 後部一・六五二米
 全 長 七・三九一米
 全 幅 —
 全 高 —
 變速裝置 選擇滑動齒車式前進四段後退二段
 變速比 —
 後車軸減速比 五・一一對一
 クラッチ 乾燥單盤式
 制動裝置 フォード式安全ブレーキ
 制動面積 三・五三平方呎

車 輪 テーパー型 ディスク型
 タイヤ 前六・〇〇×二・〇一六ブライ
 後三二×六八ブライ
 操向裝置 ウォーム及ローラー式
 操向減速比 一八・四對一
 發 條 半楯田型
 前車軸 I字型
 後車軸 全浮動式
 最小回轉半徑 七・一六二米
 最路上隙 六〇〇呎

シボレマスタージェタン一九三八年型

▲機 關 部
 機關製作社及型 自社製
 氣筒數 六氣筒
 氣筒内徑 八八・九呎
 行 程 九五・二五呎
 氣筒頭形式 頭上式
 ビストン押のけ量 三五四九立方呎
 壓縮比 六・二五對一
 普通回轉數 毎分三三〇〇廻轉
 最大制動馬力 八五馬力
 警視馬力 二九・四馬力
 弁配列 —
 機關支持 三點支持
 軸受數 四個
 カム軸回轉 —

燃料供給 A C機械式
 燃料槽容量 一八ガロン
 氣化器 カーター式ダウンドラフト
 點火裝置 デルコ・レミー防水高壓四ワイヤ
 コイル式
 點火順序 一五—三一六一—二四
 點火栓 A C一四程
 蓄電池 六ボルト—二アンペア一時
 點燈裝置 —
 機關潤滑 壓送給油式
 冷却裝置 遠心力廻轉式
 放熱器 ハリソン式セルラー型
 製作本社 シボレー・モーター・コンパニー
 日本組立發賣元 日本ゼネラル・モーター
 ス株式會社
 ▲シャシー部
 シヤシー重量 —
 最大重量 —
 軸 距 二・八五七米(一・二二四分一吋)
 輪 距 前—四・三二米後—四・九八米
 全 長 四・七五二米(一・八七吋五分一吋)
 全 幅 一・四六米
 全 高 —
 變速裝置 選擇滑動ギヤ式
 變速比 二・九四對一 一・六八對一
 一・〇〇對一後退一・九四對一
 後車軸減速比 三・七對一

最高速度 —
 クラッチ ダイヤフラム式
 制動裝置 蒸油壓式
 制動面積 一〇二二平方種
 車 輪 壓成鋼
 タイヤ 六・〇〇×一六一四ブライ
 操向裝置 ウォーム及ニードル・ローラー式
 操向減速比 一九對一
 ば ね 半楕圓型
 前車軸 逆エリオット式
 後車軸 半浮動式
 最小回轉半徑 —
 シヤシ給油 高壓アルマイト式
 シボレー一九三八年型トラック・シャ
 シー
 ▲機 關 部
 機關製作社及型 自社特製
 氣筒數 六氣筒
 氣筒内徑 八八・九程
 行 程 九二・五程
 氣筒頭型 頭上弁式
 ビストン押のけ量 三五九九平方種
 壓縮比 六・二五對一
 最大回轉數 每分三、二〇〇廻轉
 最大制動馬力 七八馬力
 警視聽馬力 二九・四馬力

弁配列 —
 機關支持 三點支持
 軸受數 四個
 カム軸回轉 ベークライト製カムシャフト
 ギヤ
 燃料供給 燃料ポンプ式
 燃料槽容量 一八ガロン
 氣化器 カーター式ダウンドラフト
 點火裝置 防水高壓コイル式(デルコ・レ
 ミー)
 點火順序 一五—三一六一—二四
 點火栓 A C一四程
 蓄電池 六ボルト—二アンペア一
 マグネト—デルコ・レミー
 點燈裝置 —
 機關潤滑 直接壓送式飛沫式
 冷却裝置 遠心力廻轉式
 放熱器 V型油腔狀
 製作本社 シボレー・モーター・コンパニー
 日本組立發賣元 日本ゼネラル・モーター
 ス株式會社
 ▲シャシー部
 シヤシー重量 一・四九七種
 積載重量 —
 最大重量 六・〇三二種
 軸 距 三・三四〇米
 輪 距 —

全 長 六・〇八三米
 全 幅 一・七九九米
 積載重量 —
 變速裝置 シンクロメツシ前進四段後退二段
 變速比 七・二六 三・四七八 一・七
 一 後退七・一四八
 後車軸減速比 三・七對一
 最高速度 —
 クラッチ 單乾板式
 制動裝置 オイル・ブレイキ
 制動面積 三三〇・二平方吋
 車 輪 壓成鋼
 タイヤ 前三三×六一八ブライ
 後三三×六一八
 操向裝置 セミ・リバシブルウォーム及セ
 クター式
 操向減速比 一六對一
 發 條 半楕圓形
 前車軸 逆エリオット型エビーム
 後車軸 全浮動式
 シヤシー給油 アルマイト式高壓
 ビウイタ一九三八—四〇年型
 ▲機 關 部
 機關製作社及型 自社特製 四〇型
 氣筒數 八氣筒
 氣筒内徑 三・三三分三吋(七八・五八程)

行 程 四・八分二吋(一〇四・七七程)
 氣筒頭型 頭上弁式
 ビストン押のけ量 一四八・〇立方吋(四〇
 三五立方種)
 壓縮比 六・二五對一
 普通回轉數 每分三四〇廻轉
 最大制動馬力 一〇七馬力
 警視聽馬力 三〇・六三馬力
 弁配列 直列
 機關支持 五點ゴム支持
 軸受數 五個
 カム軸回轉 —
 燃料供給 A C機械ポンプ式
 燃料槽容量 一八ガロン
 氣化器 複式下向通風エヤロバット式
 點火裝置 デルコ・レミー製
 點火順序 —
 點火栓 A C一八程
 蓄電池 六ボルト
 點燈裝置 マルチ・ビーム・ヘッドライト
 機關潤滑 全壓送式
 冷却裝置 遠心力廻轉式ウォーターポンプ
 放熱器 ハリソン式
 製作本社 ビウイタ・モーター・コンパニー
 組立發賣元 日本ゼネラル・モーター・株式
 會社
 ▲シャシー部

シヤシー重量 —
 軸 距 一・二三吋
 輪 距 前—四・九二米後—一・五三七米
 全 長 —
 全 幅 —
 變速裝置 シンクロメツシニ式
 變速比 —
 後車軸減速比 四・四〇一對一
 クラッチ 單乾板式
 制動裝置 四輪油壓式
 制動面積 一〇二四平方種
 車 輪 鋼製ディスクホキール
 タイヤ 六・五〇×一六一四ブライ
 操向裝置 ウォーム及ダブル・ローラー式
 操向減速比 一九對一
 發 條 半楕圓形
 J A C標準型セタン
 ▲機 關 部
 機關製作社 日産自動車株式會社A型
 氣筒數 六氣筒
 氣筒内徑 八二程
 行 程 一一四程
 氣筒頭型 L型
 ビストン押のけ量 三六〇立方種
 壓縮比 六・五對一
 普通回轉數 每分三四〇廻轉

最大制動馬力 八五馬力
 警視廳馬力 一五・三五馬力
 弁配列 一
 機関支持 ゴム座付支持法
 軸受数 七個
 カム軸回轉 一
 燃料供給 燃料壓送用ポンプ式
 燃料槽容量 一二ガロン
 氣化器 下向通風型日産ソーレックス式
 点火装置 バッテリーイグニッション式
 点火順序 一―五―三―六―二―四
 点火栓 NGKスベークプラグ
 蓄電池 六ボルト九〇アムペア一時
 點燈装置 一
 機関潤滑 ギヤポンプ壓送式
 冷却装置 水冷式
 放熱器 一
 製造販賣元 日本自動車株式會社
 ▲シャシ一部

變速比 一―三・二八 二―一・六二
 三―一・〇〇 後退四・二〇
 後車軸減速比 四・〇九對一
 最高速度 一
 クラッチ 乾燥單板式
 制動装置 内擴油壓式四輪制動
 制動面積 一四九・一平方吋
 車 輪 デイスタホキール
 タイヤ 六、〇〇×一六
 操向装置 ウォーム及セクター式
 操向減速比 一七對一
 ばね 前後共半楕圓形併行式
 前車軸 逆エリオット式
 後車軸 半浮動式
 最小回轉半徑 右二一・〇四〇米
 左一一・〇二〇米
 最小路上隙 二〇五呎
 シャシ給油 壓送式
 いすゞJH型六輪トラック

ピストン押のけ量 四、三九〇立方種
 壓縮比 五・一五
 普通回轉數 一、五〇〇
 最大制動馬力 七〇馬力(毎分二八〇〇回轉時)
 警視廳馬力 三〇馬力
 弁配列 側弁式
 機関支持 準三點支持
 軸受数 七個
 カム軸回轉 齒輪傳動
 燃料供給 ガソリン
 燃料槽容量 一二八立
 氣化器 上向吸氣型
 点火装置 高壓磁鐵發電機配電器
 点火順序 一―五―三―六―二―四
 点火栓 檢子徑一八呎ピンチー・五呎
 蓄電池 一二ボルト八〇アンペア
 マグネト 一二ボルト一・四馬力ボツシユ
 型モーター
 點燈装置 發電機、蓄電池
 機関潤滑 齒車ポンプ壓送式
 冷却装置 渦卷ポンプ循環式
 放熱器 直立細管多板式
 製造販賣元 東京自動車工業株式會社
 ▲シャシ一部

最大重量 一〇、四五〇呎
 軸 距 四・〇〇〇米
 輪 距 一一〇米
 全 長 五・八二五米
 全 幅 一・九五〇米
 全 高 一
 積載面積 一
 變速裝置 前進四 後退一
 變速比 第一六・一五 第二二・七九 第三三
 一七 第四一・〇〇 後退七・五
 後車軸減速比 一
 最高速度 五〇呎
 クラッチ 乾燥單板式
 制動裝置 緊縛式
 制動面積 四輪制動
 車 輪 デイスタク型
 タイヤ 三二×六吋ヘビィデユテイコード
 操向裝置 セミリヴァーシブル
 操向減速比 最終五・六二五
 發 條 前九枚 後七枚一體
 前車軸 逆エリオット式
 後車軸 半浮動式
 最小回轉半徑 七・二〇〇米
 最小路上隙 〇・二五五米
 シャシ給油 獨立給油式
 いすゞT×四〇型トラック・シシヤ

▲機 關 部
 機関製作社及型 東京 自動車工業株式會社
 X型
 氣筒數 六氣筒
 氣筒内徑 九〇呎(三・一六分二吋)
 行 程 一一五呎(四・二分二吋)
 氣筒頭型式 直立上頭型頭部分離式
 ピストン押のけ量 四・三九〇立方種
 壓縮比 五・二五對一
 普通回轉數 一、五〇〇
 最大制動馬力 七〇馬力(毎分二八〇〇回轉)
 警視廳馬力 三〇馬力
 弁配列 側弁式
 機関支持 準三點支持
 軸受数 七個
 カム軸回轉 齒輪傳動
 燃料供給 ガソリン
 燃料槽容量 八五立
 氣化器 下向吸氣型
 点火装置 高壓コイル式
 点火順序 一―五―三―六―二―四
 点火栓 檢子徑一八呎ピンチー・五呎
 蓄電池 一二ボルト八〇アンペア時
 點燈装置 一二ボルト七五ワットダイナモ
 機関潤滑 齒 ポンプ壓送式
 冷却装置 渦卷ポンプ循環式
 放熱器 直立細管多板式

製造販賣元 東京自動車工業株式會社
 ▲シャシ一部
 シヤシ重量 二、一七五呎
 積載重量 三、八二五呎(ボデーを含む)
 最大重量 六、〇〇〇呎
 軸 距 四・〇〇〇米
 輪 距 一・五二〇米
 全 長 五・八二五米
 全 幅 一・九五〇米
 全 高 一
 積載面積 一
 變速裝置 前進四 後退一
 變速比 第一一六・一五 第二二・三・一四
 第三一・七九 第四一・〇〇
 後退七・五
 後車軸減速比 一
 最高速度 六〇呎
 クラッチ 乾燥單板式
 制動裝置 油壓擴張式
 制動面積 四輪制動
 車 輪 デイスタク型
 タイヤ 三二×六吋ヘビィデユテイコード
 操向裝置 鼓形ウォームセグメント式
 操向減速比 五・六二五對一
 發 條 前九 後二三
 前車軸 逆エリオット式
 後車軸 全浮動式

最小回轉半徑 前輪内六・五〇〇米
前輪外七・八〇〇米
最小路上隙 〇・二五五米
シャシ給油 獨立給油式

六甲ST四〇型(保護六輪自動車)

▲機 關 部

機關製作社及型 川崎車輛株式會社X△型
氣筒數 六氣筒
氣筒内徑 九〇mm
行程 四行程一二五mm
氣筒頭型式 水冷方式水冷型式L頭型
ピストン押のけ量 四・三九〇立方mm
壓縮比 —
最大回轉數 毎分二八〇〇廻轉
最大制動馬力 七〇馬力
警視聽馬力 一五馬力
弁配列 頭部分離式
機關支持 三點
軸受數 七個
カム軸回轉 —
燃料供給 燃料供給ポンプ式
燃料槽容量 一一〇立
氣化器 日本氣化器製NV四二型
點火裝置 ハイテイションコイル式
點火順序 一五—三一—六一—二四
點火栓 ポツシュ製

蓄電池 二V—一四〇アンペア時
點燈裝置 前照燈二個尾燈一個
機關潤滑 壓力給油式
冷却裝置 渦巻ポンプ循環式
放熱器 —
製造本社 川崎車輛株式會社
日本總代理店 興國自動車株式會社

▲シャシ部

シャシ重量 二、七〇〇kg
積載重量 四、〇〇kg
最大重量 七、七五〇kg
軸距 四、〇〇m
輪距 前一・五〇〇m後一・二〇〇m
全長 五・八〇〇m
全幅 一・九〇〇m
全高 —
變速裝置 中央選擇式、前進四段後退二段
變速比 前進六・一五 三・一七 一・七
九 一・〇〇 後退七・五
後車軸減速比 八・三三對一
最高速度 六五km
クラッチ 乾燥單板式
制動裝置 制動機足踏は機械式後輪四輪制動
制動面積 —
車輪 打抜ディスク型
タイヤ 前三一×六高壓式 後三一×六高
壓式

換向裝置 ウォーム及セクター式
換向減速比 —
發條 半楯円形
前車軸 ドロップフォージ製
後車軸 半浮動式
最小回轉半徑(外側車輪)八・〇〇〇米
最小路上隙 〇・二五五米
シャシ給油 —
日本デイズルLD一型

▲機 關 部

機關製作社及型 日本デイズル工業株式會社
LD一型
氣筒數 一氣筒
氣筒内徑 八五mm
行程 一行程二四〇mm
氣筒頭型式 水冷方式・水冷型式
ピストン押のけ量 二七〇〇立方mm
壓縮比 —
最大回轉數 毎分一五〇〇廻轉
最大制動馬力 六〇馬力
警視聽馬力 一五馬力
弁配列 —
機關支持 三點支持
軸受數 七個
カム軸回轉 齒車式
燃料供給 ポツシュ式

燃料槽容量 一八ガロン

料噴射ポンプ ポツシュ型

點火裝置

點火順序 一五—六一—三一—二四

點火栓 ポツシュ

蓄電池 六ボルト一五〇アムペア時

機關潤滑 給油式

冷却裝置 水冷式

放熱器 —

製造販賣元 日本デイズル工業株式會社

▲シャシ部

シャシ重量 —
積載重量 三、〇〇〇kg
最大重量 四、〇〇〇kg
軸距 四、〇〇〇m—四・三〇〇m
輪距 前一・一五〇m 後一・六七五m
全長 九・三二m
全幅 —
全高 —
變速裝置 選擇滑動式
變速比 —
最高速度 六〇km
クラッチ 乾燥單板式
制動裝置 四輪内側摩擦式
制動面積 —
車輪 デイスホキール
タイヤ 前三一×六—七・二五

後三一×六一—二〇

換向裝置 ウォーム及ローラー式

換向減速比 —

發條 半楯円形

前車軸 I型特殊鋼

後車軸 浮動式

最小回轉半徑 —

最小路上隙(外輪前輪)一四・七m

シャシ給油 —

オベル三・六リットル・ブリツド
トック

▲機 關 部

機關製作社及型 自社製
氣筒數 六氣筒
氣筒内徑 三・二分一吋
行程 三・四分三吋
氣筒頭型式 頭上弁式
ピストン押のけ量 三六二立方mm
壓縮比 六對一
普通回轉數 —
最大制動馬力 八〇馬力
警視聽馬力 三〇馬力
弁配列 —
機關支持 四點ゴム支持
軸受數 四個
カム軸回轉 —

燃料供給 機械式燃料ポンプ

燃料槽容量 八〇リットル

氣化器 ダウンドラフト・カーブレター

點火裝置 ポツシュ・コイル式

點火順序 一五—三一—六一—二四

點火栓 ポツシュ製

蓄電池 六ボルト

點燈裝置 —

機關潤滑 壓送給油

冷却裝置 蒸溜器より水温を一定保持する

放熱器 —

製造本社 アダム・オベル・アクチエン・

ゲゼルシャフト

日本組立販賣元 日本ゼネラルモーターズ

株式會社

▲シャシ部

シャシ重量 —
積載重量 一三八九ポンド
最大重量 —
軸距 —
輪距 一四吋
全長 —
全幅 —
全高 —
變速裝置 選擇滑動式前進四段後退一
變速比 一一・七—八四—二四・八—一三
一一・七—四一—五八—五

後車軸減速比 一後退一七・三九
 クラッチ 單乾板式
 制動裝置 油壓式四輪內部擴張式
 制動面積 —
 車 輪 ディスクホキール
 タイヤ —
 換向裝置 ウォーム及セクター式
 換向減速比 一五對一
 發 條 半楯凹型
 前車軸 逆エリオット式 フロント・アク
 スル
 後車軸 全浮動式リヤアクスル
 最小回轉半徑 —
 最小路上障 —
 シヤシ給油 壓送裝置

六甲KB三五型バス・シヤシ

▲機 關 部
 機關製作社及型 川崎車輛株式會社KW四三
 C型

氣筒數 六氣筒
 氣筒内徑 九〇㎜
 行 程 四行程式一一五㎜
 氣筒頭型式 L頭型頭部分離式
 ビストン押のけ量 四三九〇立方㎝
 壓縮比 五・二五對一

最大回轉數 毎分二八〇〇廻轉
 最大制動馬力 七四馬力
 警視廳馬力 三〇・一三馬力
 弁配列 —
 機關支持 三點支持
 軸受數 七個
 カム軸回轉 —
 燃料供給 ダイアグラム型燃料供給ポンプ式
 燃料槽容量 八〇立
 氣化器 ブウンドラフト型日本氣化器製
 點火裝置 ハイテンションコイル式
 點火順序 一五—三一六一—二一四
 點火栓 ポツシュ
 蓄電池 一二ボルト一四〇アンペア
 點燈裝置 前照燈一個尾燈一個
 機關潤滑 齒車ポンプ壓力給油式
 冷却裝置 渦巻ポンプ循環式
 放熱器 直立細管多板式
 製造本社 川崎車輛株式會社
 日本總代理店 興國自動車株式會社

▲シヤシ一部

シヤシ重量 二、〇〇㍑
 積載重量 —
 最大重量 四、九〇〇㍑
 軸 距 一三七・四分三吋
 輪 距 前輪一・五〇〇米
 後 輪 一・四五〇米

全 長 五・七五〇米
 全 幅 一・八〇〇米
 全 高 —
 積載面積 —
 變速裝置 中央選擇式
 變速比 第一一五・六六 第二一・三〇二
 第三一・七五 第四一・〇〇
 後退七・〇〇

後車軸減速比 五・八七五對一
 最高速度 —
 クラッチ 乾燥單板式
 制動裝置 フリトブレイキは油壓内面擴張式
 制動面積 —
 タイヤ 七・五〇×二〇バスバルーンタイ
 ヤ
 換向裝置 ウォームホクター式聯合調整
 換向減速比 —
 發 條 半楯凹型
 前車軸 I型断面鑲嵌造
 後車軸 半浮動式
 最小回轉半徑 —
 最小路上障 —
 シヤシ給油 —

聖トラック・シヤシ

▲機 關 部
 機關製作社及型 自社製

○ポンテアク六氣筒四扉セタン型

氣筒數 四氣筒
 氣筒内徑 九八・四三㎜
 行 程 一〇七・九五㎜
 氣筒頭型式 L頭式
 ビストン押のけ量 三・三三六立方㎝
 壓縮比 四・六對一
 最大回轉數 毎分二、八〇〇廻轉
 最大制動馬力 五〇馬力
 警視廳馬力 二四馬力
 弁配列 分頭式
 機關支持 三點支持
 軸受數 四個
 カム軸回轉 —
 燃料供給 機械式ダイヤフラムポンプ
 燃料槽容量 六四・三立
 氣化器 日本氣化器V一七型
 點火裝置 バツテリコイル
 點火順序 —
 點火栓 NGKプラグ
 蓄電池 八〇アンペア一時
 點燈裝置 前照燈複式三一二三燭光ランプ
 機關潤滑 ポンプ及飛沫式
 冷却裝置 水冷式
 放熱器 細管式
 製作本社 聖自動車製造株式會社
 發賣元 日本自動車株式會社

▲シヤシ一部

車 輛

シヤシ重量 一、五三〇㍑
 積載重量 一、八〇〇㍑
 最大重量 —
 軸 距 一三一・二分一吋
 輪 距 —
 全 長 五・〇〇米
 全 幅 一・九四〇米
 全 高 —
 變速裝置 選擇摺動式
 變速比 一四・四 二一三・〇九 三
 一・六九 後退一七・八二
 後車軸減速比 六・六對一
 クラッチ 乾燥單板式
 制動裝置 機械作動式
 制動面積 —
 車 輪 —
 タイヤ 前六〇〇×二〇一六ブライ
 後三二×六八ブライ
 換向裝置 ウォーム及セクター式
 換向減速比 一七對一
 ば ね 橫置式
 前車軸 I型逆エリオット式
 後車軸 全浮動式
 最小回轉半徑 —
 最小路上障 〇・二二〇米
 シヤシ給油 高壓ガソ

▲機 關 部
 機關製作社及型 自社特製
 氣筒數 六氣筒
 氣筒内徑 八七・三二㎜
 行 程 一〇一・六〇㎜
 氣筒頭型式 Lヘッド型
 ビストン押のけ量 三・六五立
 壓縮比 六・二對一
 普通回轉數 —
 最大制動馬力 八五馬力
 警視廳馬力 二八・三馬力
 弁配列 —
 機關支持 改良三點ゴム支持
 軸受數 四個
 カム軸回轉 —
 燃料供給 AC機械式
 燃料槽容量 一八ガロン
 氣化器 カーター下向通風式
 點火裝置 デルコレミー
 點火順序 一五—三一六一—二四
 點火栓 AC一四型
 蓄電池 六ボルト一〇七アムペア一時
 點燈裝置 —
 機關潤滑 整流式壓送給油
 冷却裝置 遠心力廻轉式

四七

放熱器 蜂巣型

製造本社 オークランド・モーターカー・コムベニイ

日本組立發賣元 日本ゼネラルモーターズ株式會社

日本總代理店 梁瀬自動車株式會社

▲シャシー部

シャシー重量

軸 距 二・九七米(一一七吋)

輪 距 前一・四六四米 後一・四六米

全 長

全 幅

全 高

變速裝置 シングロメツシユ式

前進三段後退一段

變速比

後車軸減速比

クラッチ 單乾板式

制動裝置 靛油壓式

制動面積

車 輪 壓成鋼

タイヤ 六・〇〇×一六一四ブライ

操向裝置 新ウオーム及ローラー式能率式

操向減速比 一九對一

發 條 半楯田型

前車軸 個 架裝

後車軸 半浮動式

最小回轉半徑 —
最小路上隙 —
シャシー給油 高壓アレマイト式

小型自動車

概観

本邦小型自動車界の現況に就いては現在自動車工業中最も活況にあるといふことに盡きる即ち日産自動車株式會社のダットサン製造以前自動三輪車を以て代表されてゐた本邦小型自動車界は専ら本邦特殊地勢に據る輕交通運搬機關として特殊の發達を遂げ、一時は自動三輪車メーカーだけで五十餘を數へるの活況を呈したが日産自動車のダットサン大量生産勵行と期を同じくして渡出した小型四輪車メーカー即ち京三自動車(現在京豊自動車工業株式會社となる)ライト自動車製造、高速機關工業等の反響にあつて資本的轉期に際會漸次減少し現在三十餘のメーカーを數へてゐる、而して小型四輪車總生産台數が約一万二千台になるのに對し自動三輪車は約のうち七千台餘で約五千台の小型四輪車を數へることが出来る、しかもこの約五千台の小型四輪車はライト自動車、高速機關工業、京三自動車等四輪車メーカーの低調に依つて殆どダットサンのみを生産及び存続となつてゐる事は注目し得る、自動三輪車メーカー

小型自動車

中最も好調にあるのは大阪の發動機製造株式會社でダイハツ自動三輪車の外に同名の小型四輪車の製造にも乗り出したため茲に増資の必要に迫られたわけであるが諸種の事情上體増資をなすことになりダイハツ自動車製造株式會社を設立、直ちに之を合併して資本金一千三百万円となすことに決定してゐる。これに次いで活況にあるのは日本内燃機株式會社で同社は最近五十万円より二百万円に増資更に中級車生産へも乗り出すことになつてゐる。其他日本エヤーブレーキ、旭内燃機等の關連もあり小型四輪車におされ氣味であるにしてもなほ好調を持續するものと見られる。未だ小型自動車の範疇には這入らないが同様事業下におかれてゐる自動自轉車側車付及び自動自轉車の製造工業も大いに勃興機運を見せハレーダビッドソンの國産化なる陸士自動自轉車同ひ同側車付も漸く大量生産化されるに至り岡本自動車自轉車工業に於けるノリツ自動自轉車の生産も本格化し漸次市場進出の氣配を見せてゐるまた自動自轉車にあつても從

▲ダイハツ

業來昭和十二年七月支那事變勃發以來、國內は、戰爭目的遂行の爲め、凡ゆる犠牲を要求されてゐる、大型自動車、小型自動車を問はず鐵鋼材の配給が統制され、生産に或る程度制限を受けることになつたが、昭和十三年に入るや、鐵鋼材の配給は殆ど禁止的となるに及んで、小型四輪車メーカーは、全部製作中止の止むなきに至つた、車變の犠牲とは云ひ乍ら、小型車を新くの如き結末に導くことは極めて憂慮すべきことであつて、大型車の發展、進歩に對する捨石的な役割を占める小型車の意義乃至使命を没却するものと云へよう最近、小型車再認識論が沸然と業界に議論されるに至つたが、小型自動車の所謂經濟的な特色が、實際上、現下の非常時には何よりも要求されるものであることを、考へることもあながち無駄な事ではないであらう

機關 空氣冷却四衝程單氣側弁式斜立型ダイ

ハツエンデン

種類 直徑、衝程、容積、馬力、警視廳馬力

六七〇cc、七五〇cc、九〇cc、九六cc

一〇五cc、一〇五cc、六六七cc、四四

cc、馬力六・七、七・五、五・六

給油裝置 飛沫式自動給油唧筒及手押唧筒イ

小型自動車

- ◆グニシヨン式
- ◆気化器 アマル製噴霧式
- ◆ギヤボックス 最高級特殊合金鋼材前進三段、後段一段變速式
- ◆クラッチ 特殊考案の乾燥多板式
- ◆トランスミッション、エンジンよりギヤボックスに至る前部駆動はローラーチェーンシャフトドライブ式
- ◆エンシヤフトドライブ式
- ◆差動装置 半浮式
- ◆フレーム 高級可鍛鑄鐵と良質引拔鋼管により組立らる
- ◆サイドフレーム 美麗に錆止塗装せる繼目なきプレス製一板鋼板
- ◆フォーク ドロップフォーク製平行式で六個のスプリングにより緩衝作用力満點
- ◆ハンドル 鋼クロームメッキ
- ◆ブレーキ 内圧式制動装置にして手動足動複用
- ◆車輪 最新式ディスク型、厚さ十六分の三の鋼板
- ◆タイヤ 前後輪共(針金式)パルーン・タイヤ(六七〇〇・〇前後輪共一七×四〇〇)(七五〇〇・〇同上)(七五〇〇・〇大型前輪一七×四〇〇後輪一八×四七五)
- ◆タンク ニツ割式、容量ガソリン三ガロン
- ◆潤滑油一ガロン入流線型

- ◆サドル 大型皮製スプリング入凭附
- ◆消音器 背壓、消音作用特殊構造
- ◆警笛 手押エヤーホン
- ◆速度計 ギヤボックス連絡タンクカウンタ(付)
- ◆電燈装置 ダイナモ充電、バッテリーによりヘッド及テールランプを點燈
- ◆荷箱 長一九〇㎝、幅上部二二〇㎝、下部九〇〇㎝、深四六〇㎝
- ◆道具箱 大きな角型、荷箱の前側座下取付
- ◆塗飾 ラツカ1塗
- ◆付属品 バックミラー及修理工具一揃
- ◆シヤシー寸法 全長一七九五㎝、全幅二二〇〇㎝、高二二〇㎝、ホイールベース一八〇〇㎝
- ◆重量 五五〇㎏
- ◆製造元 大阪市西淀川区大仁東 丁目 發動機製造株式會社

- ◆潤滑装置 自動オイルポンプ付飛床式
- ◆電氣装置 着火マグネット及コイル式蓄電池六ボルト十二アンペア時充電六ボルトダイナモ照明切替式ヘッドランプ
- ◆冷却装置 特製ラヂエター二個
- ◆ガソリンタンク 三ガロン入
- ◆オイルタンク 一ガロン入
- ◆變速機 (前進二段)後退二段
- ◆クラッチ 乾燥多盤式
- ◆傳導装置 日本唯一の全浮動式シャフトドライブ差動装置付
- ◆制動装置 系統内部擴張式
- ◆シヤシー プレス鋼板製
- ◆フレーム プレス鋼板製
- ◆フォーク プレス鋼板製クツシヨンスプリング
- ◆ハンドル 右グリッパ
- ◆サドル 特製大型モタレ付
- ◆リヤスプリング 九枚特製半楕円スプリング
- ◆ホキール 鋼板押抜ジスタ型
- ◆タイヤ 二四×四・七五超(ヒーパル)ンタイヤ
- ◆速度計 トータル付
- ◆ツールボックス 錠別付
- ◆警音器 標準手押式ラツパ
- ◆飛床除 一式

- ◆修繕小道具 一式
- ◆車輪寸法 全長一・八〇米全幅一・二〇全高一・二六米
- ◆荷箱寸法 全長一・三三米全幅一・一七米
- ◆モデル 空冷六五〇CC
- ◆水冷六五〇CC
- ◆同 七五〇CC
- ◆製造元 名古屋市港區熱田新田 帝國工業株式會社

- ◆入れ堅牢無比
- ◆ホーク ホークは麻痺鋼板にして同車獨特の二重スプリング六個
- ◆サドル及びタンク 最近大型流線形幅廣ガソリン四ガロン二分の一オイル一ガロン二分の一、サドルはH X N式バケツト式モタレ付
- ◆車輪及タイヤ、前輪はワイヤホキルにてカーブ軽く後輪はディスクホイール、二六×四・〇〇
- ◆差動装置 ベベルギヤの作用に依りカーブの際内側と外側に自動的に回轉し差を生じ架に合理的に回轉し得る装置
- ◆ブレーキ、内部擴張式 ロットH X M式直線にして調整自由
- ◆車輪寸法、全長一・八〇メートル全幅一・二〇メートル
- ◆緩衝装置 安全製置ボデスプリング同車獨特の輕重二重スプリング
- ◆傳動装置、獨特のシヤフトドライブ及びチェーンドライブ
- ◆型式 六七〇〇C J A P 機關K型
- ◆七五〇〇C M A G 型機關L型
- ◆六五〇〇C ホクソン機關T型
- ◆六六〇〇C ホクソン機關X型
- ◆製作元 東京市神田區東橫屋町三〇 合資會社ホクソンモーターズ

- ◆H M C
- ◆機關特製空冷式六五〇U R 單氣筒ツーパー四衝程オーバヘッドバルブ、ボア九〇耗ストローク一〇三程氣筒容積六五五〇〇(H M Cキヤブレッター付)
- ◆電氣装置 三菱コイル・イグニツシヨンク最新型ヘッドライト及特製ダツシユ付
- ◆變速機 H M C 獨特ダルマ式チエンジキツクスターター付前進二段後進一段乾燥多盤式
- ◆傳導装置 最新型強馬力用全浮動デフレンシヤル・シヤフトドライブ式(スパイラルギヤ・ベーパーローラーベヤリソング)採用
- ◆フロントフォーク 特殊鋼材製二重卷平行式緩衝作用円滑なるスプリングフォーク
- ◆フレーム・シヤム 特殊 管製抱擁式フレーム・特殊鋼材製堅牢無比なるチャンネル・シヤシー高尚優美なる總架仕上
- ◆ブレーキ 効率確實なる足動内部擴張式
- ◆ホイール 最新型特殊鋼材懸架製
- ◆タイヤ 一六×四・〇〇ワイヤ式パールンタイヤ
- ◆タンク 特優不銹鋼板懸架製容量(ガソリン四ガロン・オイル一ガロン)堅牢優雅なる總架仕上
- ◆サドル 凭附特上製

- ◆エンヂン X 刑國産ホクソン六六〇〇・〇
- ◆O・H・V ツーポート、T 刑國産ホクソン六五〇〇・〇、S・V・K 刑英國製 J A P 六七〇〇・〇、L 型、二氣筒瑞西製 M A G 七五〇〇・〇
- ◆給油装置 オートマチック調整自由なる自動給油装置
- ◆氣化器 英國アマル製で二本のスロットルレバーにより調整自由
- ◆フロントフォーク 特殊鋼材製二重卷平行緩衝作用円滑なるスプリングフォーク
- ◆フレーム・シヤム 特殊鋼管 抱擁
- ◆フレーム 獨特の最高級可鍛鑄鐵と良質引拔鋼管にて組立前部ダンチューブは二本の鋼管を使用してあるを以て堅牢無比
- ◆シヤシー 同獨特の一本シヤシー角、眞

- ◆小型自動車

小型自動車

- ◆消音装置 規定消音器及補助マフラーを裝備
- ◆ボデー 特優鋼板製長一・二米巾一・一米高・五米總座仕上
- ◆泥除 特優鋼板製流線形總柄仕上
- ◆リヤール・スプリング 特種鋼材製鋼板九枚重ね長・八七米幅・〇五米十枚重
- ◆ツール・ボツクス 特種鋼板製修繕用工具入兼用優雅なる總柄仕上
- ◆車軸寸法及重量 全長一・八米幅員一・二米重量五五〇底餘
- ◆ホイールベース及ゲージ ホイル・ベース一・九七米ゲージ一・〇八五米
- ◆其他 手押ラツパ・スピードメーター尾燈・飛沫除・修繕用工具
- ◆モデル 空冷六五〇〇〇(OHV) 水冷六七〇〇〇(OHV) 七五〇〇〇(OHV)

製造元 神戸市苅藻通一ノ二 兵庫モーターズ製作所

▲イワサキ

- ◆エンジン自社製、水冷式V型二氣筒七五〇〇・〇エンジン自動給油ポンプ付
- ◆水冷却式 一氣筒ガソリン、エンジンサイドバルブ 四衝程

- ◆内径(ボア) 七〇耗
- ◆衝程(ストローク) 九七耗
- ◆唧子運動容量 七四七立方種
- ◆重量 八一封度
- ◆氣化機 アマル式
- ◆電氣裝置 日立電裝、流線型ヘッド、パネル付
- ◆冷却裝置 眞鍮多管式ラジエーター式二個裝置
- ◆變速器 最新型重量用キツクスターター付前進三段後退一段乾燥多盤式メグロ製
- ◆傳導裝置 特製シャフトドライブ式にして小型運搬車の用途を充分に遂行す、特製にかゝるウォームギヤを用ひ無音にして堅牢なるデフレンシャル裝置
- ◆シャシーフレーム 高級鋼板全プレス式にして如何なる酷使にも十二分に耐ゆる構造
- ◆フオーク 高級可鍛鋼板にしてコイルスプリング式最新型
- ◆タンク幅型タンク容量(ガソリン)四ガロン、エンジンオイル一ガロン)入り
- ◆ブレーキ 内壓式制動裝置にして手動及足踏用の裝置、車輪及タイヤ車輪は最新型デスクホキルタイヤは二六×四・四〇ワイヤード(ダンロップ製)
- ◆荷箱 規格範圍の最大寸法の荷箱にして標

▲國益

- ◆機關 W・IコクエキW・五國益Y・I・Kコクエキ側弁空冷式斜立刺及水冷式直征九〇耗、衝程一〇四耗、容積六六一〇〇
- ◆機關給油裝置 飛沫式自動給油唧筒及コック

製造元 堺市遠里小野町三四二 旭内燃機株式會社工場

- ◆着火裝置 コイル・イグニッション式
- ◆氣化器 國産アマル・カービュレーター
- ◆變速機 前進三段後進一段減速比

- ◆傳動裝置 機關クラッチ間は五・八吋ローラーチェーン、變速機差動裝置間はプロペラシャフト及五・八ローラーチェーン
- ◆差動裝置 四個の正齒車よりなる差動裝置
- ◆聯動裝置 乾燥多板式
- ◆フレーム 高級厚鋼板プレス製式チャンネルにて組立たるもの
- ◆サイドフレーム 繼目なきプレス製チャンネル一枚厚鋼板
- ◆前輪フオーク 型打火造 製平行式及鋼製パイプにしてスプリングにより緩衝作用をなす
- ◆ブレーキ 足動及手動による内部擴張式ブレーキドラム 徑一・二五耗ブレーキライニング面積一八七平方耗
- ◆車輪 前後輪共厚鋼製アイクス型

小型自動車

- ◆着火裝置 コイル・イグニッション式
- ◆氣化器 國産アマル・カービュレーター
- ◆變速機 前進三段後進一段減速比
- ◆傳動裝置 機關クラッチ間は五・八吋ローラーチェーン、變速機差動裝置間はプロペラシャフト及五・八ローラーチェーン
- ◆差動裝置 四個の正齒車よりなる差動裝置
- ◆聯動裝置 乾燥多板式
- ◆フレーム 高級厚鋼板プレス製式チャンネルにて組立たるもの
- ◆サイドフレーム 繼目なきプレス製チャンネル一枚厚鋼板
- ◆前輪フオーク 型打火造 製平行式及鋼製パイプにしてスプリングにより緩衝作用をなす
- ◆ブレーキ 足動及手動による内部擴張式ブレーキドラム 徑一・二五耗ブレーキライニング面積一八七平方耗
- ◆車輪 前後輪共厚鋼製アイクス型

◆換向機 自動車式

- ◆後車輪 全浮動又は半浮動式
- ◆タイヤ 前後輪ダンロップタイヤ針金式二六×四四〇
- ◆タンク 鐵板製にして接合部は電氣銲接を用ひ優雅にして堅牢なるカバーを被せり
- ◆容積ガソリン三ガロン 潤滑油一ガロン
- ◆荷箱 鐵板製強靱なる構造にして長さ一一七〇耗、幅一〇七〇耗、深さ四六〇耗
- ◆空車重量 五三〇底
- ◆照附裝置 前照燈及尾燈一個
- ◆附屬品 速度計、泥除、道具一切及び手押ラツパ
- ◆廻轉半徑 一・六五米外側まで
- ◆登坂能力 トップ百分の一
- ◆車體番號位置 フロントステア中心
- ◆シャシ寸法 全長一・七九米全幅一・一米ホキールベース一・九五五米トレッド一・一八〇米ロードクリアランス〇・二〇〇米
- ◆モデル スタンダード型 小型 五尺ボデー型 空冷 六七〇(SV) 同 七五〇(同) 水冷 六七〇(同) 同 七五〇(同)

▲マツダ

- ◆製造元 大阪府堺市向陽町 國益自動車株式會社
- ◆エンジン及ミツション 單氣筒空氣冷卻側分頭式、トランスミツションと單體製造氣筒
- ◆トランスミツション 内徑九〇・五、衝程一〇四耗、氣筒容積六六九立方種(公稱馬力六・七馬力) 變速裝置前進四段、後進一段、下始動裝置付常時噴合式(專賣特許番號九三三一番)
- ◆クラツチ足動單發動條油浸多盤式緩衝裝置付。
- ◆給油裝置 ドライサンブル自動調整裝置付自動給油式(專賣特許八七五一四號)
- ◆氣化器 アマル氣化器
- ◆電氣裝置 ダイナモ・コイル式(三菱電機株式會社製)蓄電池容六ボルト十五アンペア一時
- ◆傳導裝置 シャフト・ドライブ、ユバール・ジョイント前後一個付
- ◆後車輪 差動裝置付半浮動式
- ◆ハンドルバー 鋼製圓筒式グリーンバナール付
- ◆前フオーク 鋼製製

小型自動車

- ◆前設條 緩衝装置付飯發條
- ◆ブレーキ (足動) 内備車輪制動式、自動調整装置付(實用新案第三五六號)(手動) 外壓軸制動式
- ◆ホイール 波状鋼製、三輪共通ディスク・ホキール
- ◆タイヤ 四四〇×一八、バルーン・コールド・タイヤ
- ◆タンク 函型 容量ガソリン三ガロンオイル一ガロン
- ◆サドル バケット型
- ◆車台 溝割鋼製(荷箱床面迄地上〇・五三〇米)(實田新案一、三四三三號)
- ◆荷箱 電氣點接日鐵美裝鋼製標準寸法(内側)巾一、二〇二米(三尺六寸三分)縦一、二七八米(四尺一寸)高さ〇・四七米(一尺五寸五分)
- ◆速度計 積算計付
- ◆車體寸法 全長二・八〇〇米、全巾一、九六米
- ◆車輪距離 一、八四〇米
- ◆車體 間距離二、〇八〇米
- ◆塗装 ラッカー噴霧塗標準色は暗青色(ナツシユブリユー)本仕用は漆告なく之を變更する事があります
- ◆モデル 六七五〇C(空冷)

製造元 廣島市外府中町

東洋工業株式會社

▲エム・エス・エー

- ◆エンジン M・S・A、六七五〇・Cサイドルバルブ空冷斜立式(直徑九〇程衝程一〇六程、容積六七五立方種)實用新案、バルブ密閉装置、デコンプレッサー付
- ◆トランスミスシヨシM・S・A専用優秀品前進三段後動二段(フット・ペダルに依り作動す)
- ◆給油装置、獨特の飛沫式自動給油ポンプ式にして調節自在なり
- ◆車體 高級可鍛鐵及引拔鋼管にて組立たるフレーム及堅牢なる鐵板チャンネルを以て組立つ(輕快且堅牢無比なり)左右にはM・S・A文字並に年號人サイドバンパーを取付く。
- ◆フオーク緩衝装置 鋼板プレス加工組立式上部に配する二列の中部スプリングに改良を加へ中間左右には獨特の緩衝装置(シヨック・アブソーバー)を備へたり(操縦者の疲勞を減せしむ)
- ◆ホキール 後車輪は鋼板(ジスクホキール)にして取外し自由美術的ハブカバーを付す、前車輪は特種極太鋼線スポークを以

て組立てたるワイヤーホキール、二六吋×四吋(輕快且堅牢なり)

◆後車輪 M・S・A獨特のデフアレンシヤル装置にして廻轉部には高級ボールベアリングを使用せり(重量積荷に適す、三八年式として大改良を加へたり)

◆ブレーキ 手動及足に依る後輪内部擴張式二箇調節自由にして特に三八年式として、ライニング其他に改良を加へ益々其性能を發揮せり

◆サドル M・S・A式大型バケットサドルバックレスト(掛心地喜し)

◆ハンドル防止装置 引拔鋼管クロームメツキ仕上げM・S・A獨特のステアリングダンパー(ハンドル振れ止め)を裝備す(凹凸道路も安全に運轉することを得)

◆着火、燈火装置、國産最新式コイルイグニシヨシ式、(ライテングセット、ヘッドライトの點滅はスイッチボツグスに依る)テイルライトは警視廳規定ストップ式

◆荷箱 總鐵板殺付四方堅牢なるアングルを使用、扉は後方に開く、長一・一五米幅一・一〇米深〇・四八米内徑

◆荷受パネ ボデー・スプリングはM・S・A獨特の輕重再形式にしてクツシヨシ善く積荷の破損を防ぎ操縦者の疲勞を輕減する特長なり

- ◆塗装及意匠 高尚優美なるラツカー吹付仕上げタンク其他流線形とす
- ◆速度計 M・S・A専用ルグネット式スピードメーターにして正確堅牢なり
- ◆消音 警視廳規定マフラーにして消音完全靜肅
- ◆モデル 六七五〇・C型
- ◆製造元 東京市神田區錦町二丁目 合資會社モーター商會

▲ミツノ

- ◆原動機 水野式水冷構造電氣箱 五〇〇〇
- ◆C型内徑八二程衝程九二程、七五〇C・C型は内角九五程衝程一〇五程
- ◆氣化器 水野式最新型レバー本調節装置
- ◆變速裝置 自動車式變速前進三段後退一段
- ◆電氣裝置 ドイツ製ボツシユ・マグネット
- ◆車輪 水野工場最新考案三吋引拔パイプ後車軸にチエン及ギヤ無しの特長
- ◆クラツチ 多板式
- ◆速度の急緩 五哩乃至二十五哩
- ◆ガソリン消費量 一ガロン、三五哩
- ◆モデル 自由注入型
- ◆ガソリンモビル容量タンクガソリン三ガロン、オイル一ガロン
- ◆タイヤ ダンロップ、二七×四・七五(小型自動車)

普通自動車と同じ

- ◆サドル 水野式獨特製最良クツシヨシ經濟サドル
- ◆ラジエータータンク 容量約一斗
- ◆車輪 特殊鋼ホイール、ボール・ベアリング一式
- ◆ブレーキ大型足踏擴張式サイドブレーキ附荷箱 鐵板製四方角堅牢なるアングルを使用し扉は後方開きにて荷物積下しに便利なり、縦四尺七寸、幅三尺八寸、深一尺七寸
- ◆車輪全長縦一・八米、全幅一・二米、高一・八米
- ◆モデル 五〇〇〇・C型七五〇〇・C型、一〇〇〇〇・C型
- ◆製作元 名古屋市南區船場町七ノ二八 水野鐵工所

▲日曹

- 一、機關 日曹六七五〇・C、側(空氣冷却式、堅型) 直徑九〇程・衝程一〇六程容積六七四、二〇〇
- 二、機關給油裝置 飛沫式自動給油唧筒式及手押補助唧筒付
- 三、着火裝置コイルイグニシヨシ式
- 四、變速機前進三段後進一段
- 五、傳動裝置六七五〇・C、單氣箱變速機

小型自動車

- 一、差動裝置間一純シヤフト・ドライブ式 七五〇〇・C、機關變速機關ダブル・チェーシ式
- 二、變速機一差動裝置間一シヤフト・ドライブ式
- 三、差動裝置四個のストレット、ベベルギヤ一一個のスパイラル、ベベルギヤ(合成組立)
- 四、ブレーキ 足動並に手動に依り作用せらるる内部擴張式
- 五、車輪 前輪、後輪共、壓縮鋼製(ディスク型)
- 六、タイヤ 前輪、後輪共、セフティ型バルーン・タイヤ
- 七、ガソリンタンク 押型鋼板にしてガソリン容量約三ガロン
- 八、オイルタンク押型鋼板にして、オイル容量約一ガロン
- 九、サドル皮製スプリング入凭付
- 一〇、荷箱強靱なる鋼製にて、長さ一、一八米・幅一、二二米・深〇・四九米
- 一一、シヤシ強靱なる鋼製にして、長さ一、八〇米・幅一、二〇米ホイールベアス一、九三米トレット一、三〇米・ロードクリアランス〇・一九米、總高さ一、四〇米
- ◆モデル 空冷 六七五〇・C(SV)

小型自動車

水冷 七五〇・〇・〇

製造元 市川市、市川新出渡下
株式会社昭和内燃機製作所

▲ニツシン

- ◆機関 空気が却式、單氣筒、ヘッド・ヴァルブ型
- ◆氣筒直徑 八八耗
- ◆衝程 九八耗
- ◆壓縮比 五・八對一
- ◆ピストン移動容積 五九六立方種(三六・三六八立方吋)
- ◆實馬力 二〇・四(四、〇〇〇回轉毎分)
- ◆氣化器 英國製アマール
- ◆着火装置 蓄電池及びコイル、マグネット
- ◆ダイナモ式は實費差額加算
- ◆電氣装置 日立又は三菱製、ロバート・ボツシニ製は實費差額を負担せしむ
- ◆クラッチ 乾燥式多盤型
- ◆變速機 選擇撥動式、前進三殺後退一殺
- ◆燃料装置 重力式、タンク容量約一四立(三・四分の三ガロン)
- ◆潤滑装置 オイル・ポンプによる循環式オイル容量約四立(一ガロン)
- ◆車輛 鋼板製

◆タイヤ 六六〇×一〇〇〇(二六×四〇〇)

◆制動機 内擴式にしてモールドット・ブレーキ・ライニングを用ふ、ブレーキ・ドラムの寸法二五五耗×三八耗、(一〇×一段)

◆積載量 八〇〇疋(約一、八〇〇封度)

◆全長 二八〇種

◆全幅 一二〇種

◆全高 一一〇種

◆モデル A型 六〇〇・〇

シャフトドライブ式空布

B型 六〇〇・〇

チェンドライヴ式 同

O型 六五〇・〇

チェンドライヴ式 同

D型 七五〇・〇

シャフトドライブ式同

製造元 大阪市北區會根崎上四丁目
日新自動車株式會社

▲陸王

- ◆車輛寸法 長一・八〇米、幅一・二〇米、高一・八〇米ホキルベース一・九三米、トルッド一・〇三五米
- ◆積載量 四〇〇キロ

◆モーター 空気が却四衝程式V型、氣筒、氣筒内徑六九・八五耗、衝程九六・八五耗

分頭式シリンドラー・サイド、バルブ式

氣筒運動容量 七四三・〇(立方種)

フオーク 1型ドロップ・ホーヂ鋼に特別の熱處理を施したる強靱無比の新型フオーク

◆チェイン 前二聯式ピッチ二分の一時、幅四分の一時、後方チェイン・ピッチ八分の五時、幅八分の三時

◆タイヤ及びリム 一六吋×四吋バルンタイヤ

1(針金式)後輪一六×四・四吋

傳導装置 チェイン傳導(差動裝置付)

◆タンク サドル型、ガソリン容量四ガロン

三バイト(八升九合)、オイル容量一ガロン

一バイント(二升五合)

◆ホキール 三輪車前輪、ワイヤ式、後一輪デスク式

◆變速機 前進三段後退一段、陸王撥動式

◆氣化器 リンカー型

◆給 裝置 改良型自動出量調整式給油ポンプによりトランスミッションには飛散式、前方チェインには壓送式給油を行ふ、廻轉部にはアレマイト給油法を採用、

◆イグニション 陸王發動電機電池式

◆電氣裝置 自動的發電出量調整裝置付大型ゼネレーター、防水、風化裝置を施したる

1に充電しヘッド・ライト及びテールライトを共に點燈す

六、車台高級引拔鋼管にて組立たる堅牢無比なり

前輪軸挿部には弊社獨特の裝置(インターナル式)齒車をハンドルとホークの間に設置し極めて輕快なけば事故防止し得る特徴あり

七、ホーク 高級可鍛鐵製弊社考案にて依る特種製品にして一個のスプリングを附し兩側にはショック・アブソーバーを裝置し如何なる難路に至るも左右に振れる憂ひ無く極めて安全に運轉する事を得

八、前輪 高級鋼製半四覆の中央部に外側より取はずし得る車輛に依り保持しあるを以て取はずし極めて容易にしてパンクの如きは寸時にして修理運轉繼續し得る自社獨特の裝置

九、ブレーキ 足動に依り後輪内部擴張式一個を附し調節自由にして特にライニング其の他に注意し其の性能を發揮す

一〇、ボデー 總鐵板四方堅牢なるアングルを使用し扉は後方に開く長さ五尺、幅三尺九寸他車に比較を見ざる大型なり

一一、消音器 昭和號特有の大判式

九

等は無、然も重量はパイプより輕減せらる

◆消音裝置 消音完全にして靜謐なる標準型マフラー

◆速度計 米國コルビン型の正確優秀なるスピードメーター

◆種類 七五〇・〇・CR・R型

◆製造元 東京市品川區北品川三ノ二八七

陸王内燃機株式會社工場

▲昭和

一、エンジン 國産自社特製水冷却水板式單氣筒頭部分離式R型公稱容積七五〇・〇

氣筒内徑九五耗衝程一〇五耗總容積 七四四種

二、氣化器 自社特製昭和號專用品

三、トランスミッション 昭和號專用特種製品前進三段後退一段にてエンジンよりクラッチへの傳導はチェーン式、ギヤボックスより前輪へはスパイラルギヤによる自社考案獨特の前輪驅動式にて運轉容易且つ確實に變速し得

四、クラッチ 手動多線條乾燥多板式緩衝裝置附

五、電氣裝置 三菱製或は日立製高壓マグネツト式、ダイナモに依り自動的にバッテリー

大型コイル及びハイ・スピード・タイマー

新製型ニアンベア・ペワイ・バッテリー音

色大なる新型 ホーン、七吋徑ヘッドライ

ト、テールランプ、フェンダーライト、ス

キツチパネル並にカットアウトリレー等

◆スターター 後方賦下式

◆クラッチ 大型陸王式乾燥多板式

◆ハンドルバー 一本鋼管を使用スチヤリン

グ、ダンパーハンバー震れ止め裝置付

◆コントローラ ビアノ線による撥動式

◆操向機 型打火鋼製造半行式にして六個の

發條により緩衝作行をなす

◆速度 最高速度六〇耗

◆回轉半徑 二・九〇米

◆フレーム 含炭素量の多い織目なき鋼管と

ドロップ・ホーヂ鋼に依つて結合したる極

強な構造を有する新製低床式フレーム

◆ブレーキ 後輪は足動による擴張式ブレ

ーキ一個

◆サドル 陸王式特許シートポストに取付け

小型自動車

- ◆リヤカーフレーム チャンネル型、結合部分
- 分はリベット締めなる故折損、屈曲、變歪
- ◆金色 陸王・オリブ・グリーンに黒色と
- ◆塗色
- ◆修理工真及びタイヤ、チニュー
- ◆ブの修理一式及びグリースガン等
- ◆リヤカーフレーム チャンネル型、結合部分
- 分はリベット締めなる故折損、屈曲、變歪

小型自動車

- ◆モデル 水冷七五〇(單氣筒)
- ◇製造元 名古屋市中區老松町九ノ四 近藤商會

ツバサ

- ◆モデル 六五〇・C型及七五〇・C標準型
- ◆機關 最優良國產サイドバルブ空冷式ナブコ・エンジン
- ◆八種氣筒容積 六五〇・C七五〇・C
- サイクル 四
- 氣筒數 一
- 氣筒内徑 九〇秤 七〇秤
- ピストン行程 一〇二秤 九二秤
- 氣筒容積 六四〇・C、七四九〇・C、記號GD一六五〇GV一七五九年度番號
- (例示) N二二一〇〇〇 二二一五〇〇
- (年式番號)
- ◆機關前取付部
- 孔ピッチ 八〇秤 七二秤
- 孔 徑 一一秤 一〇秤
- 取付ボルト 徑 三二八×長七〇秤
- 徑 三一八×長一〇〇秤
- ◆機關容積

長三九三一八×高四七〇秤長四七二秤

タンク 特殊鋼板製、ガソリン四ガロン

- ×高四二五秤
- ◆機關重量 四四冠 四五冠
- (但電裝及氣化器を除く)
- ◆給油装置 立自動給油飛沫式
- ◆着火装置 バッテリー、イグニッション又は高壓マグネット式
- ◆氣化器 アマル製噴霧式
- ◆トランスミッション 最高級特殊合金鋼材を使用、前進三段、後退一段變速式
- ◆取付板寸法 長き方ピッチ 一五〇秤
- 幅ピッチ 七〇秤
- 孔 徑 一一秤 一〇秤
- ◆重量 一二〇冠
- ◆容積 四九一×一一八秤
- ◆クラッチ 乾燥多板式
- ◆フレーム 特殊肉厚鋼板全プレス式
- ◆サイドフレーム 後部フレームと接目無き一體の堅牢鋼板、後、兩側部バンパー及風除附
- ◆フオーク 鋼板製二重コイルスプリング附
- ◆ブレーキ 内壓式制動、手動足踏併用積系統
- ◆ブレーキドラム徑 二二六〇秤
- ◆車輪タイヤ 最新ディスク型、前輪後輪二六×四、後輪二六×四・四〇、優秀タイヤ

ヒラノ號

- ◆機關 空氣冷却四衝程單氣筒側弁式堅型ヒ

- ラノエンジン 種類 六七〇、内徑九〇、衝程一〇六、容積六七四、馬力六・七、警視廳馬力五、記號HIA號
- ◆給油装置 飛沫式にして自動給油ポンプを裝備す
- ◆着火装置 高壓マグネット又はバッテリーイグニッション式にしてエンジンの後方に取付け雨滴泥十等による障害を防ぎ點火の間は左手レバーにより任意に調節し得
- ◆氣化器 噴霧式にして二本のスロツトルレバーにより調整自由
- ◆ギヤーボックス 最高級特殊合金と鋼材を以て極めて堅牢に製作し、前進三段後退一段の自動車式變速なれば操縦極めて容易且つ確實、始動はキック式にして運動部は完全に被覆す
- ◆クラッチ 特殊考案になる乾燥多板式にして充分なる摩擦面積を有し左フットペダルにより自由且つ敏速に操作す
- ◆傳動方法 エンジンよりギヤーボックスに至る前部驅動はローラーチェーンギヤーボックスより差動装置に至る後部驅動はユニバーサルジョイントを以て連結したるプロペラーシャフト即ちシャフトドライブ式なり
- ◆差動装置 特殊鑄鐵の鋼材を以て製作し

小型自動車

- 適合部は凡て婦人研磨仕上を施したる極めて強靱且つ完全なる差動装置にして、後輪軸には六個のボールベアリングを使用し半浮動式を採用せり
- ◆フレーム 高級可鍛鑄鐵と優良鋼板を以て重要箇所は二重張となしたる故構造堅牢無比
- ◆サイドフレーム 鋼板をプレスし、頑丈なるクロツスビームを以て左右を連結する後美麗に錆止塗装を施す
- ◆フオーク 鋼板製平行型にして二重板發條式を採用す
- ◆ハンドル 鋼板製函型式
- ◆ブレーキ 大なる有効制動面積とブレーキシューの調整自由なる二個の支點を有する獨特の内壓式制動装置にして手動及足踏併用
- ◆ホキール 最新式デイクス型にして厚さ一分五厘の鋼板製
- ◆タイヤ 前後輪共(針金式)バルーン付)前輪二六×四四〇、後輪二六×四四〇
- ◆タンク 函型表量、ガソリン三ガロンオイル〇・七ガロン
- ◆サドル 乗心地良き皮製大型発行
- ◆消音器 内務所認定品
- ◆警笛 内務省認定品

- ◆速度計 カウンター付されたるタンクの上方面易き個所に取付けギヤーボックスに連結す
- ◆電燈装置 充電されたるバッテリーによりヘッド及テールランプを點火し走行中は自動的に充電す
- ◆荷箱 美麗鋼板製にして標準寸法(内側)幅上部一一二秤(三尺七寸)幅下部九〇八、(二尺九寸七分)長さ一一九八秤(四尺二寸八分)高さ四六〇秤(二尺四寸二分)
- ◆道具箱 角型にして荷箱の前方に取付
- ◆塗飾 高尚優美なるラツカー塗
- ◆附屬品 飛沫除、應急修理工具一揃
- ◆シャシー寸法 全長二七九〇秤、全幅一九〇〇秤、高一六〇秤、ホイールベース一八〇〇秤、トレッド一〇七〇秤、ロードクリアランス一〇七〇秤
- ◆車輛重量 五五〇秤標準型
- ◇製造元 名古屋市中區則武町野畑 平野製作所

オースチン

- ◆機關 機關の僅かな震動でもシャシーに傳はらない様に厚いゴムの上に架装された四點支持式である。クランクケースはアルミ

小型自動車

ニウム製でシリンダーは鋳鐵で一體に鑄造されシリンダーヘッドは取外しの出来る水冷式四気筒とツリー・シター五呎一時(一五四九呎)、ニツビー四呎四吋(二三二〇・八呎)、ホキールベース六呎九吋(二〇五七呎)、車軌三呎四吋(一〇一六呎)、路上間隔普通車は六呎四一三(一七一呎)、回轉半徑三八呎一時(一一六三三呎)。但國産ポデー附ホキールベース六呎四吋(一九三〇四呎)、全長九呎二八(一一九六・九呎)、幅三呎一時八(一一一・一五五・七呎)高さセダン五呎一時四(一五五・七呎)。

◆附屬品 六ゾオルトの照明装置、始動スイッチのある始動電動機、足で切り換へて出来るデフ・アンド・スキッチ附のクローム鍍金したヘッド・ランプ、サイド・ランプ尾燈兼停止燈、チヨークを兼ねたスロットル・コントロール、ガソリン・ゲージ速度計、電氣ホーン、スベア・ホキールとタイヤ修繕小道具等必要なる附屬品は全部取付られてゐる。

◆モデル ツーリング型
セダン型

◇輸入元 大阪市北區會根崎上四丁目

日新自動車株式會社

▲ダットサン(貨物車)

◆機關

◆氣筒數 四
◆行程式 四方程循環式
◆口徑及行程 五五呎×七六呎
◆總氣筒容積 七三・三四立方呎
◆警視馬力 七・五馬力
◆實馬力 一六馬力(三六〇〇) 毎分廻轉
◆壓縮比 五・四對一
◆點火順序 一—二—四—三
◆ピストン「Y」特輕合金「ソリッドスカイト」型
◆ピストン・ピン 外径一五・八六呎
◆コンプレッション・リング二個幅二・七呎
◆オイル・コントロール・リング一個幅三・五呎
◆コンネクティング・ロッド「H」形斷面鍍鐵
◆デュラルミン製
◆クランクシャフト 鍍鐵鋼製
◆クランク・ピン寸法三三×三五呎式・前進
◆メイン・ベアリング二個球軸承三〇呎×三五呎七二×一五呎
◆潤滑廻轉 ポンプに依る壓送及飛沫式
◆點火 バッテリー及びコイル式デストロビ
ユニター機關の前部、右側に附し自動進角

調整装置を有す

◆點火 「メトリック型」一八吋
◆起動 ○・四馬力「セルフ・スターチング・モーター」及び手動「クランク・ハンド」電氣「スキッチ」を用ひ押印は計器盤中央に取付く。

◆冷却對熱流循環式にして蜂巢型大型同(ロードスター型) 五八〇呎
◆シヤシー重量 四一〇呎

◆機關

◆行程式 四方程循環式
◆口徑及行程 五五呎×七六呎
◆總氣筒容積 七三・三四立方呎
◆警視馬力 七・五馬力
◆實馬力 一六馬力(於三、六〇〇 毎分廻轉)
◆潤滑 回轉ポンプに依る壓送及び飛沫式
◆點火 「バッテリー」及び「コイル」デストロビユニター機關の前部右側に附し、自動進角調整装置を有す
◆冷却 對熱流循環式にして蜂巢型大型「ラヂエーター」及び四枚羽根「ファン」を有す。却冷水容量六立(一・五五ガロン)
◆氣化器 日産ソレックス式・三・H型(エア・クリナー付)
◆燃料槽 車台後部に架し容量二立(五ガロン)

◆クラッチ 乾燥單盤式

◆變速機 標準型選擇滑動齒車二段後退一段
◆後車軸 半浮動式、減速比六・五對一又は五・八對一

◆制動機 連桿式内擴四輪制動裝置・「ドラム」の徑二〇〇呎・可鍛鐵製防水裝置を有す

◆操向裝置 「ウォーム」及び「セクター」式減速比一四對一・右側連桿ステアリング・ホキール」の中央に警音器「ボタン」を備ふ

◆發條 (前)半楕円形橫置式

長さ七〇五呎(後)半楕円形平行式

長さ九四〇呎

◆シヨック・アブソーバー 前車軸の兩側に附す

◆ライド・スタビライザー 後車軸に「ライド・スタビライザー」と「シヨック・アブソーバー」を組合せたるものを備ふ

◆タイヤ 四・〇〇—一六バルーン

◆燈火 「駐車」「防眩」及び「明射」電球を有する前照燈一個・尾燈兼停止信號燈一個計器盤を有す

◆計器盤 速度計兼距離計、油壓計、燃料計電流計、點火兼點燈・スキッチ・絞氣鉞・節氣鉞を有し兩側に小物を置く仕様は豫告なく變更する事ある可し

小型自動車

◆モデル

セダン 七五〇〇〇

フエイトン 同

ロードスター 同

クローベ 同

◇製造元 横濱市神奈川區寶町二

◇發賣元 日産自動車株式會社

東京市麴町區丸の内 日産自動車販賣株式會社

▲ダイハツ(貨物)

◆機關

◆型 式 扇車強風空冷却四衝程二氣筒
水平對向式
◆記 一GA七
◆氣筒直徑 七四・五呎
◆衝程 八四・〇呎
◆容 積 七三二〇・〇
◆警視馬力 六・九馬力
◆點 火 バッテリーイグニッション式
給油裝置 強壓送及飛沫式
氣化器 ダウンドラフト式
始 動 セルフスターター及手動
◆車輛 型式 FA型
全 長 二七九五呎

全 幅 一一九五呎

全 高 一五八〇呎

軸 距 一八五〇呎

軸 距 前輪 一〇三〇呎

後輪 一〇七〇呎

路面間隙 一七〇呎

回半徑 四八〇〇呎

重量 空車 七九〇呎

◆操向機 ウォーム及セクター式

◆前車軸 逆エリオット式

◆後車軸 半浮動式

◆第一減速 ベベルギヤ

◆第二減速 ヘリカルギヤ

◆荷箱 長 一一二〇呎

幅 上部 九〇〇呎

下部 九〇〇呎

深 四六〇呎

◆クラッチ 乾燥單盤式

◆變速機 前進三段後退一段
選擇齒車滑動式

◆減速機

イ、變速比低速 一對、九二

中速 一對、七二

高速 一對、

後退 一對三、七五

ロ、差動裝置 一對七、六八

ハ、總減速比

小型自動車

- ◆低速 一對二、四
- ◆中速 一對三、二
- ◆高速 一對七、六八
- ◆制動機 内部擴張四輪制動裝置手動及足動
- ◆燃料油槽 容積 二〇立
- ◆タイヤ 四〇〇—一六バルーン
- ◆照明裝置 駐車、防眩及射電球を有する
- ◆前照燈 一個
- ◆尾燈兼停止信號燈 一個
- ◆計器 盤速度計兼距離計、油壓計、電流計
- ◆點火點燈スイッチ、絞氣鉋、節氣鉋、始動
- ◆卸付
- ◆塗飾 高尚優美なるラツカー塗
- ◆附屬品 飛沫除及應急修理工具一揃
- ◆種類 七馬力半四輪トラツク
- ◆製造元 大阪西淀川区大仁東、丁目
- ◆發動機製造株式會社

▲京 三

- ◆機關 式式京三式四行程九〇V型 氣筒數 一氣筒 孔径及行程 七六・二種×八二種
- ◆總排除容積 七四八立方寸 監視馬力 七・五馬力 制動馬力 一七馬力(毎分三六〇〇廻轉にて) 壓縮比 五・五一
- ◆氣化裝置 エアータリナー付京三型ダウンドラフト・キヤイブレター

- ◆1モンキースパナージャツキグリスガ
- ◆速度 標準車八杆乃至六〇杆 低速強力車 六杆乃至四〇杆
- ◆行續距離 一ガロン 四一哩
- ◆登攀能力 標準車 3-5 低速強力車 0-45
- ◆車體寸法 全長一、八〇〇米 全幅一、二〇〇米 全高 一、六五〇米 ホキールベ
- ◆1ス 一、八三〇米 トレッド 一、〇四〇米 ロードクリアランス 〇、一六〇米
- ◆荷台寸法 全長(内) 一、三〇〇米 全幅() 一、一〇〇米 全高() 〇、四六〇米
- ◆ライトバン 車體寸法 全長一、八〇〇米 全幅一、二〇〇米 全高一、六六〇米 ホキールベ
- ◆1ス 一、八三〇米 荷台寸法 (内) 全長一、二七〇米 全幅一、一〇〇米 全高一、〇二〇米
- ◆フラットボデー 車體寸法 全長一、八〇〇米 全幅一、二〇〇米 全高一、六五〇米
- ◆ホキールベ 一、八三〇米 荷台寸法 (内) 全長一、二八〇米 全幅一、一六〇米 全高〇、三〇〇米
- ◆ロングシャシー 車體寸法 全長三、三九〇米 全幅一、二〇米 全高一、六五〇米
- ◆ホキールベ 一、二五〇米 荷台寸法

小型自動車

- ◆燃料供給裝置 落差式ガソリンタンク 容量 五ガロン
- ◆潤滑裝置 京三型自動循環ポンプに依る注入飛沫式 オイルパン容量0-4ガロン
- ◆點火裝置 バツテリー及コイル式
- ◆發電裝置 京三製B・T・B・型六V一六〇W 發電機
- ◆配電裝置 京三製D・二B L-A型オートマツクアドバンス付配電器
- ◆起動裝置 電動及手動式京三製C〇・4-6 LD一型セルフスターチングモータ
- ◆冷却裝置 自然循環式 一カンテイニユアスフィンアンドチユエプ式ラヂエーター使用 一葉ファン、冷却水容量二・三ガロン
- ◆クラツチ 乾燥單板式
- ◆變速機裝置 常時噛合安全裝置付クラツチ 選擇式 前進三段 後退一段 速比 低速 四・二二 中速二・〇五 高速一 後退三・六四 ギヤケーシングアルミニウム輕合金
- ◆製 各ギヤ ニツケル クロム鋼使用
- ◆前車軸裝置 一ビーム型 レバームエリオツト式大型テーパーローラーベアリング使用
- ◆自由接手 無注油 京三型メタルセンタール付ファイアブリツクディスク式デヨイン

- ◆(内) 全長一、九〇〇米 全幅一、一九〇米 全高〇、三〇〇米
- ◆車輻重量 六四〇斤(標準車)
- ◆有効積載量 五〇〇斤
- ◆最大積載量 八〇〇斤
- ◆モデル七
- ◆TB 七五〇CC(SV)
- ◆製造元 東京市麹町區丸ノ内一ノ八
- ◆(興銀四階)
- ◆京豐自動車工業株式會社

▲ライト

(乗用貨物)

- ◆寸法 車輻全長 二、八〇〇米 車輻全幅 一、二〇〇米 軸間距離一、九〇〇米 軸間距離(前)〇、九九〇米(後)一、〇一五米
- ◆重量 六六〇斤
- ◆高さ 一、五七〇米
- ◆最低地上高 〇、一六〇米
- ◆荷台寸法 長さ一、一八五米 幅一、一一〇米
- ◆有効積載量 五五〇斤
- ◆機關 四氣筒、四衝程、直列側弁型、水冷却式氣筒直徑五五桿、衝程七七桿ピストン排氣容積 七三三立方寸 公稱馬力 七、五馬力 制動馬力(於毎分三、六〇〇回

- ◆後車軸 セミフロートインク式(3-4浮動式)ウオーム及ウオームホキール減速式 プラニタリー式差動裝置付 減速比標準車 七・一 低速強力車九・〇
- ◆制動裝置 機械式四輪制動内部擴張式ドラム内徑前後共二〇桿 制動面積一〇四〇平方吋 手動四輪制動式 足動四輪制動式 操作裝置 ウオーム及ウオームホキール式 減速比八一一回轉半徑 五・〇米(外側前輪)
- ◆驅動裝置 ラディアスロツド式推進
- ◆スプリング フロントスプリング 前部シヤツクル半楯円平行式 スパン六二〇桿
- ◆リアスプリング 六レバウンドラパー付 リヤスプリング 兩端シヤツクル半楯円平行式 スパン八〇桿 リーフ0-9
- ◆フレーム 溝型鋼 三桿×三五桿×一〇〇桿 C型クロスメンバー使用
- ◆ホキール 大型ハブキヤツプ付 ディスクホキール
- ◆タイヤ 二六吋×四・〇〇吋
- ◆照明裝置 前燈一個 停止燈付 尾燈一個
- ◆計器盤 速度計、電流計、前燈スイッチ、始動スイッチ、スタータースウキツチ、チヨークボタン、スロツトルボタン
- ◆附屬品 スペヤイタイヤ、飛沫除、ワイパー、修理用工具一式(ブライヤードライバ

- ◆(轉) 一六、五馬力 主軸承面積 一四六、八平方吋
- ◆壓縮比 五、七一
- ◆點火裝置 コイル、蓄電池式
- ◆始動裝置 電動機式及手動式
- ◆配油裝置 齒車唧筒全壓送式
- ◆燃料供給裝置 唧筒式
- ◆聯動機 單乾板式
- ◆變速機 摺動選速式 第一速三、二二五-第一速 一、七三一 第三速一後退 三、八五一
- ◆後車軸 半浮動式
- ◆制動機 機械式一系統四輪内部擴張式
- ◆操作機 ウオーム、ナツト式
- ◆車體發條 前部 半楯円形重設除 水平荷重 七五〇斤
- ◆輪帶 二四×四〇〇バルーン式
- ◆照明裝置 前一個 後一個
- ◆速度 五哩一九〇哩
- ◆登攀能力 一-5勾配
- ◆迴轉半徑四、二六〇米
- ◆行續距離 一立一五桿 一ガロン一三六哩(一八立(一罐)にて二八〇杆(一八〇哩)
- ◆後車軸減速率 六、八對一
- ◆モデル セダン型

小型自動車

フエイトン型
トラック型

パネル型

製造元 東京市芝区芝浦二ノ三

ライト自動車工業株式会社

設置元 東京市赤坂區溜池町三

自動車投資株式会社

▲オオタ (乗用貨物)

◆エンジン 型式 四衝程 上頭側瓣式ラバ
1マウンテイングによる四點支持氣筒數
四氣筒 口径及行程六〇、五程×六四程、
總排氣容積 七四六立方糎 監視馬力九
〇六馬力 實馬力(毎分三、四〇〇回に於
て〇〇)最高回轉數 九、〇〇〇回轉壓縮
比 五、五對一 點火順序 一—三—四—
二—ピストン Y輕合金製Tスロット入
コンプレッション リング 一個 幅三程
オイルコストコル リング 一個 幅三
程コネクティングロッド ドロップフオーヂ
ト カーボンチール製 クランクシャフト
ドロップフオーヂト カーボンチール製
靜動再用のバランスに對し完全
◆燃料裝置 特殊エヤクリーナ付ダウンド
ラフトカーブレッター、オイルバス式エヤ
クリーナー及びガスコレクターを裝備 燃

料輸送は高速度高能率フューエルポンプ式
にしてカムシャフトのエキモントリックに
て驅動、輸送管は全部ラバーブツシグ入
にて震動不感、燃料タンクは車台後部に架
装し電氣インディケータ付、タンク容量
二二立(五、五五ガロン)、豫備一、九立
(一—三ガロン)

◆潤滑裝置 ギヤタイプポンプによる壓送及
び特許高速式スプラッシュポンによる飛沫
式併用、オイルパン容量一、九立(一、六
七クオート)

◆冷却裝置 自然循環式にしてラヂエター
コアは屈折細管式及び一葉のファンを有す
冷却水容量五、五立(一、四五ガロン)

◆點火裝置 バッテリー及コイル式バッテリ
一はニアサ蓄電池、鉛板一枚を使用、六
Y—〇〇アンペア時、デイストリビュータ
一は芝浦製作所製A—一八Dオートマテツ
クアドバンス付スパークプラグはメトリツ
ク型一八程

◆起動裝置 電動式セルフスターチングモ
ターは強力高率の芝浦製作所製AS—二四
ペンデイツクス飛沫式

◆發電裝置 ダイナモは芝浦製作所A—二二
四製耐熱高率第三ブラツシユ付安全發電容
量一二アンペア
◆クラツチ 乾燥單板式

◆トランスミッション セレクテツスライド
ギヤ式前進三段後退一段、ギヤは堅牢なる
フエロスタブ齒型を用ひニツケルクロ
ム鋼を使用、メインシャフトには大型ボ
ルベアリングを裝備

◆フロントアクスル 頑丈な一棒ドロツプフ
オーヂドハイカーボンチール製にして逆
エリオット式

◆ユニバーサルジョイント 新しいスプライ
ン式を採用し軸方向の振動を吸収してラバ
ーデイスクの耐久力を一層増加

◆リヤアクスル セミフロートンダ式アク
スルシャフトはニツケルクロム鋼を使用
グリーソン式スパイラルベルギヤを裝備
減速比六、五對一

◆操向裝置 ウォームアンドローラー型減速
比一四對一、ハンドル直徑三七〇程
◆スプリング 前後共半楕圓型シリコンマ
ンガニス鋼使用前部長七〇〇程コンプ
レッション七葉 レバウレドラバ付 後
部長八九〇程 コンプレッション 八葉
ブレーキ メカニカルフオーホキールブレ
ーキ内部至輪壓式 フロンドブレーキド
ラム内徑二〇〇程 制動面積三九五立方糎
リヤブレーキドラム

内徑二五〇程 制動面積四八七平方糎
ブレーキライニング前後共幅三八程

◆フレーム サイドメンバーは最大深さ九〇

程、厚三、一程、プレストチール製薄型、
クロスメンバーは中央に強靱なNメンバー
を以てし、車體の捻れを防ぐ第一クロスメ
ンバーはト字型

◆ホキール及びタイヤ ドロップセンタリ型
プレストチールディスクホキール、美麗
なるハブギヤツブを有す、タイヤ二五×四
〇〇四プライ

◆燈火 優美なるヘッドランプ二個、テール
ライト、綜合のもの一個、ダツシユランプ
一個、高速獨特の操作簡單體裁優美なるベ
ーライト製ライトコントロールユニット
を裝備し内部にイグニッションロック・デ
イムライト、パークライト、電氣式方向指
示器、電氣ホーンの各スイッチを綜合裝置

◆計器盤 速度計、電氣式ガソリン計量器、
アンメーター、オイルゲージ、溫度計、テ
ィクボタン、スロットルボタン、計器間接
照用用スイッチ

◆車輛寸法 全長(バンバー共)三、一九〇
程(バンバーなし)二、七九〇程全高セ
ン一、九四〇程 フエイトン一、五三〇程
ロードスター一、四一〇程カブリオレー
一、四五〇程 ホキールベイス二、〇〇〇程

◆路面間隙一八五程 全體一、二〇〇程
◆乗員 セダン四名 フエイトン四名 ロ
ー

小型自動車

ドスター四名 カブリオレー一名

◆トレット 一、〇四五程

◆回轉半徑 (外輪)四、七六九程

◆車輛重量 セダン六八〇程 フエイトン
六五〇程 ロードスター六二〇程 カブリ
オレー六六〇程

◆シヤシ重量四二〇程

◆モデル

〇Dセダン 七五〇CC

同フエイトン 同

同ロードスター 同

同カブリオレー 同

同トラック 同

◆製造元 東京市品川區品川五ノ五〇

高速機關工業株式会社

◆設置元 東京市赤坂區溜池町十二

高速自動車販賣株式会社

▲筑波

◆エンジン 氣筒口径 七五・五程

行程 七六程

最大廻轉數 (一分間)四〇〇〇廻轉

馬力 (一分間)三〇〇〇廻轉に於て
十二馬力

課稅馬力 七・二五

排氣量 七三六・五立方糎

壓縮比 五・五

重量 七〇程

シリンドラー 水冷式四衝程獨立四氣筒單體
鑄造となしニツケルクロム鑄造

同 ヘッド アルミニウム輕合金製、
單一鑄造にて混合氣の氣化作用を効果的
ならしめたるシリンドラーヘッドを通じて
混合吸入管をヴァルヴ室に通じてある

◆冷却裝置 離心ポンプを用ひ、ポンプはフ
アン軸に直結されてある

◆着火裝置 手動式併用の自動式蓄電池式の
着火位置は一、三、四、二

◆氣化器 ダウンドラフト式ゼニス氣化器、
給油は機械的にポンプにより、後部槽よ
り供給される。油槽容量、二〇立

◆潤滑裝置 ポンプ式、潤滑油容量三・五立

◆電氣裝置 スターター、ゼネレーター共に
オートライト製、蓄電池一〇〇アンペア時

クラツチ 乾燥單板式

◆トランスミッション 前進三段後退一段の
選擇式、齒車は常時啮合式

減速比 第一速一—第二速一・二〇九一

第三速三・八八一—後退三・五一一、

油量 一・八リットル

◆ファイナルギア ウォール及ホキール式

減速比、乗用車六・〇—一

小型自動車

貨物車六・五— フレーム フレーム鋼製、四個のクロームメンバーを用ひ、コ造断面であるが、これは筑波號の特徵としてレム材下面とボデーの断面と一致せしめ、車體の重心を著しく低下せしめてゐる。

◆制動装置 四輪制動で前車輪は前車輪デフレンシャルウォームホキールの右側短軸に徑一九〇程のブレーキドラムを装置し一個のブレーキドラムを以て左右前車輪に共用せしめ後車輪は各々の車輪に徑二〇〇程のブレーキドラムを有し全制動面積は四八六九平方種(前車輪一四二、七平方種、後車輪は二六六、一平方種)にして前車は外部收縮式、後車は内部擴張式なり

◆換向装置 インターナルベル及ビニオン式にして其の比は六一一なり、ステアリングダ把手は四〇〇程即ち約十六吋にしてハンドルのスポークは可換式にしてベークライトを以て加工し大型普通車の操縦と何等變る處ない。ステアリングアームの一端は前車輪ハブの一部にボールジョイントを以て連結したるタイロットを聯動せしめ、ドラックリングに接続す。

◆車輪 鋼製ワイヤースポーク前後車輪共防

●防水装置にしてタイヤとは二六×四・〇〇を使用す。前後車輪には四個の摩擦式震動吸器を用ひ、目盛りにより適宜調節をなし得。◆運轉台及器具盤の部 チェンジギアのシフティングレバーポストの右側に、始動スイッチを左側にチヨクレバーを背面右側にスロットル鈕を左側に着火位置調節鈕の其直下にヘッドライト點滅スイッチを装置す器具盤上には速度計、電壓計、油壓計、エンジン・スキッチパネル、ラムブスキッチ道具箱を有してゐる。

◆車輛寸法

車台全長 一采八〇、
同 全幅 一米二〇、
同 高 一米五二(セダン型)
地上高 前部二〇五・五種
後部二一〇・〇種(運轉整備の時)

車輪踏面距離 前車輪 九七〇種
後車輪 一米

◆重量

シヤシー 三八四種
セダン型空車の場合六六七種
セダン型荷重配分 前車輪三四〇種
(空車の場合) 後車輪 三二七種



セダン型重車 後車輪 九〇七種
◆登坂力五分ノ一
◆最高速度 七〇種
◆モデル 七馬力半セダン型
◆發賣元 東京市麹町區丸ノ内一
昭和自動車株式會社

燃 料

概説

政府の所謂燃料國策は昭和十二年度に於いて漸く具體的曙光を見出すに至つた曰く代用燃料としての人造石油工業發達の前提として帝國燃料興業の創立を見るに至つたこと、自動車に於けるディーゼルエンジン及び木炭瓦斯發生機の積極的使用總策を講ずるに至つたことの二つは、燃料局の創設と共に那家の爲め誠に慶賀すべきことであらう。

また現下の石油事情を鑑みる時産業上並に國防上、不安を排除する爲には如何にしても一定の期間に一定の數量の液體燃料を自給することを目標として総合的な政策を樹立し之が計畫的遂行を圖することは絶対に必要である、燃料政策の遂行を援助する爲には關稅並に租稅政策等に依つて外國産天然石油との競争を可能ならしむると共に、積極的に代用燃料工業の保護助成に努めねばならないことは説明するまでも無い。

我國に於ては昭和七年に於ける六社對業者の紛争も大詰めとなり、重要産業統制法の發動によつて昭和八年度の石油界は統制をとり、車となつたが、商工省に於ても愈々燃料國策の樹立を必要に迫られたので、液體

燃 料

燃料調査委員會を關係各省の手によつて組織強化し一方燃料協會に於ては五月に至り燃料國策に關して政府に建議するところあり、液體燃料に關する國策樹立の輿論が澎湃として擡頭するに至つた茲に於て調査委員會は

- 一、内地油田の開發及び油田試掘助成
- 一、代用燃料の研究
- A、石炭低溫乾餾法
- B、撫順夏石油
- C、台灣天然瓦斯の利用油化
- D、台灣糖密よりアルコールの精製
- E、アルコール燃料の合理的生産法
- 一、樺太油田權益の開發
- 一、石油界の統制法

等に關して各々分科委員會を組織し一方内地油田の開發を促進すべく徹底的の地質調査を開始し鋭意燃料國策の大本決定を急ぐところがあった、然るに此の間松方氏によつて石油の内地市場進出を見一昨年未決定を見た市價組織、代用燃料研究、石炭液化の助成等々巨額の豫算を計上して大藏當局に要求するところであつたが、遂に大藏當局の査定により削除二錢と底値を割り漸く落つたガソリン界は

再び混亂に陥つた。

茲に於て六社側は重要産業統制法の發動を商工省當局に懇願した。商工省としては既に前述の如く燃料國策の樹立を目指して進み英米兩資本系によつて日本に於ける燃料問題が左右さるゝの危懼脱出を確立せねばならぬ時期であり、英國のアンダロ・ベルシヤは勿論ロイヤルダッチも英國海軍の指揮統制下に立ち佛國に於ては石油專賣案が下院を通過し、米國に於ては重要産業統制案と別個に石油業國家獨裁案が上院に提出を見る等世界列國何れも石油國家管理案の實施を急ぐとき、石油資源に乏しき我國が單なる市場統制の局所的手段によつて一時的満足を許されぬものがあり且つ徒らなる市場安定策は反つて國策を誤らしむる事ともなるので、當局も頗る大事をとり重要産業統制法發動の非常手段をも講ぜなかつたのである、斯かる内に燃料國策調査會の研究は急速に進行し燃料國策遂行、五ヶ年計畫案の作成を見て昭和九年度より内地油田の開發、樺太油田權益の開發、台灣油田の開發に對して試掘補助を成、地質調査隊の組織、代用燃料研究、石炭液化の助成等々巨額の豫算を計上して大藏當局に要求するところであつたが、遂に大藏當局の査定により削除二錢と底値を割り漸く落つたガソリン界は

過ぎず燃料國策五ヶ年計畫が水泡に歸するに至つた事は遺憾の極みであつた、斯くして昭和九年七月一日より石油業法の實施を見るに至つたが、同法は石油業の許可制度貯油義務を規定し國內製油業の發達と國防上の缺陷を補正し併せて市場統制をなすが目的である、またこれと時を同うして滿洲國は石油專賣法を施行して我國資源の獲に積極的に乗出すに至り、その成果は我國と共に大いに期待されてゐる、石油業法施行の一ヶ年その主要なる一部をなす貯油義務は田舎に遂行出來得なかつたことは遺憾とするも、この間に將來大きな體験をなし得たと言ひ得るのである。

而して國策的危機の切迫は昭和十年から十一年にかけて愈々緊迫を上げるに至り、我が國に於ても石油問題の解決は焦眉の問題として政府にあつても、七大國策の一つとして探り上げその可及的具體化に邁進しつゝあるが即ち

- 一、無水アルコール生産專賣
- 一、外油貯油問題
- 一、人造石油事業法の準備
- 一、北樺太石油試掘五ヶ年延長
- 一、半官半民人造石油會社の設立
- 一、ガソリン税附加
- 一、關稅引上げ

燃料國策に關する大綱はほゞ基礎工作を

形成し得たといつてよい。

即ち國內石油消費量の約九〇%を外油に俟たなくてはならぬ我が國石油生産高の現在では軍事的乃至は原料自給自足の艱難からするも先づ代用燃料の普及達成が急務である。而して石油消費の半ば以上を占むるガソリンの代用燃料としての無水アルコール強制混入問題はかねて懸念中であつたが、それには現在のガソリン價格の引上げ「ガソリン」につき約七、八十錢方の引上げをみなくては不可能なので政府に於ても十月アルコール國產專賣採用をみることにし昭和十二年に於て全國七ヶ所へ無水アルコール強制混入ガソリンを使用せなくてはならなくなり、これに依り若干のガソリン消費節約の實現を計ることに決定した更に人造石油の保護助成を目的とする人造石油事業法の準備を進めると共に昭和九年七月一日の石油事業法の改革が問題となるに至つた。而して人造石油工業の企業試驗を行ふため總豫算一千七百万円、三ヶ年計畫で年産能力二万噸の國營模範工場を設置すべく燃料研究内に新たに工業部を設けることになり、昭和十二年に追加豫算として五百万円を要求する事になつたが、更に資本金一億円の「官半民人造石油會社」を設立することになりその設立すら纏つた次第である。海外資源の開發では昨年十二月十四日を以て満了すべ

き筈のところ、蘇聯邦政府との交渉の結果更に五ヶ年延長されることとなつた、石油業法により制定された貯油義務は外油關の不行によつて一抹の不安を醸してゐたが十月三井物產出資による資本金二千五百万円の代行會社で代用することになつてようやく解決をみるに至つたのである。斯くて代用燃料の保護助成のため昭和十二年度ガソリン税五錢附加並びに關稅引上げを併せ考へると、昭和十一年度及び十二年度は正に燃料國策の基本的軍事的編成工作の全面的準備期であつたといはれる、これら諸工作に依つて我が國の石油自給自足問題は全く驚異的飛躍を成したと云つてよい。

支那事變の勃發によつて、石油消費規正の斷行となり、揮發油配給統制の強化を以て特殊需要を充足しつゝあるが、この一事は燃料國策の早期確立に拍車を掛けることとなり、政府に於ては無水アルコール一割の強制混入を實施して消費節約を行ふ一方、人造石油の精製事業の確立、油田の開發等の擴充を行ふために昭和十四年度は既定繼續豫算に加へ千六百九十五万円を新規事業豫算として成立し戰時體制下に於ける燃料國策の遂行に邁進することとなつた。

諸國の液體燃料政策

概要

一、英國

(一) 國外石油利權の獲得
政府は「アングロ、イラニアン」石油會社に投資を爲し積極的に同社の事業を助成監督しつゝ同社をして「イラン」「イラク」等に於ける國外石油資源の開發利權に参加せしめ更に英國海軍は同社より原油及揮發油の供給を受ける契約を締結し以て石油供給の確保を圖りつゝあり

(二) (人造石油の製造

石炭 液體事業はI.O.C.I (帝國化學會社)を中心として其の企業化及發達を圖りつゝありたるが更に關稅制度に依り其の保護助成に努めつゝあり、尙石炭低溫乾留事業は關稅制度に依る保護と海軍の製品質上契約とに依り發展を爲しつゝあり

(三) 代用燃料の利用普及
壓縮ガス自動車、蒸氣自動車「ディーゼル」自動車等の使用普及を奨励しつゝあり尙揮發油と「アルコール」の強制混入は實施し居らざるも一般的に燃料用アルコールの需要増加の傾向を示せり

燃料

二、米國

米國は世界石油總産額の六五%を産し石油の産額乏しき諸國に於けるが如き特に積極的な液體燃料政策を採り居らずと雖も國內石油資源の亂掘を防止する方策を採る外國外石油資源確保開發等に對しても重大なる關心を有し積極的方策を進めつゝあり

三、佛蘭西

(一) 液體燃料局
綜合的燃料政策の樹立及實施の中心機關として活動す

(二) 國內石油資源の開發及國外石油利權の獲得
液體燃料局に於て直接事に當る外一面國內石油試掘事業に對し助成、指導を爲すと共に他面「フランス」石油會社を設立し政府に於て之に出資し「イラク」油田其の他の石油資源開發利權に参加する等國外石油利權の獲得に努めつゝあり

(三) 石油業の發展及統制
國內製油主義を採り國內製油業に對し政府の出資、租稅及關稅制度に依る助成、技術的指導等の施設を講ずると共に石油業法に依り製油業及石油輸入業に關し特別の許可制度を實施して統制を爲し更に佛國油槽船に對し補助金を交付する等之が統制發展を圖りつゝあり

(四) 石油の保有

石油業法に依り石油輸入業者に對し一定量の石油の保有義務を課し居れり(最初は三ヶ月分なりしも最近四ヶ月分に變更せられたり)

(五) 人造石油の製造

石炭液體事業の發達を圖るが爲め「フランス」揮發油合成會社及揮發油合成會社の二液體會社を設立し政府に於て之に出資し其の指導發達に努めつゝあり

(六) 代用液體の利用普及

揮發油と「アルコール」の強制混入制度を實施し、更に新炭「ガス」自動車「ディーゼル」自動車等の使用普及を助成し奨励しつゝあり

四、獨逸

(一) (國內石油資源の開發
石油試掘事業に對する補助金交付制度に依り之が助成に努めつゝあり

(二) 人造石油の製造

人造石油製造事業は政府の國稅政策と石油高價格政策に支持せられ著しき發達を爲しつゝあり即ち褐炭液體工業は先づI.G.染料會社に依り企業化せられたるが「プラウニコレンベンゼン」會社の強制設立に依り増々發展し來りたり尙水性「ガス」「コークス」爐「ガス」等を原料とする揮

三

發油の混成(所謂「フィッシャー」法に依る)も亦「ルーレヘミー」會社を中心とし其の工業化を見つゝあり

(三) 代用液料の利用普及

「アルコール」の強制購入制度に依る揮發油と「アルコール」の混用制度を實施する外薪炭「ガス」自動車、壓縮「ガス」自動車、蒸気自動車、電氣自動車「ディーゼル」自動車等の使用普及を助成しつゝあり

五、伊太利

(一) A・G・I・P・P

政府はA・G・I・P・Pを設立し之に出資して支援を爲し之を行機關として燃料政策の遂行を爲しつゝあり

(二) 國內石油資源 開發及國外石油利權の獲得

政府はA・G・I・P・Pを支援しつゝ之をして國內資源の開發に當らしむると共に、「アルバニア」「ルーマニア」「イラク」等に於ける國外石油利權獲得に當らしめ居れり

(三) 石油業の統制

石油業法を施行し製油業及輸入業に關し許可制度を採り其の統制を圖れり

(四) 代用燃料の利用普及

「アルコール」及「ベンゾール」の増産を

圖り、揮發油と「アルコール」の強制混用を實施し更に奨励金交付制度に依り木炭「ガス」自動車の使用普及を圖りつゝあり

六、西班牙

(一) 石油專賣制度の實施

國內に石油資源を有せざる當國は石油專賣制度を實施し專賣機關としてO・A・M・P・S・Aを設立し政府も之に出資せり

(二) O・A・M・P・S・A

O・A・M・P・S・Aは專賣機關として石油の輸入、石油の保有、油槽船の建造等を爲しつゝあり

主要國に於ける人造

石油製造事業の現況

一九三七年世界輕質發油機燃料消費量は八九、一五〇、〇〇〇噸に達し一九三六年度に比し七、〇〇〇、〇〇〇噸即ち一〇・八%増加したが此の増加量中に占むる代用燃料は四四〇、〇〇〇噸に過ぎなく、代用燃料の生産高は一九三六年度の二、三九〇、〇〇〇噸より一九三七年の二、八三〇、〇〇〇噸に増加したに過ぎなかつた。然し乍ら獨逸の生産高のみの増加は四六五、〇〇〇噸に達してゐるので、其他の國々の生産高は之を全體として觀る時には減少して居るのであつて、斯る結

果を齎したる原因は主としてフランスのアルコールの不足に存するのである。一九三七年世界並に歐羅巴に於ける輕質發油機燃料消費量並に代用燃料生産高は左表の通りである。

◆一九三七年世界代用燃料生産高

(一、〇〇〇噸)

アメリカ	諸國	其他	合計
一九三六年	五、八〇〇	三、四〇〇	九、二〇〇
一九三七年	六、四〇〇	三、七〇〇	一〇、一〇〇
アルコール			
一九三六年	一、五〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇
一九三七年	一、六〇〇	一、六〇〇	三、二〇〇
石炭液化油及ベンゾール			
一九三六年	一、五〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇
一九三七年	一、六〇〇	一、六〇〇	三、二〇〇
合成油及低溫乾溜法による揮發油			
一九三六年	一、五〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇
一九三七年	一、六〇〇	一、六〇〇	三、二〇〇
含油質岩より精製したる揮發油			
一九三六年	一、五〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇
一九三七年	一、六〇〇	一、六〇〇	三、二〇〇
代用燃料合計			
一九三六年	一、五〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇
一九三七年	一、六〇〇	一、六〇〇	三、二〇〇

アメリカ合衆國に於けるベンゾールの輕質發油機 料としての使用量は同國の輕質發油機 料消費量の約〇・六%である。ベンゾールの採取高は石炭の瓦斯化と云ふ普通の工程に於ては最大限度石炭一噸に對し三英ガロンである。故に歐羅巴其他の諸國に於ける發油機燃料としてのベンゾールの使用量は或程度迄直溜揮發油に對し支拂ふ税金に對し相對的に低廉なる税金に依存するのである。

歐羅巴以外の諸國に於て發油機 料として使用されるアルコールは甘蔗の生長する國々に於ては砂糖を精製した後多量に残る糖蜜より生産するのである。アルコール蒸溜者は殆んど運賃を要しないで多量の糖蜜を入手し得るにも拘はらず糖蜜より發油機用アルコールの生産原價は輸入石油の生産原價と比較し生産國に於て非經濟的なのである。

フィリッピンに於ける一九三七年の糖蜜よりの動力用アルコールの生産高は一英ガロン當り六片の揮發油に對する税金を免れし爲輕質發油機燃料消費量の約一〇%に達した。キューバに於ては輕質發油機燃料消費量に對するアルコール生産高の割合は一英ガロン當り約九片の税金上の特權を有するに拘はらず四%に足りなかつた。

オーストラリアの一九三七年度輕質發油機燃料消費量は一、〇〇〇、〇〇〇噸を越ゆる

のであるが其の中二、三〇〇噸はクイーンズランドの甘蔗よりの糖蜜より生産したアルコールに依り補はれ、更に一〇、〇〇〇噸は一部は輸入したるベンゾールを以て補はれた。政府はニウ・サウス・ウェルズのニウネス含油質岩鑛床の發展に務め資金の四分三を出資し、更に國內精製揮發油に對抗し得る様一英ガロン當り五・五片の保護を與へ、又更に其他の特權と共に輸入揮發油に對抗し得る様一ヶ年最大限度一〇、〇〇〇、〇〇〇ガロンに限り二十ヶ年間一英ガロン當り七片の保護を與へた。

南阿聯邦の一九三七年度輕質發油機燃料消費量は約五〇〇、〇〇〇噸で其の中六、〇〇〇噸は甘蔗よりのアルコール、一、六〇〇噸はベンゾールであり、更にトランススヴァールの含油質岩より一、六〇〇噸の揮發油を精製した。

一九三七年度全歐羅巴輕質發油機燃料消費量は一四、三四四、〇〇〇噸に達し前年度に比し六%即ち八〇〇、〇〇〇噸増加したが其の中三七五、〇〇〇噸は代用燃料増加量に依り補はれた。代用燃料の増加は一に獨逸に於て更に多くの合成工場が運轉を開始せる事に歸因し、獨逸は一九三七年に歐羅巴で使用した代用燃料の六三%を生産したのである。獨逸に於ける一九三七年度の代用燃料生産高並

に輕質發油機燃料消費量を前年度に對比すれば左表の通りである。(單位千噸)

アルコール	一九三六年	一九三七年
ベンゾール	一〇七	一一〇
人造石油	三七八	四三〇
代用燃料合計	三九〇	四〇〇
輕質發油機燃料消費量	九七五	一、四四〇
輕質發油機燃料に對する代用燃料の割合	二、三五八	二、六四〇
	四一・三%	五四・五%

馬鈴薯より蒸溜するエチル・アルコールの生産量が減少したのでアルコールの増加は制約を受け、アルコール專賣局の生産原價を低廉にする爲に一九三六年には四七、〇〇〇噸一九三七年には七〇、〇〇〇噸のメチル・アルコールを使用した。エチル・アルコール蒸溜者に對する補助金は一噸當り二六噸である而て食料としての馬鈴薯の用途の爲石油會社のアルコール強制購入割合は一九三七年十月の重量一〇%より一九三八年四月の六・九%へと減せられ、更に石油會社に對する引渡値段は一二・五%増額された。

現在の計畫が完成する迄に要する一〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸の費用を算入し人造石油製造の爲の費用は處理能力一噸當り約五〇磅と推定されるのである。獨逸政府は一噸當り約

一八磅の關稅に依る保護を與へる事により一九三七年度に入〇〇、〇〇〇噸の人造石油を製造した。第一級の揮發油を本數量輸入するに要する費用は約五、〇〇〇、〇〇〇磅で、恐らく本金額は人造石油工場に對する一ヶ年の減價却高より少ないだらうと思はれるのである。

フランスに於ける一九三七年度の代用燃料生産高並に輕質發動機燃料消費量を前年度に對比すれば左表の通りである。(單位千噸)

一九三六年 一九三七年
アルコール 三〇三・九 一五三・四
ベンゾール 七九・六 八〇・〇
人造石油 一 一三
含油頁岩より精製したる揮發油 一・三 一・五
代用燃料合計 三八四・八 二四七・九
輕質發動機燃料總計 二、七九四 二、八一七

輕質發動機燃料に對する代用燃料の割合 一三・八 八・八
フランスに於ける一九三七年度のアルコール生産高は一九三五年の半分にも足りなかつた。甜菜の不作と再軍備計畫に必要なアルコールの數量は相俟つて供給量の不足を過大なるものとした。重い揮發油(カービュラン・ポア・ルール)に混入すべきアルコールの

割合は容量二〇%に引下げられたが、アルコールを混入すべき石油會社への引渡價段は引上げられ消費者の負擔を軽減しなかつた。更に動力用アルコールの重荷から救はれると云ふ望も一九三八年六月の法令に依り断たれ、同法令に據り既に重税に喘ぐ礦油消費者の費用を以て農作物より更に一ヶ年一〇〇、〇〇〇噸のアルコールを生産する爲に一ヶ年二、五〇〇、〇〇〇磅の補助金が支出される様になつた。即ち此の多額の補助金は礦油消費者に新に課せられた税金を以て支出されるのであつて又本税金の一部はアルコール專賣局が單に動力用アルコールに對する補助金の爲に陥つた悲しむべき財政状態を救ふ爲に使用されるのである。然し乍ら動力用アルコールに對して負擔すべき費用の増加は依然として專賣局に多大の損失を負はせて居るのである。ベテュン及びリエヴァンの二人造石油工場は各一三、〇〇〇噸の生産能力より判断し未だ實驗段階にあるものと思はれる。本人造石油工場は政府の費用ではなく、自動車使用者の費用を以て一ヶ年三二〇、〇〇〇磅の補助金を受け更に本人造揮發油は一噸當り約一六磅の税金に依る特權を受けて居るのである。總ての税金を免除されて居るにも拘はらずフランスに於ける含油頁岩工業は餘り進展を

しなく、一九三七年には揮發油一、五〇〇噸

其他の礦油入、〇〇〇噸を含油頁岩より生産したに過ぎなかつた。
イギリスに於ける一九三七年度代用燃料生産高並に輕質發動機燃料消費量を前年度に對比すれば左表の通りである。(單位千噸)

一九三六年 一九三七年
アルコール 七 一六
ベンゾール 二二〇 一三〇
人造石油 一一三 一一〇
含油頁岩より精製したる揮發油 二八 二六
代用燃料合計 三五八 三九二
輕質發動機燃料總計 四、六六〇 四、八四〇
輕質發動機燃料に對する代用燃料の割合 七・七 八・一
前後算迄は動力用アルコールは輸入揮發油及輸入原油より精製したる揮發油に課せられた一英ガロン八片の税金を免除されて居たのであるが、現豫算より動力用アルコールも輸入揮發油及輸入原油より精製したる揮發油に對する一英ガロン九片(二片引上げらる)の税金を同様に賦課される様になつた。動力用アルコールは輸入糖蜜のみより生産されるので輸入原油より精製した揮發油と同様の取扱を受ける事を免かれ得なくなつたのである法令を遡つて檢するに一八八五年に一英ガロ

ン八・七五片の關稅が創設されて以來動力用アルコールは本稅の適用を免かれ總ての點に於て全く國產原料より生産したる輕質發動機燃料の如く取扱はれて來たのである。
尚、含油頁岩工業は一九三七年度に二七、

〇〇〇噸の揮發油以外に七五、〇〇〇噸の礦油を生産した。
イタリアに於ては一九三六年度に三五、〇〇〇噸、一九三七年度に三七、〇〇〇噸のアルコールを代用燃料として生産したに過ぎな

かつた。バリ及びリヴォルノに建設中の各四〇〇、〇〇〇噸の能力を持つI・H・Pの液化工場は其の中一工場は一九三七年七月一日より運轉を開始すると當初云はれて居たが、一九三七年末迄に二工場とも完成をみなかつた

世界原油産額統計 (國際聯盟調査)

國別	一九三七年	一九三六年
アフリカ	一七二、〇〇〇	一八三、〇〇〇
アルヂエリア	—	—
エヂプト	一七一、〇〇〇	一八三、〇〇〇
北アメリカ	一七三、三三四	一四九、〇五六
カナダ	三七四、〇〇〇	一八八、〇〇〇
合衆國	一七、九六〇	一四八、八六八
中央アメリカ	九、〇八五	七、九五四
メキシコ	六、九〇三	六、〇九一
トリニダッド	二、一八一	一、八六三
南アメリカ	三五、五三四	三〇、三七五
アルヂエンテナ	一一、三〇八	一一、二〇二
ボリビア	一五、〇〇〇	一三、〇〇〇
コロンビア	一一、八四四	一一、六一四
エクアドル	三〇五、〇〇〇	二七七、〇〇〇
ペル	一一、三四六	一一、三三四
ヴェネツエラ	二七、七一六	二二、九四五
アジヤ(ロシアを除く)	—	—
計	二七八、六四五	二二、七九二
英領ボルネオ	一、〇六一	六三六
印度	一、二八四	六八九
ビルマ	一、〇七六	一、三四五
關領印度	七、二六三	一、〇六七
イラック	四、二五九	七、四三八
日本	一〇、四八九	四、〇一一
日	三五五	八、三三〇
ロシア	二七、八二二	三三七
ヨーロッパ(ロシアを除く)	八、二四〇	二七、三八五
ドイ	四、七四五	九、七四五
オーストリア	四、五三〇	四四五
フランス	三、三三〇	七
イタリア	七、一〇〇	七、一〇〇
ポランド	一、四〇〇	一、六〇〇
ルーマニア	五〇二	五一一
チエコスロヴァキア	七、二四九	八、六七六
計	一八、〇〇〇	一九、〇〇〇
合計	二七八、六四五	二二、七九二

世界各國品種別石油消費量 (單位一、〇〇〇バレル)

品名	揮發油		燈油			瓦斯油及燃料油			潤滑油		其他	
	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年
アメリカ合衆國	57,000	65,000	4,000	40,000	5,000	5,000	11,000	11,000	1,000	1,000	10,000	10,000
ロシア	15,000	15,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
イギリス	15,000	15,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
フランス	15,000	15,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
カナダ	15,000	15,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
ドイツ	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
日本	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
アルゼンティナ	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
メキシコ	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
イタリア	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
英領印度	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
オーストラリア	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
蘭領印度	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
和蘭	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
スウェーデン	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
ブラジル	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000
ベルギー	10,000	10,000	1,000	10,000	1,000	1,000	2,000	2,000	1,000	1,000	10,000	10,000

品名	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年	一三三一年	一三三二年
支那	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
南亞聯邦	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
デンマーク	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
スウェーデン	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
ニュー・ジブラント	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
スイス	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
チッコソロヴァキア	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
總量	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

(備考) 本表に所謂消費量中には、原形のまま使用せられた原油並びに發動機燃料として消費せられたベンゾール、天然瓦斯揮發油、アルコール等の準石油料も含まれて居る。尙船舶燃料として供給せられた石油は引渡國の消費量に入つて居る。

列強に於ける軍事上石油消費量

産業上國防上の重要資源である液體燃料の供給を、如何にして確保すべきかといふ問題は、國際關係の緊迫してゐる今日、世界を擧げて重要關心事となつて來た。即ち産業上に於ては諸種工場、自動車、船舶等交通機關の熱源或は動力源として、液體燃料の使用範圍消費量は急激に増大し、又國防上に於ては、現代の戦争が須臾も石油を缺くことを得ないやうになつたことは周知の事實であつて、列強中獨佛伊の如く、我國と等しく石油資源に恵まれること少き國に於て競つて石油資源の獲得開發、代用燃料工業の發達及その製品の使用普及等の行政によつて液體燃料の供給を確保するに努めとして努力し、みる所も茲にあるのである。

戦争と石油、これ程密接不可分の關係にあるものはない、如何に兵員銃器の豊富なる準備があつたとしても、今日の戦争の如く、迅速な機動力を必要とし、立體的科學戰を生命とする時代に至つては、自動車、航空機、艦船等に使用すべき石油なしに、戦争に勝利を得るといふとは絕對不可能となつて來た。今これを證すべき列強に於ける軍事上の石油消費量を擧げて見やう。

陸軍用石油及準石油消費量

品名	兵員數	瓦新油	發動機	潤滑油	準石油及
アメリカ	一七〇千人	九六〇千バレル	二四二・〇千バレル	六・八千バレル	一、二〇八・八千バレル

燃料	イタリヤ	英帝	フランス	スペイン	ドイツ	全世界計
燃	一、五四五	一、三三二	三九五	六五〇	六五〇	九、三七八
料	三三二・〇	三〇六・〇	二六九・〇	二四一・〇	一五〇・〇	三、二〇〇
	九・五	九・二	七・五	六・八	四・〇	七六・六
	三三二・〇	三〇六・〇	二六九・〇	二四一・〇	一五〇・〇	五、九五三・二

海軍用石油及準石油消費量

英帝	フランス	イタリヤ	ドイツ	スペイン	全世界計
一、二五六	一、一四六	四一五	一九三	一三五	一〇〇
六、五四〇	五、九九六	三、六二〇	四八三	六九五	五四六
一〇、五二六	八、一五〇	四、六〇〇	一、四九八	一、〇〇〇	七四二
二八・八	二四・〇	一三・五	九・八	四・五	二・二
一〇、五五四・八	八、二七四・〇	四、六一三・五	三、四七四・八	一、五〇二・五	一、〇〇二・六
四一、二二七・五	七四四・二	七四四・二	二一八・五	二一八・五	四一、二二七・五

空軍用石油及準石油消費量

英帝	フランス	ドイツ	イタリヤ	ロシア	アメリカ	全世界計
五七、〇四〇	五四、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	五〇一、九五〇
四、八〇〇	四、七〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇	三、四〇〇	三三、五四〇
一、三三七	一、三九〇	一、五三三	一、二五二	一、二五三	九四六	九、四六五
四四・〇	四三・〇	四一・〇	四一・〇	三一・〇	九・〇	三〇九・九
一、三八一・〇	一、三五二・〇	一、二九四・〇	一、二九四・〇	一、二九四・〇	九七七・〇	九、七七四・九

軍事用石油及準石油消費量

英帝	フランス	イタリヤ	ドイツ	ロシア	アメリカ	全世界計
一、六三七・〇	一、一八八・〇	一、五七八・〇	一、五七五・〇	一、四〇三・〇	四二二・〇	七四二・〇
一〇、五二六・〇	九、二二〇・〇	四、六〇〇・〇	三、四六五・〇	一、四九八・〇	一、〇〇〇・〇	一七・六
一一、二四四・八	一〇、四五九・八	六、二四二・〇	五、〇八四・〇	三、二二八・〇	一、四五〇・六	一一

燃料	生産高	輸入高	計	輸出高	差引需要高	需要に對する生産高の割合
アルヂエンテイナ	五八・七	—	—	—	—	—
スウエーデン	一一五・七	—	—	—	—	—
オランダ(一)	—	—	—	—	—	—
支那	七五・四	—	—	—	—	—
ブラジル	三三・九	—	—	—	—	—
トルコ	一三八・九	—	—	—	—	—
ルーマニア	三四五・五	—	—	—	—	—
ギリシヤ	五七・〇	—	—	—	—	—
ノールウェイ	—	—	—	—	—	—
ポロランド	一一九・〇	—	—	—	—	—
ポルトガル	一七・二	—	—	—	—	—
デンマーク	一五・〇	—	—	—	—	—
フィンランド	五・四	—	—	—	—	—
キエーパ	—	—	—	—	—	—
ベルギー	八三・五	—	—	—	—	—
チエツコスロヴァキア	一六・九	—	—	—	—	—
ユーゴスラヴィア	一六・九	—	—	—	—	—
オーストリア	一〇・七	—	—	—	—	—
ハンガリー	一〇・七	—	—	—	—	—
メキシコ	一〇・七	—	—	—	—	—
ブルガリア	五・四	—	—	—	—	—

以上の数字を見れば、世界列強は擧げて如何に軍用上石油を使用するか、明瞭となるであらう。斯くの如く、約五千八百万バレルの石油が平常時に於て軍用に消費されるが之に生産工業用に使用される石油を加へ、列強各國の石油産額と消費量を比較すると次の如くである。

日本及其他	計	日本	伊國	獨逸	佛國	英國	ソ聯	米國
一、三九一・〇	九、四四〇・〇	—	—	—	—	—	—	—
二一、一四一・五	四五、二九九・〇	—	—	—	—	—	—	—
—	六三・二	—	—	—	—	—	—	—
—	五〇五・一	—	—	—	—	—	—	—
—	一〇、八九五・二	—	—	—	—	—	—	—
—	五七、九四五・六	—	—	—	—	—	—	—

第一表 本邦石油需給表(昭和十二年以降は特殊事情のため統計發表なし)(單位千)

年次	生産高	輸入高	計	輸出高	差引需要高	需要に對する生産高の割合
昭和五年	四六、三六	四〇、一四〇	八六、五〇	—	八六、五〇	—
同六年	四六、三六	四〇、一四〇	八六、五〇	—	八六、五〇	—
同七年	四六、三六	四〇、一四〇	八六、五〇	—	八六、五〇	—
同八年	四六、三六	四〇、一四〇	八六、五〇	—	八六、五〇	—
同九年	四六、三六	四〇、一四〇	八六、五〇	—	八六、五〇	—
同十年	四六、三六	四〇、一四〇	八六、五〇	—	八六、五〇	—
同十一年	四六、三六	四〇、一四〇	八六、五〇	—	八六、五〇	—
同十二年	四六、三六	四〇、一四〇	八六、五〇	—	八六、五〇	—

- 備考
- 一、生産高は本邦に於ける原油及天然揮發油生産高を合計したるものなり
 - 二、昭和八年迄の輸入高は輸入の原油及重油原料油として處理せられたるものなり
 - 三、昭和九年以降の輸入高は原料油として輸入せられたるものなり
 - 四、輸入(通關)及輸出高は内地は大蔵省調査、朝鮮及台灣は總督府よりの回答に依る(以下之に準ず)

第二表 石油製品需要高

(單位軒)

年次	生産高	輸入高	計	輸出高	差引需要高	需要高に對する 生産高の割合
昭和五年	23,261	1,211,104	1,187,843	3,314	1,184,529	三
同 六年	20,208	1,203,332	1,183,124	8,223	1,174,901	三
同 七年	24,333	1,226,464	1,202,131	3,101	1,199,030	三
同 八年	1,011,174	1,226,277	1,227,451	3,221	1,224,230	三
同 九年	1,224,222	1,221,222	1,225,222	4,222	1,221,000	三
同 十年	1,223,222	1,222,222	1,225,222	4,222	1,221,000	三
同 十一年	1,222,222	1,221,222	1,223,222	4,222	1,219,000	三
同 十二年	1,221,222	1,220,222	1,221,222	4,222	1,217,000	三

備考 一、本表は揮發油、燈油、輕油、機械油及燃料用重油の石油全製成品需要高を示すものなり(各種製成品需要高に付ては第三表乃至第七表參照)

二、生産高は本邦石油精製工場に於て本邦産原油及輸入原料油(第一表參照)を原料として精製したる石油製品を生産高なり

第三表 揮發油需要高

(單位軒)

年次	生産高	輸入高	計	輸出高	差引需要高	需要高に對する 生産高の割合
昭和五年	330,222	3,222,222	3,552,444	222	3,552,222	三
同 六年	322,222	3,222,222	3,544,444	222	3,544,222	三
同 七年	222,222	3,222,222	3,444,444	222	3,444,222	三
同 八年	222,222	3,222,222	3,444,444	222	3,444,222	三
同 九年	222,222	3,222,222	3,444,444	222	3,444,222	三
同 十年	222,222	3,222,222	3,444,444	222	3,444,222	三
同 十一年	222,222	3,222,222	3,444,444	222	3,444,222	三
同 十二年	222,222	3,222,222	3,444,444	222	3,444,222	三

第四表 燈油需要高

(單位軒)

年次	生産高	輸入高	計	輸出高	差引需要高	需要高に對する 生産高の割合
昭和五年	222,222	1,222,222	1,444,444	222	1,444,222	三
同 六年	222,222	1,222,222	1,444,444	222	1,444,222	三
同 七年	222,222	1,222,222	1,444,444	222	1,444,222	三
同 八年	222,222	1,222,222	1,444,444	222	1,444,222	三

燃料

同 九年	四六、四四	一〇九、二二九	一六八、六七三	七、六二〇	一八一、〇五三	一六
同 十年	二四、六六八	一六六、三三三	三三、〇八一	一、二二九	三三〇、七〇六	二二
同 十一年	一四、二六六	七五、七三三	三三、九〇九	七、三三三	一三〇、七〇六	三三
同 十二年	—	—	—	—	一三〇、七〇六	三三

第五表

機械油需要高

(單位噸)

年次	生産高	輸入高	計	輸出高	差引需要高	需要高に對する 生産高の割合 %
昭和四年	三六、七三三	四九、六六〇	一八六、三三三	二、八三三	一八三、五〇〇	—
同 五年	一七、四九〇	四三、七九〇	二二〇、三三三	六、四九〇	二一三、八四三	—
同 六年	一六、三六六	三六、八三〇	二〇四、〇〇〇	三、〇〇〇	二〇一、〇〇〇	—
同 七年	一四、三三三	三三、六三三	二〇〇、三三三	三、三三三	一九七、〇〇〇	—
同 八年	一三、六六六	三〇、三三三	一九三、三三三	三、〇〇〇	一九〇、三三三	—
同 九年	一三、〇〇〇	二七、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	二、〇〇〇	一七八、〇〇〇	—
同 十年	一三、〇〇〇	二七、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	二、〇〇〇	一七八、〇〇〇	—
同 十一年	一三、〇〇〇	二七、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	二、〇〇〇	一七八、〇〇〇	—
同 十二年	—	—	—	—	—	—

第六表

重油需要高

(單位噸)

年次	生産高	輸入高	計	輸出高	差引需要高	需要高に對する 生産高の割合 %
昭和五年	四、八七七	一、一〇三、三三三	一、一〇八、二一〇	—	一、一〇八、二一〇	—

参考表

石油需給高

(單位噸)

年次	生産高	輸入高	計	輸出高	差引需要高	需要高に對する 生産高の割合 %
同 六年	一〇、〇〇〇	一、一〇三、三三三	一、二〇三、三三三	—	一、二〇三、三三三	—
同 七年	一〇、〇〇〇	一、一〇三、三三三	一、二〇三、三三三	—	一、二〇三、三三三	—
同 八年	一〇、〇〇〇	一、一〇三、三三三	一、二〇三、三三三	—	一、二〇三、三三三	—
同 九年	一〇、〇〇〇	一、一〇三、三三三	一、二〇三、三三三	—	一、二〇三、三三三	—
同 十年	一〇、〇〇〇	一、一〇三、三三三	一、二〇三、三三三	—	一、二〇三、三三三	—
同 十一年	一〇、〇〇〇	一、一〇三、三三三	一、二〇三、三三三	—	一、二〇三、三三三	—
同 十二年	—	—	—	—	—	—

備考

- 一、生産高は本邦の原油及天然揮發油生産高の合計なり
- 二、輸入高は本邦に於ける原料油及製品の合計なり
- 三、輸出高は製品の輸出高なり

三、昭和九年内地國別輸入

國別	原油及重油	揮發油	燈油	輕油	機械油	計
關米	1,270,000 斤	1,270,000 斤	1,270,000 斤	—	1,270,000 斤	1,270,000 斤
北米	1,270,000 斤	—	—	—	—	1,270,000 斤
印領	1,270,000 斤	—	—	—	—	1,270,000 斤
露領	1,270,000 斤	—	—	—	—	1,270,000 斤
英領	1,270,000 斤	—	—	—	—	1,270,000 斤
獨逸	—	—	—	—	—	—
露西亞	—	—	—	—	—	—
ヨロッパ	—	—	—	—	—	—
英領	—	—	—	—	—	—
露領	—	—	—	—	—	—
其の他	—	—	—	—	—	—
合計	1,270,000 斤	1,270,000 斤	1,270,000 斤	—	1,270,000 斤	1,270,000 斤

四、昭和十年内地國別輸入

國別	原油及重油	揮發油	燈油	輕油	機械油	計
關米	1,270,000 斤	1,270,000 斤	1,270,000 斤	—	1,270,000 斤	1,270,000 斤
北米	1,270,000 斤	—	—	—	—	1,270,000 斤
印領	1,270,000 斤	—	—	—	—	1,270,000 斤
露領	1,270,000 斤	—	—	—	—	1,270,000 斤
英領	1,270,000 斤	—	—	—	—	1,270,000 斤
獨逸	—	—	—	—	—	—
露西亞	—	—	—	—	—	—
ヨロッパ	—	—	—	—	—	—
英領	—	—	—	—	—	—
露領	—	—	—	—	—	—
其の他	—	—	—	—	—	—
合計	1,270,000 斤	1,270,000 斤	1,270,000 斤	—	1,270,000 斤	1,270,000 斤

九、昭和十年内地輸出國別

國別	原油及重油	揮發油	燈油	輕油	燻油	計
關東州	—	100千 (100)	110千 (110)	—	10千 (10)	110千 (110)
中國華北	—	10千 (10)	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
滿洲國	—	10千 (10)	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
露西亞	—	10千 (10)	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
印度領	—	10千 (10)	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
英領	—	10千 (10)	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
英領	—	10千 (10)	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
英領	—	10千 (10)	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
其他	—	10千 (10)	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
合計	—	110千 (110)	110千 (110)	—	10千 (10)	110千 (110)

六、昭和七年内地輸出國別

國別	原油及重油	揮發油	燈油	輕油	燻油	計
關東州	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
中國華北	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
滿洲國	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
亞細亞	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
英領	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
英領	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
英領	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
英領	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
其他	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)
合計	—	—	10千 (10)	—	10千 (10)	10千 (10)

七、昭和八年内地輸出國別

國別	原油及重油	揮發油	燈油	輕油	機械油	計
中國			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
氏中			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
關東			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
亞細亞			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
露細			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
英領			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
比領			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
台北			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
印米			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
其他			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸
合計			(三六六) 噸		(三六六) 噸	(三六六) 噸

我國に於ける人造石油製造事業の現状

一、直接液化法	二、合成
<p>會社名 工場建設地 能力 投下資本額 方式 竣工豫定期日 備考</p> <p>朝鮮石炭工業株式會社 咸鏡北道 製品五万 固資一、二〇〇万円 海軍燃料 昭和二年五月 本工場の成績に依り一〇万坪迄擴張の豫定なり</p> <p>阿吾地 運資 二二〇万円 廠式 五月 本工場の成績に依り相當大規模に擴張の豫定なり</p> <p>南滿洲鐵道株式會社 撫順 製品一、四〇〇 事業費一、四〇〇 海軍燃料 昭和二年七月 生産豫定揮發油一、一、六四坪</p> <p>遼州油化工業株式會社 四平街 原料炭處理能力一〇万噸 資本金五〇万円 低温タール水素添加法 昭和十二年十一月 生産豫定揮發油一、一、六四坪</p>	<p>會社名 工場建設地 能力 投下資本額 方式 竣工豫定期日 備考</p> <p>三井鑛山株式會社 大牟田 製品三万 固資一、二六〇万円 ファイツン 昭和一三年末 五万坪生産を目標とするものゝ如し</p> <p>遼州油化工業株式會社 瀋陽 製品一〇 資本金五、〇〇〇万円 ファイツン 昭和一四年末 將來相當擴張の豫定なり</p>

價格

同KH31型	同	二五	同
フアゴ	同	二五	同
一噸半	同	二五	同
同31型	同	二五	同
同32型	同	二五	同
フエデラル	同	二五	同
一噸半	同	二五	同
同十五型	同	二五	同
フオード半噸	同	二五	同
同51型一噸半	同	二五	同
同51型同	同	二五	同
インデアナ	同	二五	同
一噸半	同	二五	同
インターナショナル	同	二五	同
半噸	同	二五	同
一噸	同	二五	同
一噸半	同	二五	同
同C36型	同	二五	同
レオ半噸	同	二五	同
同一噸、一噸半	同	二五	同
ステワード	同	二五	同
半噸	同	二五	同
一噸	同	二五	同
一噸半	同	二五	同
ステュードベーカー	同	二五	同
一噸半	同	二五	同
ホワイト	同	二五	同

六

各種自動車部分品並同附屬品数は輸入ものに於て統制強化から、國産ものにて材料高等から夫々驚異的騰貴振をみせ、甚しきは僅か半年に於て五割高の價額吊上げとなつてゐる。然るに一方軍需より來る完成車生産の強行軍は果しなく、この相矛盾する動勢に際して新界の情勢混沌たるを免れない。従つて同業者間に於ても何とか連絡協調の上國策的主旨を體して各自生業を保持しやうとの聲前から這般東京市場中心に關係官廳側の意見も入れて所謂關係品の確値決定を急いだ結果、この程漸く成案したのである。

地方別事情を考慮参考に供せられたい。

△プラグ(特殊のものを除く)
普通自動車用(舶來品)一個 二・五〇
同 (國産品) 同 二・〇〇

△ピストン(加工及特殊品を除く)
フオード車用(國産品)
四氣筒用一個 四・八〇
八氣筒用 同 四・六〇
(三三式より三八年式迄)
シボレー車用(國産品) 三六式迄 六・五〇

三七式三八年式 七・五〇

△ピストンリング(特殊寸法を除く)
(シボレー車、フオード車用國産品)
四氣筒用コンプレッショソイル 一本 〇・四〇

八氣筒用同 〇・五〇

△ウキンドクリナー(特殊のものを除く)
電氣式(舶來品) 一五・〇〇
グアキニウム式(國産品) 五・〇〇

△方向指示器
電氣式(舶來品)スイツチ付二組五〇・〇〇
同(國産品) 二一・〇〇
手動式(國産品) 二一・〇〇
グアキニウム式(同) 二一・〇〇

△電球(特殊のものを除く)
ヘッド球(切換)(國産)一個 〇・四五
同(定焦點)(同) 〇・五五
テール球・ルーム球(同) 同 〇・二二

△ベヤリング(特殊のものを除く)
シボレー車(純正品)
フロント 九〇九〇一號 三・七〇
同 九〇九〇二號 六・一〇
同 九〇九〇三號 三・八〇
同 九〇九〇四號 五・六〇
同 九〇九〇五號 四・四五
同 九〇九〇六號 五・六〇

價格

同	九〇九〇一號	八・三〇
リヤ一	九〇五二二號	四七・五〇
同	九〇二二一號	二五・〇〇
フオード車(純正品)		
B	二二〇一號	四・八〇
同	二二〇二號	二・〇五
同	二二〇三號	三・一〇
同	二二〇四號	二五・二五
同	二二〇五號	六・五〇
B	二二〇六號	三・六〇
同	二二〇七號	四・五〇
同	二二〇八號	二・六〇
同	二二〇九號	七・七五
同	二二一〇號	七・五〇
同	二二一一號	一三・五〇
同	二二一二號	一三・五〇
同	二二一三號	一三・五〇
同	二二一四號	一三・五〇
同	二二一五號	一三・五〇
同	二二一六號	一三・五〇
同	二二一七號	一三・五〇
同	二二一八號	一三・五〇
同	二二一九號	一三・五〇
同	二二二〇號	一三・五〇
同	二二二一號	一三・五〇
同	二二二二號	一三・五〇
同	二二二三號	一三・五〇
同	二二二四號	一三・五〇
同	二二二五號	一三・五〇
同	二二二六號	一三・五〇
同	二二二七號	一三・五〇
同	二二二八號	一三・五〇
同	二二二九號	一三・五〇
同	二二三〇號	一三・五〇
同	二二三一號	一三・五〇
同	二二三二號	一三・五〇
同	二二三三號	一三・五〇
同	二二三四號	一三・五〇
同	二二三五號	一三・五〇
同	二二三六號	一三・五〇
同	二二三七號	一三・五〇
同	二二三八號	一三・五〇
同	二二三九號	一三・五〇
同	二三四〇號	一三・五〇
同	二三四一號	一三・五〇
同	二三四二號	一三・五〇
同	二三四三號	一三・五〇
同	二三四四號	一三・五〇
同	二三四五號	一三・五〇
同	二三四六號	一三・五〇
同	二三四七號	一三・五〇
同	二三四八號	一三・五〇
同	二三四九號	一三・五〇
同	二三五〇號	一三・五〇
同	二三五一號	一三・五〇
同	二三五二號	一三・五〇
同	二三五三號	一三・五〇
同	二三五四號	一三・五〇
同	二三五五號	一三・五〇
同	二三五六號	一三・五〇
同	二三五七號	一三・五〇
同	二三五八號	一三・五〇
同	二三五九號	一三・五〇
同	二三六〇號	一三・五〇
同	二三六一號	一三・五〇
同	二三六二號	一三・五〇
同	二三六三號	一三・五〇
同	二三六四號	一三・五〇
同	二三六五號	一三・五〇
同	二三六六號	一三・五〇
同	二三六七號	一三・五〇
同	二三六八號	一三・五〇
同	二三六九號	一三・五〇
同	二三七〇號	一三・五〇
同	二三七一號	一三・五〇
同	二三七二號	一三・五〇
同	二三七三號	一三・五〇
同	二三七四號	一三・五〇
同	二三七五號	一三・五〇
同	二三七六號	一三・五〇
同	二三七七號	一三・五〇
同	二三七八號	一三・五〇
同	二三七九號	一三・五〇
同	二三八〇號	一三・五〇
同	二三八一號	一三・五〇
同	二三八二號	一三・五〇
同	二三八三號	一三・五〇
同	二三八四號	一三・五〇
同	二三八五號	一三・五〇
同	二三八六號	一三・五〇
同	二三八七號	一三・五〇
同	二三八八號	一三・五〇
同	二三八九號	一三・五〇
同	二三九〇號	一三・五〇
同	二三九一號	一三・五〇
同	二三九二號	一三・五〇
同	二三九三號	一三・五〇
同	二三九四號	一三・五〇
同	二三九五號	一三・五〇
同	二三九六號	一三・五〇
同	二三九七號	一三・五〇
同	二三九八號	一三・五〇
同	二三九九號	一三・五〇
同	二四〇〇號	一三・五〇
同	二四〇一號	一三・五〇
同	二四〇二號	一三・五〇
同	二四〇三號	一三・五〇
同	二四〇四號	一三・五〇
同	二四〇五號	一三・五〇
同	二四〇六號	一三・五〇
同	二四〇七號	一三・五〇
同	二四〇八號	一三・五〇
同	二四〇九號	一三・五〇
同	二四一〇號	一三・五〇
同	二四一一號	一三・五〇
同	二四一二號	一三・五〇
同	二四一三號	一三・五〇
同	二四一四號	一三・五〇
同	二四一五號	一三・五〇
同	二四一六號	一三・五〇
同	二四一七號	一三・五〇
同	二四一八號	一三・五〇
同	二四一九號	一三・五〇
同	二四二〇號	一三・五〇
同	二四二一號	一三・五〇
同	二四二二號	一三・五〇
同	二四二三號	一三・五〇
同	二四二四號	一三・五〇
同	二四二五號	一三・五〇
同	二四二六號	一三・五〇
同	二四二七號	一三・五〇
同	二四二八號	一三・五〇
同	二四二九號	一三・五〇
同	二四三〇號	一三・五〇
同	二四三一號	一三・五〇
同	二四三二號	一三・五〇
同	二四三三號	一三・五〇
同	二四三四號	一三・五〇
同	二四三五號	一三・五〇
同	二四三六號	一三・五〇
同	二四三七號	一三・五〇
同	二四三八號	一三・五〇
同	二四三九號	一三・五〇
同	二四四〇號	一三・五〇
同	二四四一號	一三・五〇
同	二四四二號	一三・五〇
同	二四四三號	一三・五〇
同	二四四四號	一三・五〇
同	二四四五號	一三・五〇
同	二四四六號	一三・五〇
同	二四四七號	一三・五〇
同	二四四八號	一三・五〇
同	二四四九號	一三・五〇
同	二四五〇號	一三・五〇
同	二四五一號	一三・五〇
同	二四五二號	一三・五〇
同	二四五三號	一三・五〇
同	二四五四號	一三・五〇
同	二四五五號	一三・五〇
同	二四五六號	一三・五〇
同	二四五七號	一三・五〇
同	二四五八號	一三・五〇
同	二四五九號	一三・五〇
同	二五〇〇號	一三・五〇
同	二五〇一號	一三・五〇
同	二五〇二號	一三・五〇
同	二五〇三號	一三・五〇
同	二五〇四號	一三・五〇
同	二五〇五號	一三・五〇
同	二五〇六號	一三・五〇
同	二五〇七號	一三・五〇
同	二五〇八號	一三・五〇
同	二五〇九號	一三・五〇
同	二五一〇號	一三・五〇
同	二五一一號	一三・五〇
同	二五一二號	一三・五〇
同	二五一三號	一三・五〇
同	二五一四號	一三・五〇
同	二五一五號	一三・五〇
同	二五一六號	一三・五〇
同	二五一七號	一三・五〇
同	二五一八號	一三・五〇
同	二五一九號	一三・五〇
同	二五二〇號	一三・五〇
同	二五二一號	一三・五〇
同	二五二二號	一三・五〇
同	二五二三號	一三・五〇
同	二五二四號	一三・五〇
同	二五二五號	一三・五〇
同	二五二六號	一三・五〇
同	二五二七號	一三・五〇
同	二五二八號	一三・五〇
同	二五二九號	一三・五〇
同	二五三〇號	一三・五〇
同	二五三一號	一三・五〇
同	二五三二號	一三・五〇
同	二五三三號	一三・五〇
同	二五三四號	一三・五〇
同	二五三五號	一三・五〇
同	二五三六號	一三・五〇
同	二五三七號	一三・五〇
同	二五三八號	一三・五〇
同	二五三九號	一三・五〇
同	二五四〇號	一三・五〇
同	二五四一號	一三・五〇
同	二五四二號	一三・五〇
同	二五四三號	一三・五〇
同	二五四四號	一三・五〇
同	二五四五號	一三・五〇
同	二五四六號	一三・五〇
同	二五四七號	一三・五〇
同	二五四八號	一三・五〇
同	二五四九號	一三・五〇
同	二五五〇號	一三・五〇
同	二五五一號	一三・五〇
同	二五五二號	一三・五〇
同	二五五三號	一三・五〇
同	二五五四號	一三・五〇
同	二五五五號	一三・五〇
同	二五五六號	一三・五〇
同	二五五七號	一三・五〇
同	二五五八號	一三・五〇
同	二五五九號	一三・五〇
同	二五六〇號	一三・五〇
同	二五六一號	一三・五〇
同	二五六二號	一三・五〇
同	二五六三號	一三・五〇
同	二五六四號	一三・五〇
同	二五六五號	一三・五〇
同	二五六六號	一三・五〇
同	二五六七號	一三・五〇
同	二五六八號	一三・五〇
同	二五六九號	一三・五〇
同	二五七〇號	一三・五〇
同	二五七一號	一三・五〇
同	二五七二號	一三・五〇
同	二五七三號	一三・五〇
同	二五七四號	一三・五〇
同	二五七五號	一三・五〇
同	二五七六號	一三・五〇
同	二五七七號	一三・五〇
同	二五七八號	一三・五〇
同	二五七九號	一三・五〇
同	二五八〇號	一三・五〇
同	二五八一號	一三・五〇
同	二五八二號	一三・五〇
同	二五八三號	一三・五〇
同	二五八四號	一三・五〇
同	二五八五號	一三・五〇
同	二五八六號	一三・五〇
同	二五八七號	一三・五〇
同	二五八八號	一三・五〇
同	二五八九號	一三・五〇
同	二五九〇號	一三・五〇
同	二五九一號	一三・五〇
同	二五九二號	一三・五〇
同	二五九三號	一三・五〇
同	二五九四號	一三・五〇
同	二五九五號	一三・五〇
同	二五九六號	一三・五〇
同	二五九七號	一三・五〇
同	二五九八號	一三・五〇
同	二五九九號	一三・五〇
同	二六〇〇號	一三・五〇
同	二六〇一號	一三・五〇
同	二六〇二號	一三・五〇
同	二六〇三號	一三・五〇
同	二六〇四號	一三・五〇
同	二六〇五號	一三・五〇
同	二六〇六號	一三・五〇
同	二六〇七號	一三・五〇
同	二六〇八號	一三・五〇
同	二六〇九號	一三・五〇
同	二六一〇號	一三・五〇
同	二六一一號	一三・五〇
同	二六一二號	一三・五〇
同	二六一三號	一三・五〇
同	二六一四號	一三・五〇
同	二六一五號	一三・五〇
同	二六一六號	一三・五〇
同	二六一七號	一三・五〇
同	二六一八號	一三・五〇
同	二六一九號	一三・五〇
同	二六二〇號	一三・五〇
同	二六二一號	一三・五〇
同	二六二二號	一三・五〇
同	二六二三號	一三・五〇
同	二六二四號	一三・五〇
同	二六二五號	一三・五〇
同	二六二六號	一三・五〇
同	二六二七號	一三・五〇
同	二六二八號	一三・五〇
同	二六二九號	一三・五〇
同	二六三〇號	一三・五〇
同	二六三一號	一三・五〇
同	二六三二號	一三・五〇
同	二六三三號	一三・五〇
同	二六三四號	一三・五〇
同	二六三五號	一三・五〇
同	二六三六號	一三・五〇
同	二六三七號	一三・五〇
同	二六三八號	一三・五〇
同	二六三九號	一三・五〇
同	二六四〇號	一三・五〇
同	二六四一號	一三・五〇
同	二六四二號	一三・五〇
同	二六四三號	一三・五〇
同	二六四四號	一三・五〇
同	二六四五號	一三・五〇
同	二六四六號	一三・五〇
同	二六四七號	一三・五〇
同	二六四八號	一三・五〇
同	二六四九號	一三・五〇
同	二六五〇號	一三・五〇
同	二六五一號	一三・五〇
同	二六五二號	一三・五〇
同	二六五三號	一三・五〇
同	二六五四號	一三・五〇
同	二六五五號	一三・五〇
同	二六五六號	一三・五〇
同	二六五七號	一三・五〇
同	二六五八號	一三・五〇
同	二六五九號	一三・五〇
同	二六六〇號	一三・五〇
同	二六六一號	一三・五〇
同	二六六二號	一三・五〇
同	二六六三號	一三・五〇
同	二六六四號	一三・五〇
同	二六六五號	一三・五〇
同	二六六六號	一三・五〇

價格

△タツチフエーシング (國産)

モールドフエーシング (一枚)	番號	円
九〇五M	一、三〇	九五五A M 一、四〇
九〇五A M	一、三〇	九五五B M 一、四〇
九〇五M	一、三〇	一〇三七M 一、五〇
九四二M	一、六〇	一〇三七C M 一、五〇
九四一A M	一、六〇	一〇三七D M 一、五〇
九五五M	一、四〇	一〇三六W 二、五〇
ウオーブンフエーシング (一枚)	番號	円
九〇五	一、七〇	九五五A 二、〇〇
九〇五A	一、七〇	九五五B 二、〇〇
九〇五D	一、七〇	一〇三七 二、五〇
九四一	二、六〇	一〇三七C 二、五〇
九四一A	二、六〇	一〇三七D 二、五〇
九四五	二、〇〇	一〇三六 三、八〇

△標準尾燈

一般自動車用	九一型 (A B 共)	一個	三、五〇
電球一個及フラスケット付	九八型 (A B 共)	一個	三、五〇
電球一個及フラスケット付	△工 具 (國産品)	一個	三、〇〇
イギリスレンテ	時	(並)	(上)
七時	一、一〇	三、〇〇	三、〇〇
九時	一、五〇	四、五〇	四、五〇
時	二、〇〇	六、五〇	六、五〇
時	二、〇〇	九、五〇	九、五〇
モンキーレンテ	時	(並)	(上)
六時	一、四〇	二、一〇	二、一〇
八時	一、六〇	三、〇〇	三、〇〇
時	二、二五	三、五〇	三、五〇
パイレンテ	六時	三、二〇	四、八〇
八時	三、二〇	四、八〇	四、八〇
時	三、二〇	四、八〇	四、八〇

柄付ハンマー

二分一封度	四分三	一分一	二分一
△工 具 (國産品)	タイヤレバー	一六時	一六時
両口ストレート六丁組	スパー 一組	四、五〇	一、三〇
両口S型五丁組	スパー 同	五、四〇	一、三〇
コンビネーションプライヤー	六時	(並)	(上)
八時	八〇	一、三五	一、三五
六時	九五	一、五〇	一、五〇
スクリユー ドライバー	二時	(並)	(上)
三時	二〇	二、一五	二、一五
四時	二五	三、〇〇	三、〇〇
五時	三五	四、〇〇	四、〇〇
六時	四〇	五、〇〇	五、〇〇
スクリユー ドライバー	八時	(並)	(上)
一〇時	七〇	九、〇〇	九、〇〇

買通スクリユー ドライバー

二時	(並)	(上)
三時	三、五〇	七、〇〇
四時	四、〇〇	七、五〇
五時	四、五〇	八、五〇
六時	五、〇〇	一、一〇
八時	一、〇〇	一、三〇
一〇時	一、二〇	一、七五
ソケットドライバー (一本)	二、〇〇	二、〇〇

國産タイヤ 定價表

(昭和十三年十二月現在)

パルーンタイヤ (單位錢)	普通	中袋	ハイドロリックハンドジャッキ
四・四〇一一一 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	二時 一八、〇〇
四・五〇一一〇 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	三時 三〇、〇〇
四・五〇一一一 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	四時 三五、〇〇
四・五〇一一二 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	五時 三五、〇〇
四・七五一一七 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	六時 三五、〇〇
四・七五一一八 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	ソケットレンテセット
四・七五一一九 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
四・七五一二〇 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
四・七五一二一 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
四・七五一二二 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一一八 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一一九 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二〇 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二一 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二二 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二三 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二四 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二五 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二六 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二七 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二八 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一二九 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三〇 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三一 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三二 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三三 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三四 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三五 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三六 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三七 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三八 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一三九 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四〇 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四一 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四二 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四三 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四四 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四五 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四六 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四七 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四八 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一四九 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇
五・〇〇一五〇 (R×B・D)	三、〇〇	四、〇〇	NO一五〇 三、五〇

價格

世界主要都市の揮發油小賣値段

(アメリカ合衆國礦山局調査) 昭和十三年四月十日現在

(一米ガロンに付き錢) (當日の爲替相場により換算)

○揮發油普通品

航空揮發油

國	都市	小賣値段	關稅以外稅	關稅	小賣値段	關稅以外稅	關稅
アルヂエンテナ	ベノス・アイレス	七六錢	一七錢	—	一四〇二錢	一七錢	—
オーストラリア	ブリスベイン	一四二〇錢	—	三五錢	一四一四錢	—	三七錢
ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ	八七錢	五錢	二五錢	一四〇三錢	—	三五錢
英領南アフリカ	ケープタウン	九一錢	—	二九錢	一四二二錢	—	二五錢
ブルガリア	ソフィア	一四三五錢	三八錢	九七錢	一四四二錢	—	三二錢
カナダ	オッタワ	七三錢	一七錢	—	七六錢	—	九七錢
セイロン	コロンボ	一四四五錢	—	八〇錢	一四九七錢(樽入)	—	八〇錢
チリ	サンティアゴ	一四〇四錢	二三錢	二三錢	一四一〇錢	—	一三錢
支那	上海	一四〇七錢	—	四六錢	一四四八錢	—	四六錢
コロンビア	ボゴタ	六四錢	一九錢	—	七錢	—	一九錢
チエツコスロヴァキア	ブラーグ	一四一七錢	三八錢	一七錢	一四二二錢	—	四七錢
エヂプト	カイロ	一四二二錢	四五錢	一五錢	一四二二錢(樽入)	—	四七錢
フランス	パリ	一四〇四錢	—	五〇錢	—	—	一五錢
ドイツ	ベルリン	一四九〇錢	一七錢	一四〇七錢	一四二二錢	—	一四錢

二二

價格

國	都市	小賣値段	關稅以外稅	關稅	小賣値段	關稅以外稅	關稅
〃(舊オーストリア)	ウィーン	一四五五錢	六二錢	一八錢	一四九四錢	—	六〇錢
ハンガリー	ブタペスト	一四〇〇錢	四五錢	一〇錢	一四四二錢	—	六二錢
印度	カルカッタ	一四四五錢	—	六六錢	一四四五錢	—	六六錢
〃	ボンベイ	一四四六錢	—	六六錢	一四四六錢(樽入)	—	六六錢
イラン	テヘラン	一四〇一錢	二五錢	—	一四四〇錢	—	二五錢
アイルランド自由州	ダブリン	一四〇七錢	—	四八錢	一四二二錢	—	—
イタリヤ	ローマ	一四四九錢	一四六九錢	六錢	一四八〇錢	—	一四六九錢
關領東印度	メダ	一四六九錢	九三錢	—	一四八〇錢	—	九三錢
關領西印度	キムラソ	七六錢	二三錢(3%の從價稅)	—	一四一四錢	—	二三錢
ニウ・ジラランド	ウエリントン	一四一四錢	二八錢	二二錢	一四三八錢	—	二八錢
ノールウエイ	オスロ	二八錢	一〇錢	—	三五錢	—	九錢
パナマ	パナマ市	八六錢	※	三五錢	五九錢	—	※
ルーマニア	ブカレスト	二七錢	一一錢	—	—	—	—
シヤム	バンコック	一一〇錢	—	四八錢	一四七二錢	—	—
スウェーデン	ストックホルム	八三錢	三四錢	—	一四一〇錢	—	三四錢
イギリス	ロンドン	一四一三錢	—	四八錢	一四四三錢	—	—
ユーゴスラヴィア	ベルグラード	一四四一錢	五八錢	一三錢	一四三三錢	—	一四六〇錢
		(アルコール混合品)			(樽入)		一三錢

二三

價 格

アメリカ合衆国 ニウ・ヨーク 六五錢
 イラツク バグダッド 八六錢
 ※送付値段の三%の特別税が小賣値段中に含まる。
 四三錢
 一四四三錢
 四三錢

世界重要都市に於ける
揮發油普通品小賣値段

(昭和十三年九月十三日現在)
 正味一米ガロン當り

ロンドン	一四〇一錢	MAE五 同	各車	BS一三三(ピソクハドス)	
パベルリン	一四〇一錢	MSF八 同	三八年フォード	BS一七三(カデラツク)	
ニウ・ヨーク	一四〇一錢	MAK六 同	ビュイク、ハドソン、メツチ	BS一九三(バツカード)	
東京	六四錢	MPK七 同		BS一九三(十二ポルト)	
東京	六四錢	MAK七 同	同バツカード、クライスラー	MA蓄電池	
東京	六四錢	MPK八 同		東京市大森区日本蓄電池株式会社	
東京	六四錢	MAE三 同	一二ダルトファイアツト、ランシヤ	A(六ポルト)	
東京	五五錢	CS蓄電池		B(同)	
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	京都市新町今出川北日本電池株式会社	C(同)	
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	東京市神田區錦町株式會社島津製作所	D(同)	
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	ARRR一五六(ポルトゴム函)	HMS耐震蓄電池	
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	ABP六一六	東京市品川區東品川五丁目三八番地	
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	SF七一六(六ポルト木函)	松崎工業所	
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	ABF四一二(十二ポルト)	特殊自動車用各種耐震蓄電池	
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	カウベ蓄電池		
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	神戸市相生町二丁目六十神戸電機製作所		
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	ARR一三(フォード外各車)		
東京	八四四〇錢	CS蓄電池	ARC一三(シボレー外各車)		

权威、本

認定優良省互商

指定指定指定
 陸軍省指定
 海軍省指定
 鉄道省指定
 滿鉄路總局指定



年産五千吨

東京自動車工業株式会社
 トヨタ自動車工業株式会社
 日産自動車株式会社
 日本ゼネラルモーターズ株式会社
 御採用

東京 芝浦

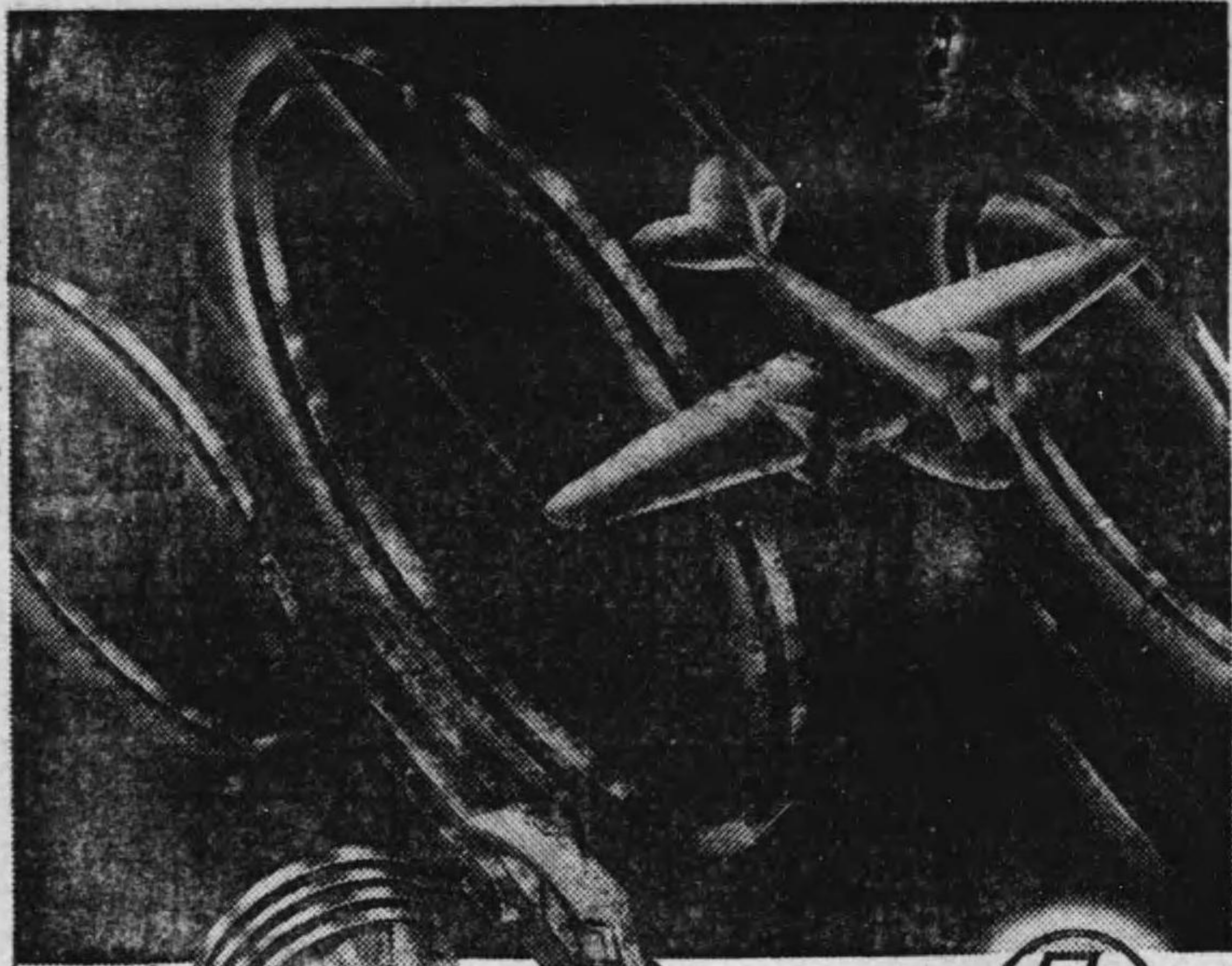
株式會社 芝浦スプリング製作所

(第二第三工場完成)

東京之部

廣……一

東京之部



理研ピストンリング
理研ピストン

理研重工業株式會社

本社 東京市麩町區有樂町一丁目 電話銀座(57)代表761(10)
出張所 大阪市北區宗是町大阪ビル 電話土佐堀 3030-3033
名古屋市中區廣小路通住友ビル 電話本局 (2) 4282

廣
三

其他一般機械油・重油・原油

ンリビモ

オイル



モーター

超高級自動車用各油

東京之部

店理代總本日社會油石アレクンシ國米

社會式株産物野淺 部油礦

ルビ上海・内ノ丸・京東
九八……〇八五二内ノ丸話電
九七……〇七一四

カ	シ	紐	ロ	倫	臺	撫	天	清	京	青	奉	ハ	樺	北	九	神	名	横	新	大	大	◆
ル	ヤ	育	ス	敦	灣	順	津	津	城	島	天	ル	太	海	州	戸	古	濱	京	連	阪	支
カ	ツ	タ	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張	張
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所

廣
三

創立明治廿九年

營業科目

各種 各種
 各種 各種
 各種 各種
 各種 各種



日本アスベスト株式会社

東京營業部 東京市京橋區銀座西六丁目三番地
 大阪營業部 大阪市此花區下福島五丁目一八

出張所
 名古屋市中區古澤町五丁目三番地
 福岡市博多區博多町四丁目四番地
 長崎市東區長崎町四丁目五番地
 大連市中山縣通大倉ビル内
 奉天市大平町一丁目二番地
 新京特別市大倉街二丁目二番地
 大興ビル大倉街二丁目二番地



豊ガスケット株式会社

大阪市西淀川區花川町二〇六番地

(省線電車塚本驛南一丁目)
 電話福島(45)四一〇八番
 振替大阪六六一八〇番



陸海軍省指定工場

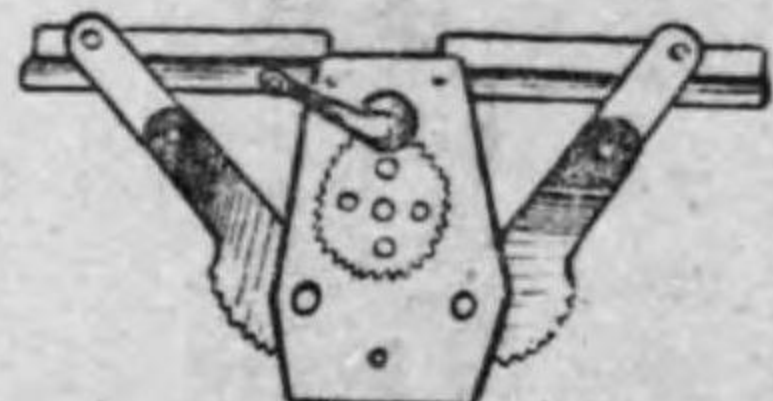
日本ピストンリング株式会社

東京・横濱・大阪
 神戸・福岡

東京之部

ボデー材料

各種レザークロース



在庫豊富

ガイドランプ



日本乗合自動車協会推奨品

レザークロース及幌生地

特許ウキハンドレタ
特許付ハンドレタ
特許鍵付ハンドレタ
特許付ハンドレタ
特許付ハンドレタ
特許付ハンドレタ

自動車用及装飾品
自動車用及装飾品
自動車用及装飾品
自動車用及装飾品
自動車用及装飾品
自動車用及装飾品

自動車用及装飾品
自動車用及装飾品
自動車用及装飾品
自動車用及装飾品
自動車用及装飾品
自動車用及装飾品

自動車材料製作販売

野尻商會

東京市芝区田村町三ノ九

営業部

電話芝 二四一四番

振替東京一三七一二九

廣...七



營業項目

特許HMS耐震蓄電池
特許自動車方向指示器
自動車部分品並=附屬品

電氣諸機械器具一般
設計監督請負
特許GS蓄電池元賣捌店

松崎工業所

營業所並工場
[東京市品川区東品川五丁目三番地
電話高輪(44)三五五六・三五五七番
振替口座東京八〇四三〇番

MATSUSAKI ENGINEERING WORKS.

No. 38 5-CHOME HIGASHI SHINAGAWA SHINAGAWA-KU

TOKYO JAPAN

TEL. No. 3556・3557 (TAKANAWA)



HMS TAISHIN BATTERY.

東京之部

廣...六

營業
課目

內燃機製作加工
特殊自動車製作
一般自動車修理
設計製造

高橋内燃機工業株式會社

東京市芝區西芝浦三丁目一番地

東京自動車工業株式會社代理店
ロバートボツシユ會社製品販賣代理店
ダンロツプタイヤ會社販賣代理店

自動車用品商 帝國護謨工業所

營業所

東京市芝區今入町八番地

電話銀座 (57) 二二五
二六五
一七五
九六二

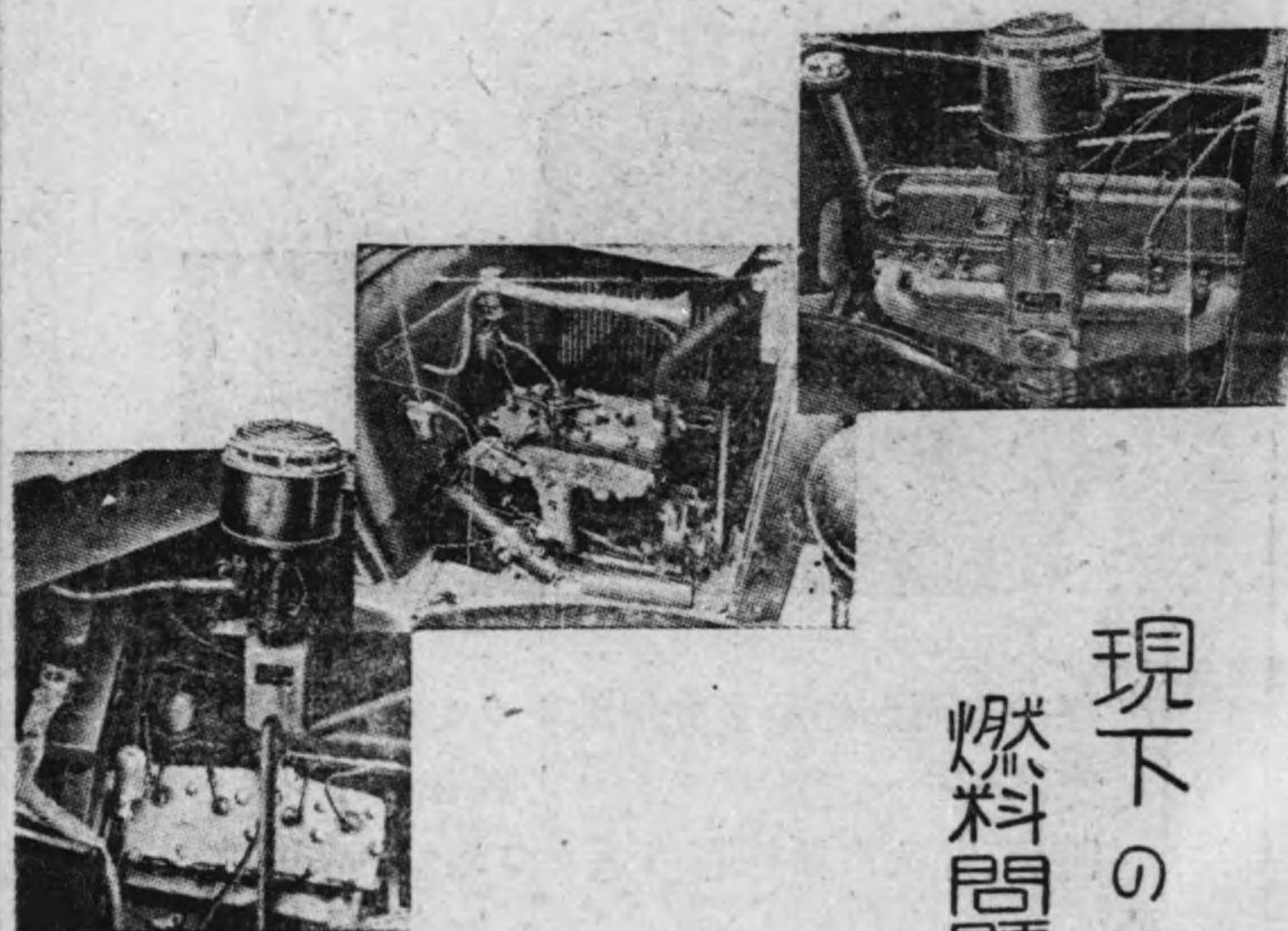
振替口座東京六一一七二番
東京市芝區琴平町二十九番地

工場

衣笠式自由燃料装置

フリーバーナー
- 名 富士エコノマイザー

東京之部



現下の急務
燃料問題の解決!

最進の學理
最高の機能

富士防水株式会社機械部

東京・蒲田・東六郷

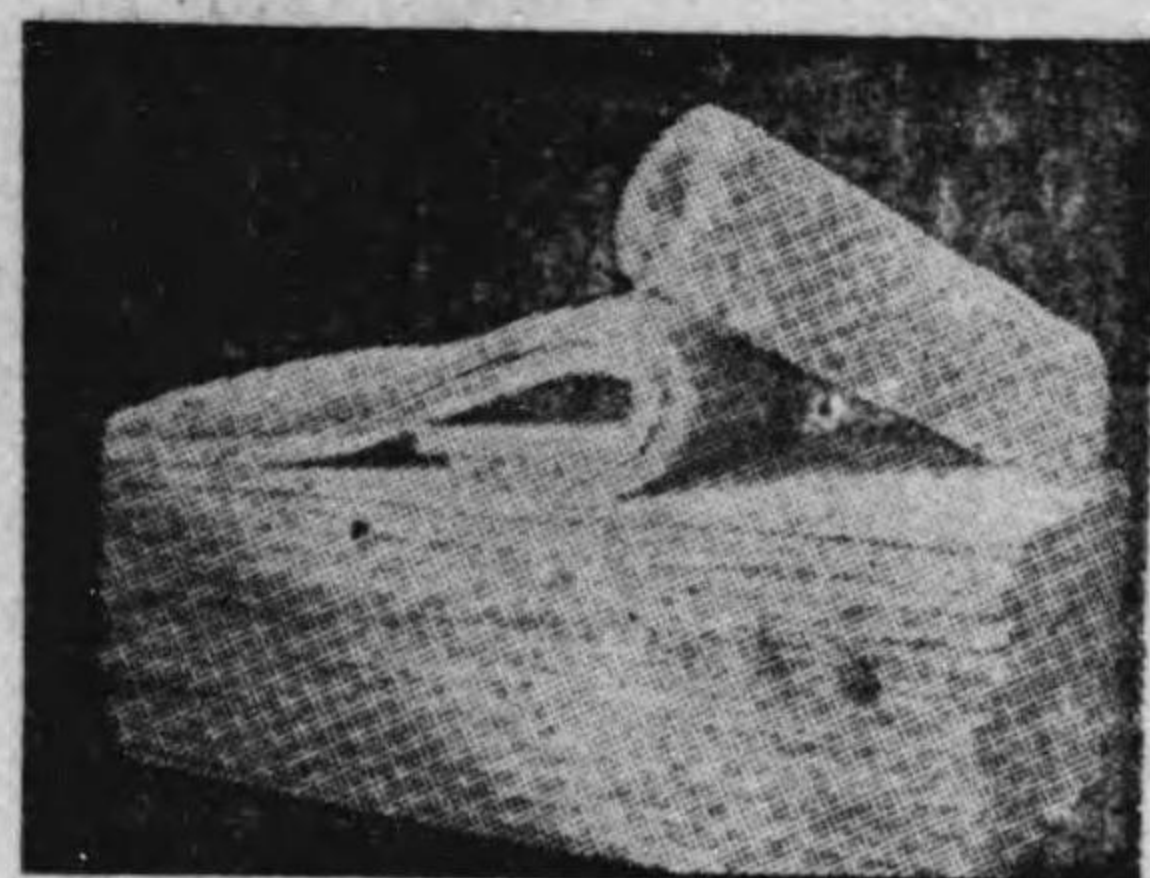
廣...二一

ヘアートックス

特許纖維彈性物

東京之部

理想的
クッション材
スポーツ用
好適品



商工省代用品展
合格出品

營業品目

家具用一般ゴム
建築工事用ゴム
工業用ゴム
自動車用ゴム
機械工具用ゴム
バツキグデゴム
其ノ他特殊ゴム一式



合資会社 平和ゴム商會

東京市下谷区南稻荷町八十七番地
電話 下谷(83) 五三〇八番

工場 板橋区志村小豆澤 ・ 電話 赤羽二七三一番

廣...一〇

バテイ印



自動車及
機械用

ブレーキライニング クラッチ フェーシング

本品の特徴

耐熱度高く	出足の滑なる
硬度は不変	耐久力強大
制動確實	粘着せず

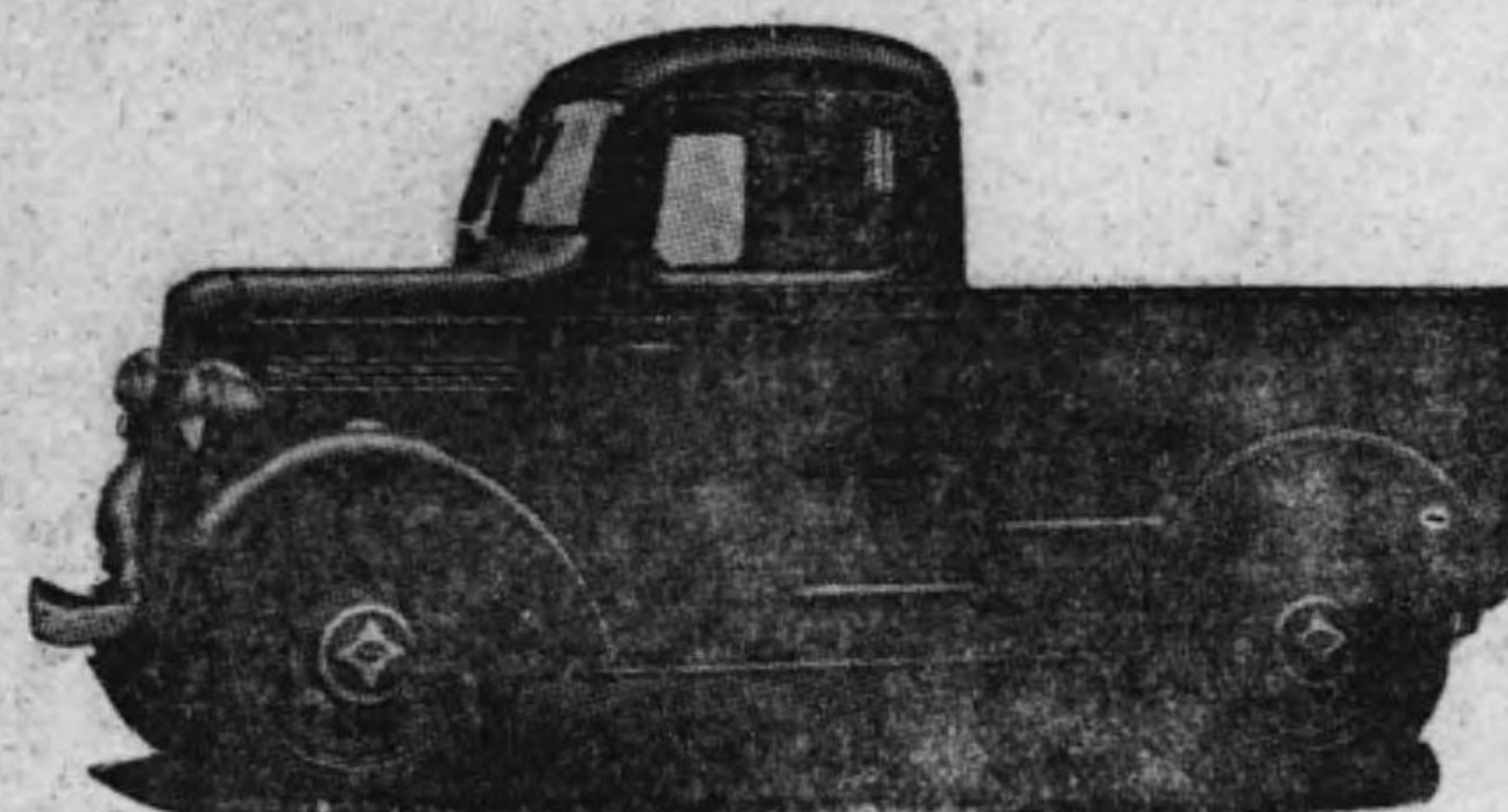
製造元 ミムラ化学工業所

東京市板橋區板橋町十ノ二七四五
電話板橋一〇五四番

オオタ



スタンダード・トラック



美しい外観と楽な運転臺を兼ね備へた理想的な而かも最も實用的トラック。内張裝飾はボデーフィニッシュと調和したレザー張、天井は市松織布で張りつめてあります。

高速自動車販賣株式會社

本社	東京市赤坂區溜池町十一番地 電話赤坂(48)代表五三七一番(3)
溜池サービス部	東京市赤坂區溜池町三十番地 電話赤坂(48)一四四六番
神田サービス部	東京市神田區岩本町九番地 電話浪花(67)四一〇七番
横濱營業所	横濱市中區櫻木町四丁目十四番地 電話本局(2)一二五〇番

四季の行樂は

史蹟と風光美に

恵まれた三浦半島へ

ピクニック

ハイキング

汐千狩

海水浴

魚釣り

軍港見学

都人一日の行樂に

適應しき

当社沿線へ!!

- ◆省線品川驛連絡、浦賀まで電車直通
- ◆三崎油壺へ浦賀又は湘南逗子驛よりバス連絡
- ◆大島、下田へ浦賀より東京灣汽船に連絡



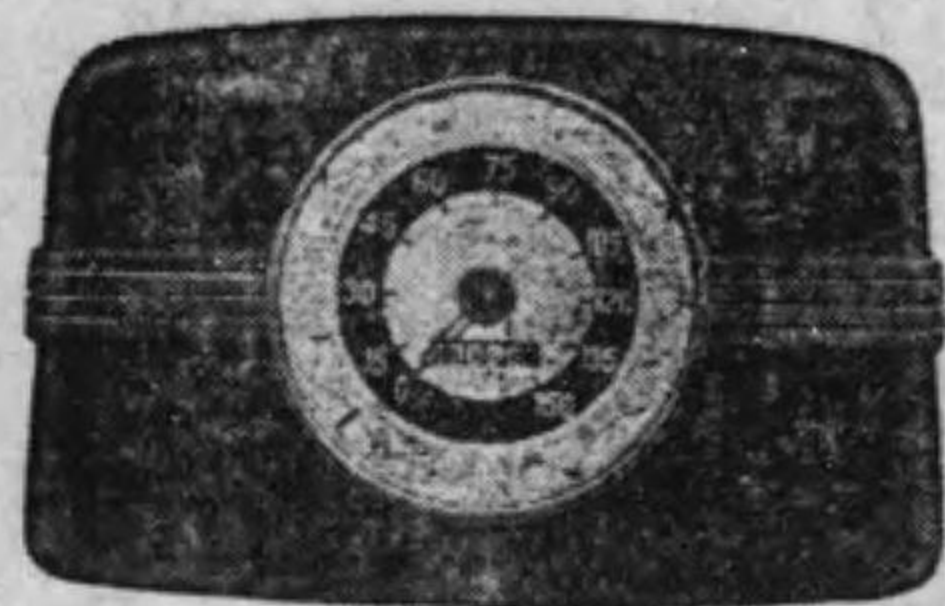
東京濱。湘南電鐵

旅客案内所 電話高輪 三〇二〇番

東京之部

廣一五

自動車・小型車



斯界に定評ある尾崎のターボ

尾崎製作所

東京市京橋區西八丁堀一丁目四番地

電話京橋(56)四六二一番

東京之部

廣一四

ジーエス蓄電池

商賣の秘訣

何の難しい事はありません
 ジーエスをお用ひになる事
 です、あの軽快なるスタート、
 皎々たる照明、そしてあの
 矢の如き速さを見ては乗り
 たくなるのが本態です。

- バスに
- トラックに
- 乗用車に



日本電池株式會社

本社 京都市上京區新町今出川北
 東京・大阪・福岡・名古屋・廣島・京城・札幌・台北・瀋陽

東京之部

廣一七

東京之部

廣一六

東京横濱電鐵株式會社

自動車部

目黒蒲田電鐵株式會社

自動車部

本社 東京市澁谷區大和田町一番地

電話澁谷(46) 自三一一九番
 至三一一九番

自動車部専用 電話澁谷(46) 三二九二番

燃料國策に順應して生れたる...

報國燃料節約器

代用燃料及石油にて
走行成績頗る良好



ガソリン節約器の最高權威
|| 商工省試験済 ||

(型録進呈)

愛國の士よ

我と共に

銃後を守れ

日本内燃機研究所

本社 東京市京橋區銀座二ノ三(銀ニビル)
電話 京橋 9245 番
支店 大阪市北區太融寺町一八
電話 北 7003 番

モーラ地の組織構図

純國産



織物ハ経骨	モーラハ	メリヤスハ
緯骨ダケテ	経骨緯骨ニ	肉バカリデ
肉盛ガナイ	肉ヲ盛ッテ	骨ノナイガ
ノガ物足ラヌ	理想的デアル	物足ラヌ

日英佛滿專売特許

新しき羅紗出現!

モーラー "Mora"

自動車内張生地・バスクッション地

強く・安く・体裁よし

見本呈郵

發賣元

世界特許



合資會社

香川商會毛羅部

東京市神田區仲町一ノ一〇

電話 下谷 (83) 6368・7549 番

振替東京 九八七一 番

PISTON

主要製品

シリンダーホーニング
 シリンダー製作
 ピストン製作
 シリンダースリーブ製作
 自動車用鑄造品
 精密鑄造



商工省
 優良品認定



泉自動車工業株式会社

本社 東京市赤坂區田町六丁目 電話赤坂四四四六番
 横濱支店 横濱市中區櫻木町七丁目 電話本局四二七六番
 大宮工場 埼玉縣大宮町三橋(新國道西側) 電話大宮三二六番

營業科目

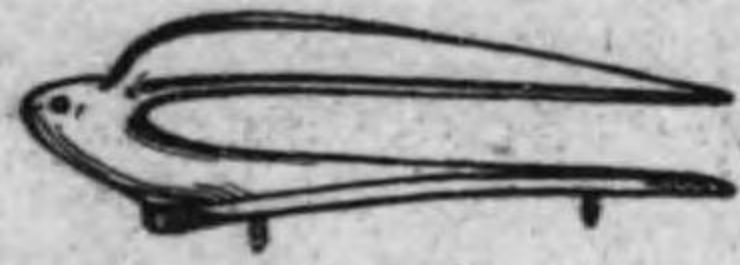
ニツサン自動車部分品
 ダットサン部分品
 スミダ・ちよだ・いすゞ・部分品
 國產自動車部分品
 其他各自動車部分品

各種内燃機用品
 陸軍制式公具
 製造
 ニツポン印タイヤチェーン製造元
 M・C・P印部分品製造元

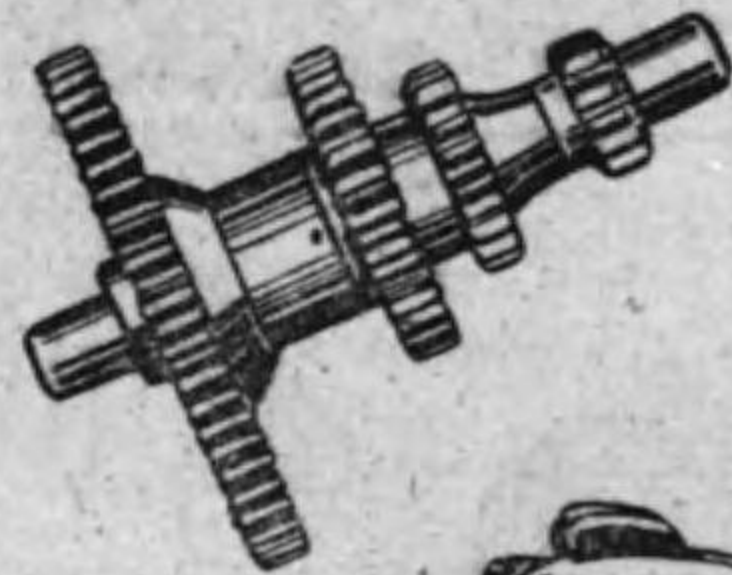
ダットサン部分品製作元祖

在庫豊富 何品に依らず發送迅速

マスコット



ギヤー



ジョイント



東京市芝區田村町六丁目七番地



實

商

會

電話芝(43)三六三七番
 電話(ミノ)又ハ(ミノル)
 (市電御成門交叉點際)
 水戸工場 水戸市南町三丁目 電話七五番
 第二工場 水戸市外赤塚

自動車 ホデー材料

特
殊
品
目

一般レザークロス
幌地・テレンプ
ウインドレギュレーター
室内装饰材料一般
ユニオンワイパー
長山式方向表示捲取機

純國産

新興皮革

(シート用)

發賣元

一般製造卸



株式會社 二葉屋商店

社長 神谷傳三郎

東京市芝區田村町二丁目一番地
電話 銀座二四一二・六九八一番
振替口座 東京 一〇五四四七番
營業所 福岡市・札幌市

各種デブ専門修理



完備せる機械設備
熟練せる技術で
新品同様に補強工作
矯正修理が出来ます

(耐久力及値段の低廉は弊所の誇り)

地方出荷迅速



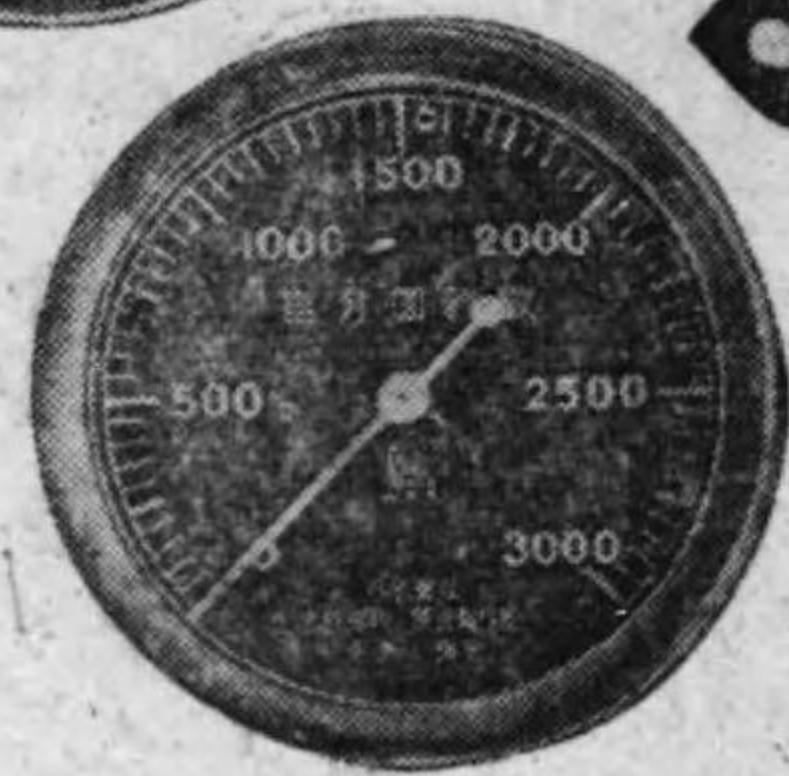
・責任保証～
～在庫豊富・

櫻井製作所

東京市深川区常盤町一ノ六
電話 深川(73) 7805番



キムラ 廻轉計



株式 會社

木村洋行

本社 東京市麴町區丸ノ内三丁目二番地
 出張所 電話丸ノ内(四)三六五八・四九五一番
 大阪市西區土佐堀一ノ一 大同ビル
 電話土佐堀(44)三六一七番
 東京市蒲田區東六郷一丁目一六ノ一
 工場 電話蒲田 四三九五番



キムラ速度計



キムラ電氣式燃料ポンプ

パーカライジング

鐵鋼防錆加工



鐵鋼防錆塗裝下地加工

自動車
塗装下地
加工

アルボント

アルミニウム系合金塗裝下地

ブラスボント

眞鍮塗裝下地加工

パーカー'エ,

亜鉛塗裝下地加工

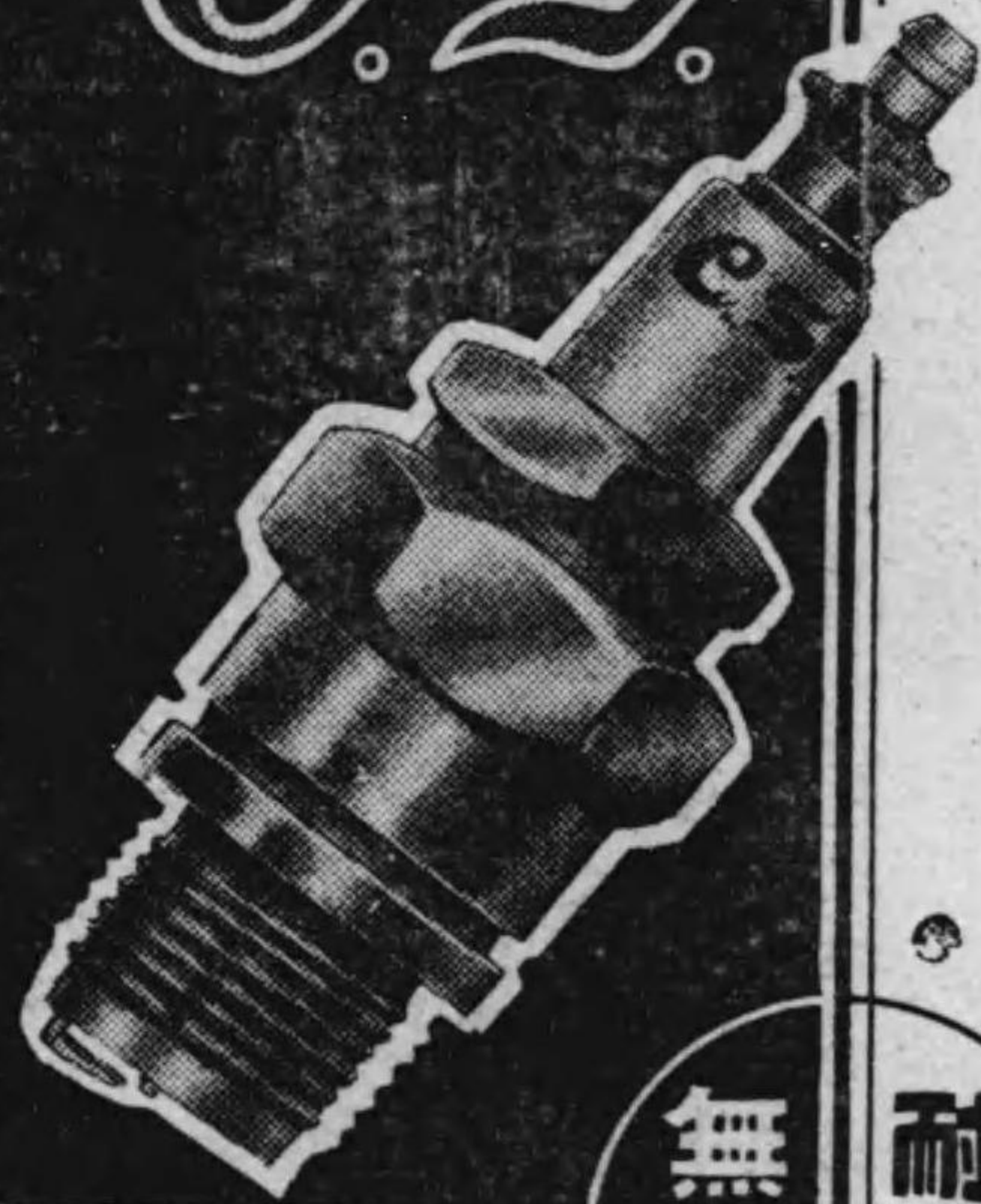


日本パーカライジング株式會社

東京本社	蒲田區南六郷一ノ三七	蒲田2855・2213・2554
營業所	銀座六丁目尾張町ビル	銀座 2452
城北工場	足立區本木町六丁目六九四六	足立 2832
城東工場	城東區南砂町七丁目七四	本所 6721
名古屋工場	名古屋市熱田區熱田東町桃ノ木十二	瑞穂 3017
大阪工場	大阪市西淀川區御幣島町三三一	福島 2421
尻ヶ崎工場	兵庫縣尼ヶ崎市杭瀬町二ノ坪六	尼ヶ崎 1896
京都工場	京都市下京區上鳥羽鴨田二十五	下局 1262

シーエススパークプラグ

CS



セントラル、シーテール、シーエス印製品發賣元
 ダンロップタイヤ並ダンロップ製品特約店
 理研ピストン及リング代理店
 アケボノライニング代理店
 ヤマトモビルオイル代理店
 自動車用品製造並舶來用品直輸入

無
比
耐
久

SPARK PLUGS



中央商會

東京市赤坂區溜池町三〇番地
 電話赤坂(48)一〇二六番
 三九七四番

後藤車體製造株式會社

東京・門司・西の宮

油の自然に滲み出る全属

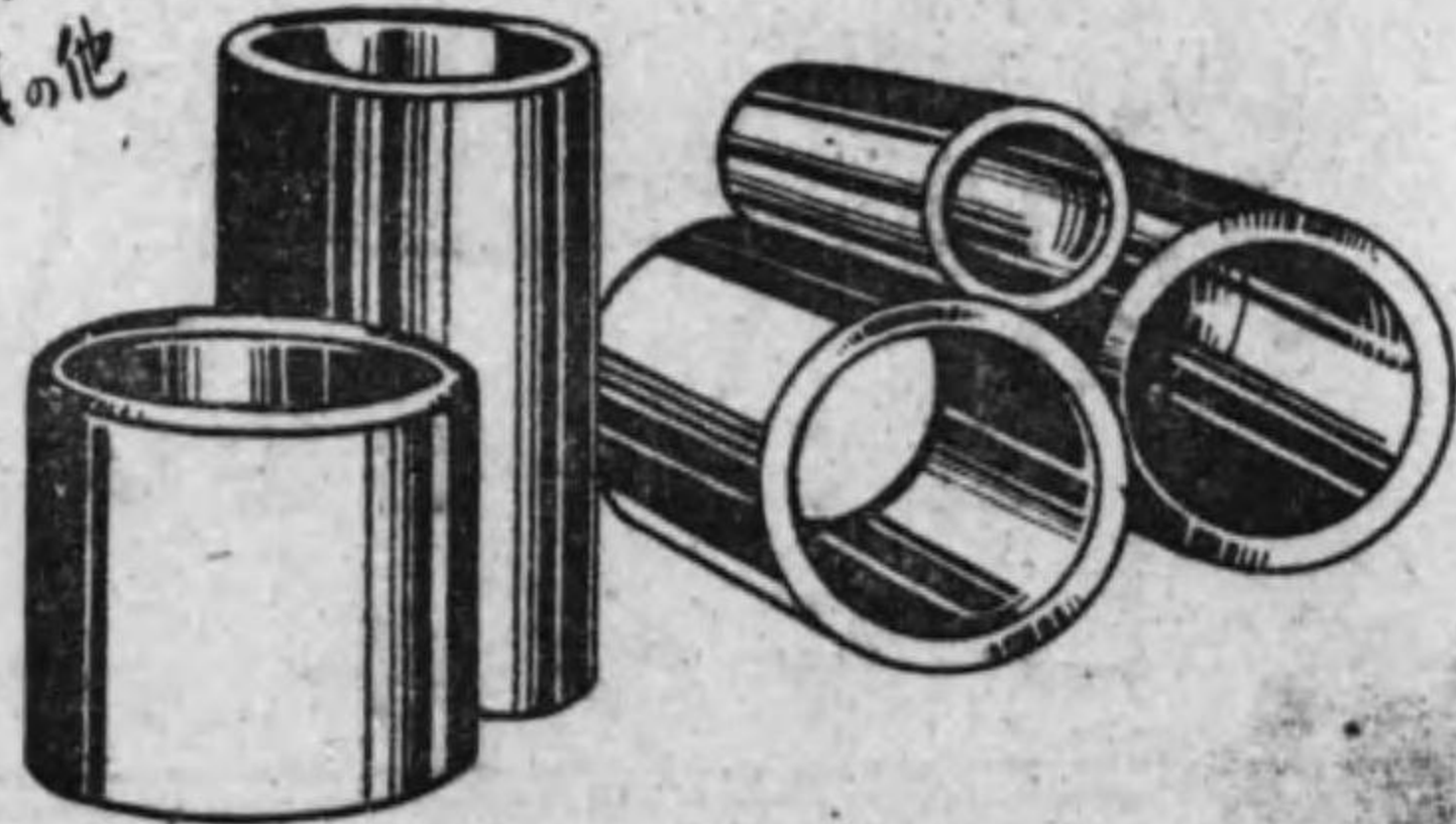
オイルライト

自動車工業界に於ける躍進的存在

使用箇所

- ウオーターポンプ ベアリング
- スターター及びセネレーター之ベアリング
- ステアリングギヤ之ウオーム及びクロスシャフト
- ユニバーサル ジョイント
- クラッチシャフト パイロットベアリング
- エマージェンシーブレーキ
- トランスミッションのレパースギアアイドル及びクラスタギア
- ガバナベアリング
- 其の他

(型録進呈)



輸入並ニ製造販売

昭和新興工業株式会社

旧称・日本オイルライト株式会社

東京市京橋区銀座八丁目二番地(共同火災ビル)

電話 銀座(57) 四〇四四番

各種自動車買賣

シフトオートレイドトラック

ストック在庫 完全責任付

廢車

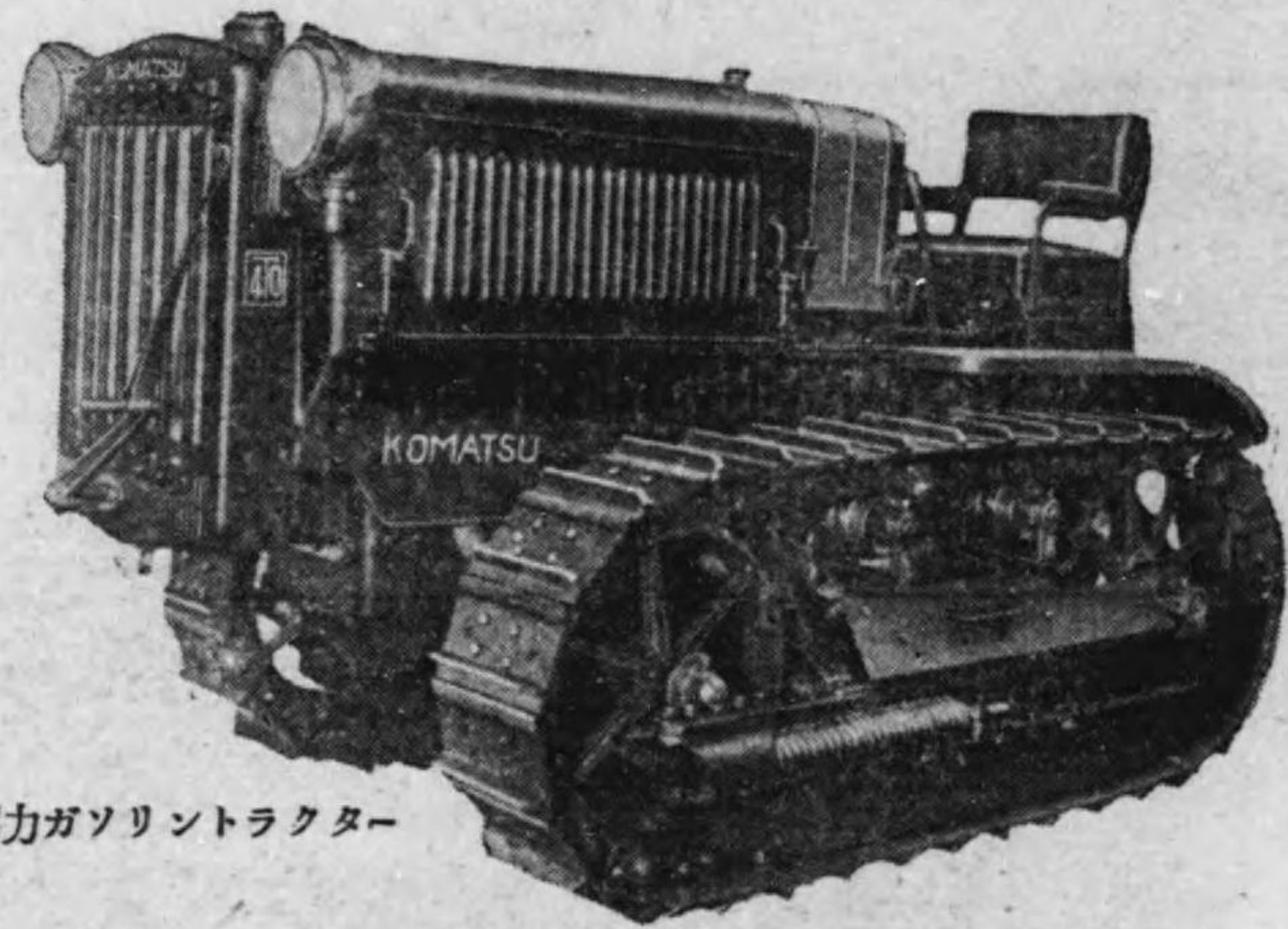
高價買入及
下取り交換

東京市下谷區坂本昭和通り入谷町四十八番地

大東自動車ストック部

電話 根岸 四七六三番

株式會社 小松製作所



50馬力ガソリントラクター

自動車用鑄鋼其他鋼材

工場

營業所

石川縣小松町、北陸線小松驛
電小松 一三三六二番番

東京市丸ノ内ビルディング七〇一區
電丸ノ内 長 八八六六七三九〇一 番番番
大阪市朝日ビルディング七一號
電北濱 五五四五四七〇 番

CORLIN



Heavy Moulded Tubes

各地に販賣店あり



良くて一番安い

コーリンチューブ

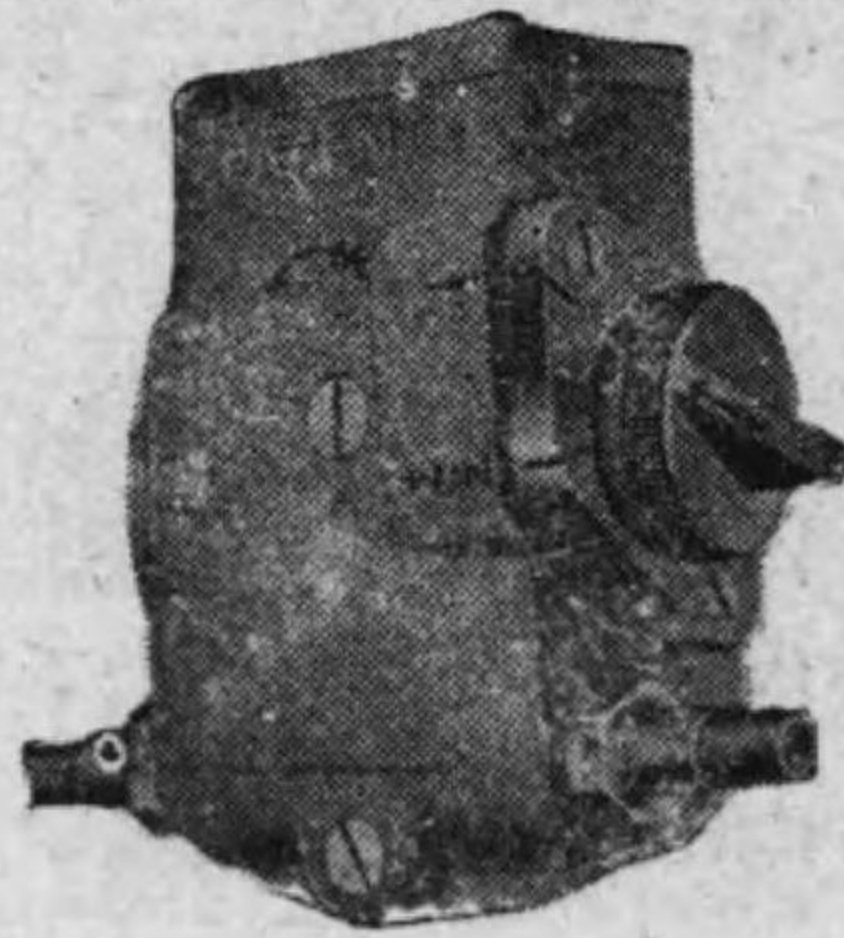
株式會社 幸輪社

東京市荒川区日暮里町八ノ一六二
電話 根岸(87) 四〇〇七番
振替東京 二八七三〇番
受電略號 シタヤ・コウリンチウブ

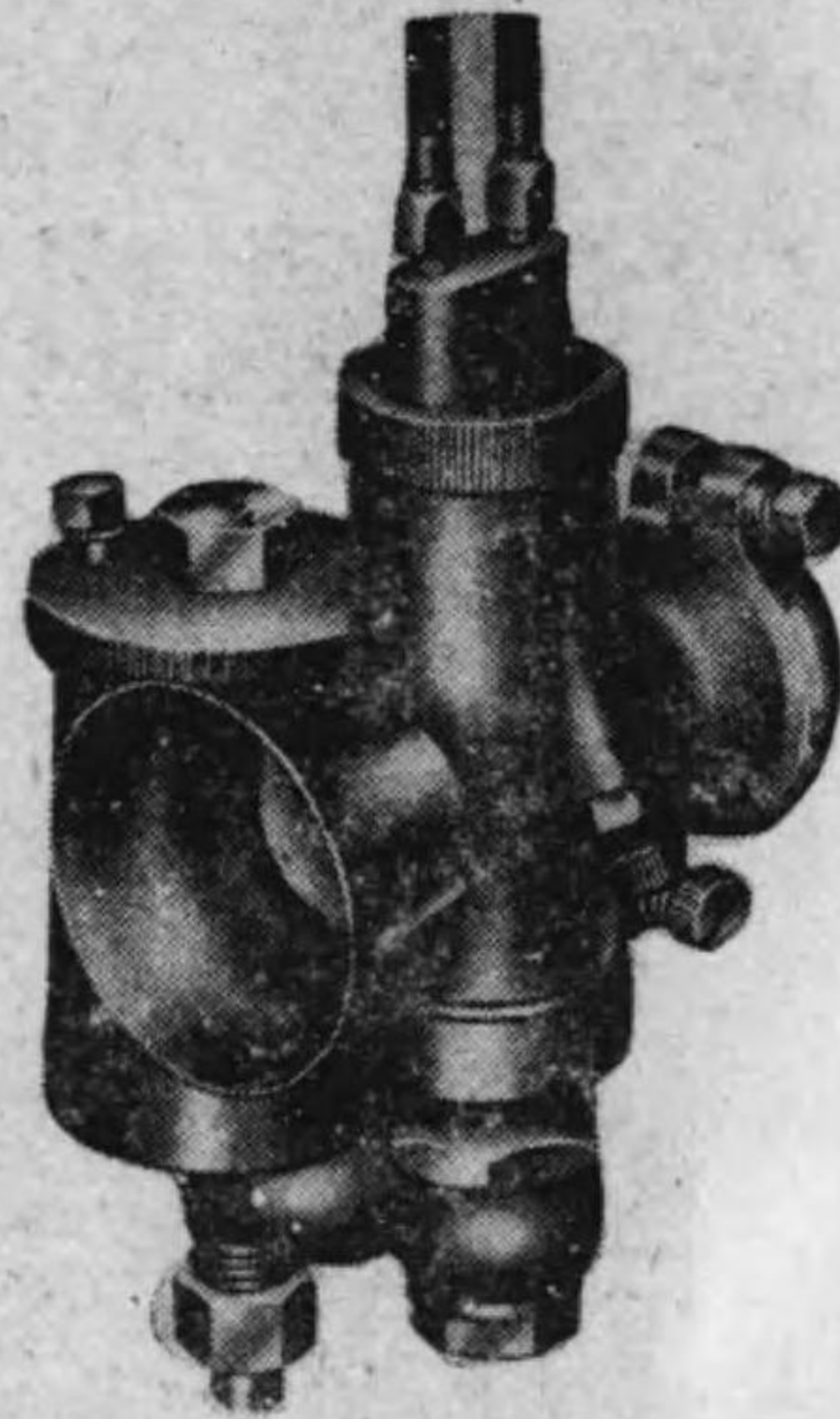
斯界の權威 アマル國産化成る



ベスト(392)
メカニカル・ポン



アマル(392)カービュレーター



株式 三國商廬

東京市神田區五軒町四番地
電話下谷(83) 5423・3920・3820番

工場 蒲田區矢口町八四二番地
電話蒲田 2751番

徽 賞 門 帽 門 巴 カ メ 賞 徽
作 銀 作 作 作 作 作 作
卸 器 卸 卸 卸 卸 卸 卸
進(カ
カ
タ
ロ
グ
呈
)



一個參拾錢

新型無事故徽章



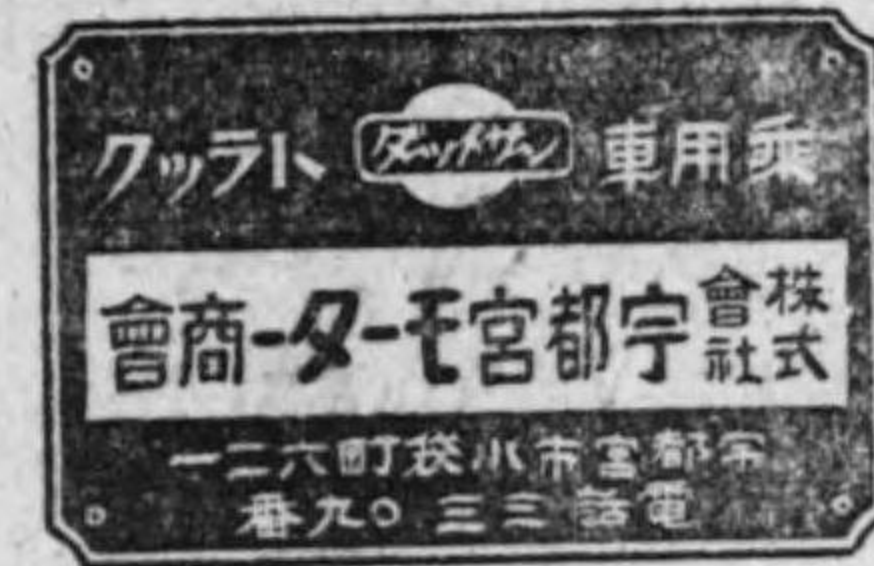
一個壹圓也

新型三五九年表彰徽章



宣傳用ラベル釘一個八錢ヨリ

自動車用
ネームプレート
特に安全價に
抑製作
申上候



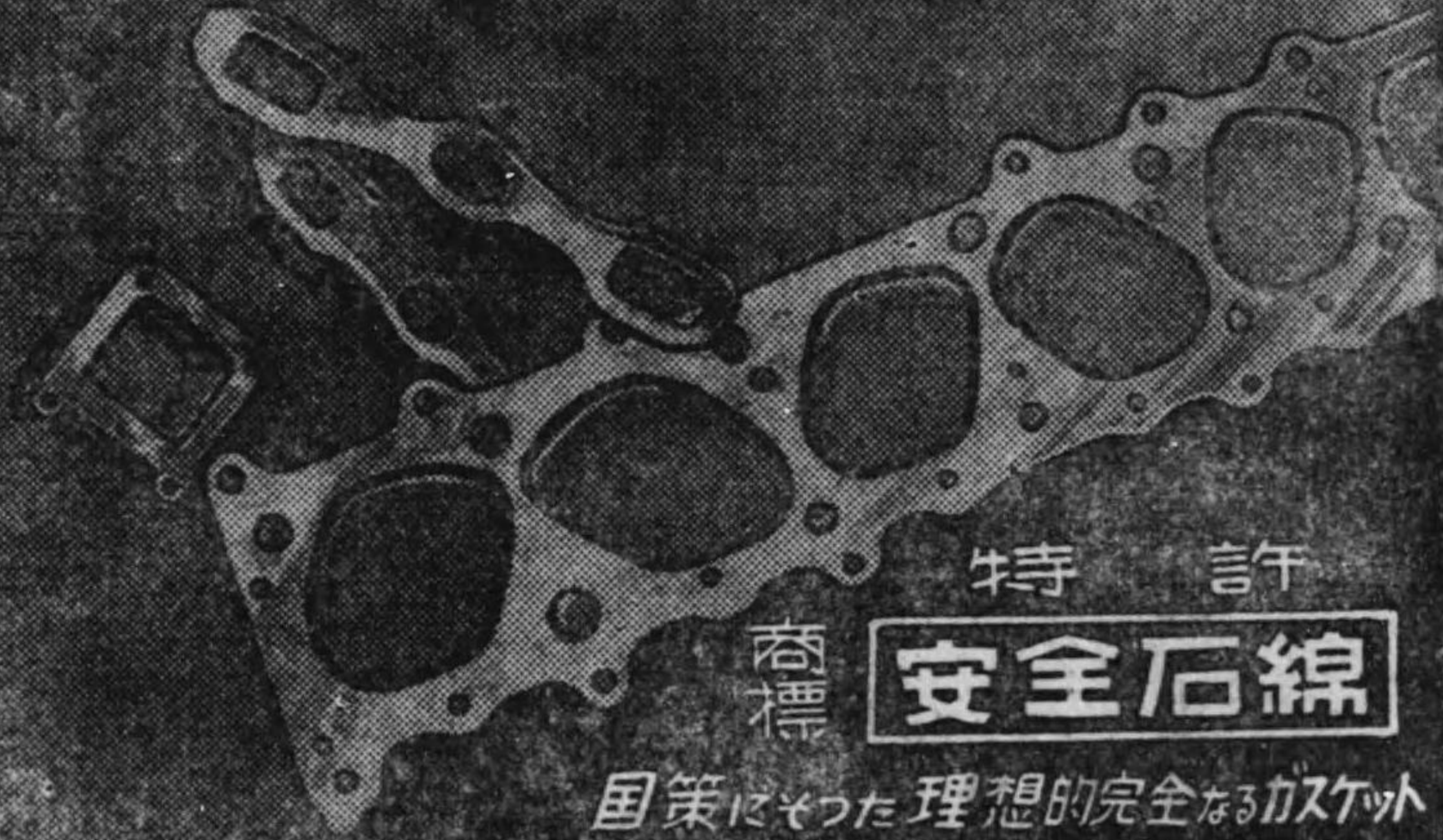
日産自動車販賣株式會社 御用
日本フォード自動車株式會社

日本徽章製作所地方部

瀧澤春雄

東京神田須田町一ノ一〇
電話神田(25) 三五〇四番
振替東京 二八七七八番

国産 パッキン N.V.P



本品の特徴

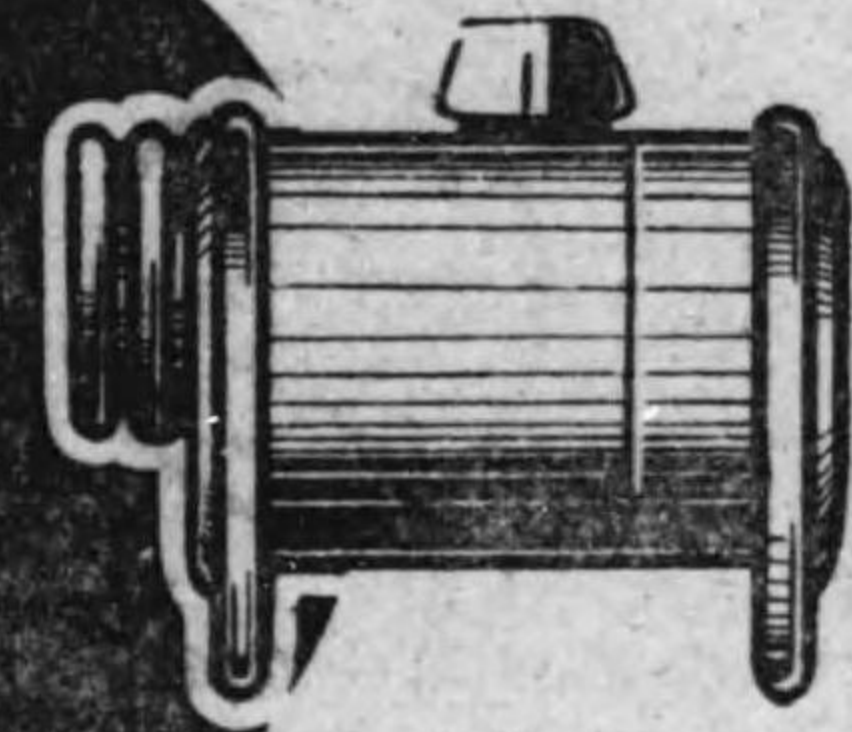
1. ニスを付けずに完全にしめ付くこと
2. 一日に大量抜けること
3. 銅版の必要無きこと

日本ビクターパッキング製作所

本社 東京市芝区高輪北町五三
電話 高輪 (44 4 8 8 8)
工場 (パッキング部) 北品川一丁目一七三

内燃機関電機修理

木炭瓦斯発生用
電動送風機
大量製作



OSB 蓄電池
発売元



内燃機関電機装置販売工作
OSBバッテリー製造販売
自動車電機・自動車用品
オートバイ電機修理

日本蓄電池株式会社代理店

大河電気工業所

本店營業所 京橋區八丁堀三ノ七番地 電話京橋(56)六七一九番
日本橋營業所 日本橋區久松町廿二番地 電話浪花(67)二四三八番

製造＝販賣

ボデー諸金物

製造直賣

各種ウインドレギュレーター

製造發賣元

珠 金 三 並 材 株 會

WINDOW
REGULATORS
AUTOMOBILE
BODY HARDWARE

國產自動車用品製造所

株式會社 堤商會

東京市芝區田村町2丁目9番地

電話銀座(57)6337番

第一工場 蒲田區糞谷町 第二工場 品川區北品川

最優秀各種試驗機設備

電氣部 (自動車電氣工業、其他電機製作
精密電氣計器設計製作)

蓄電池部 (古河電氣工業株式會社特約店
蓄電池並に諸材料卸元)

機械部 (電機機械設計製作)

大橋電氣工業所

營業所 東京市麴町區飯田町一ノ三(市電九段下下車
堀留橋際)

電話九段(33)二六七四・三八四七番

振替口座東京二八八二〇番

工場 東京市板橋區志村前野町一一七〇

電話板橋 一八四・二三八番

ニッサン
ダットサン
トヨタ

部分品
製作卸
附屬品



會社資 大垣商會

代表社員 大垣 忠一

東京・京橋・入舟町
電話京橋(56)一八五三番
振替口座東京二一四五五番



印鹿セーム革

日ノ出印、セーム革

製造發賣元

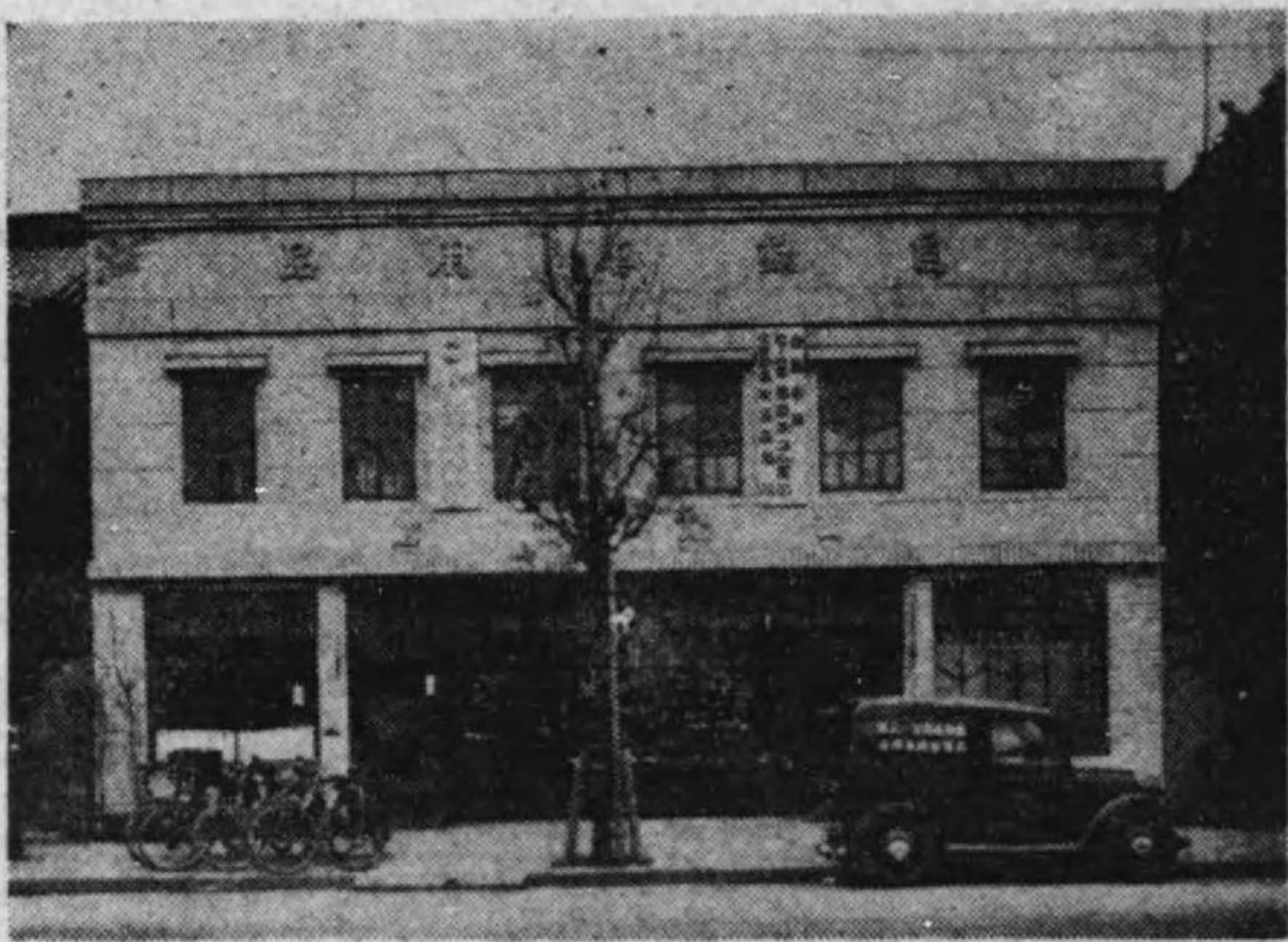


自動車用

各種用品・附屬用品
ゴム製革製品
各種用品・附屬用品

東京之部

卸商



合名會社

西尾商店

營業所 東京市向島區寺島町七丁目十二番地
電話墨田五七七六番
振替口座東京四〇八一〇番
工場 東京市葛飾區本田澁江町六二三番地

東京之部

ダットサン

用品・附属品・エンジン部分品
 全部取揃へて御座ります
 多小に不拘御用命下さい



配達
 地方出荷迅速

自動車附属品・ダットサン附属品製作卸

特許

佐久間式自由燃料気化器

特約販賣店

【カタログ進呈・地方特約店募集】

中 島 商 會

東京市芝區田村町二の三 電話銀座(57)6040番

廣
 …
 四一

東京之部

GBW
 AUTOMOTIVE EQUIPMENT
BALL AND ROLLER BEARINGS
 FOR CHEVROLET AND FORD

ゼネラルベアリング製造所

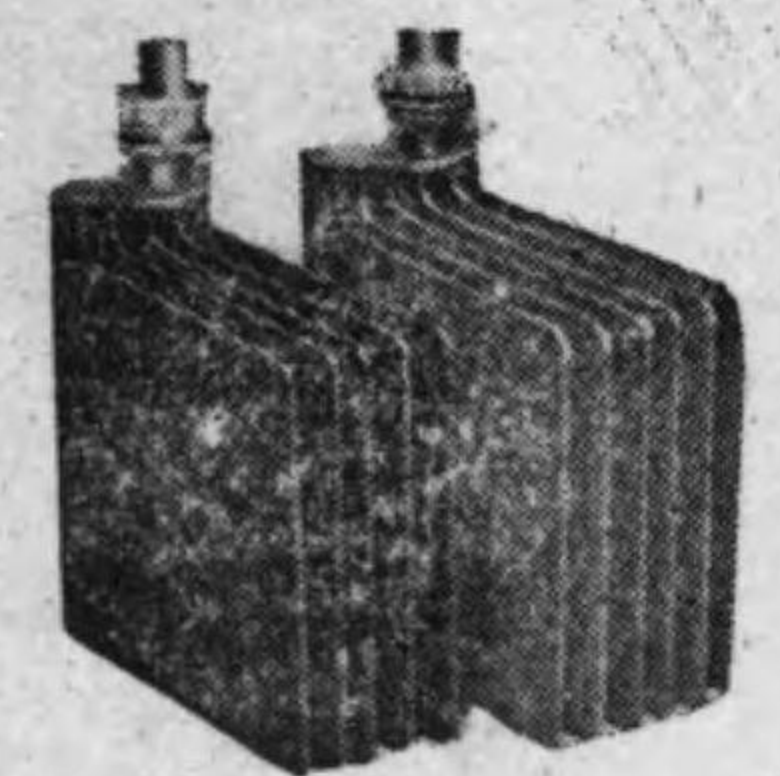
東京市深川區常盤町壹丁目九番地 電話本所九五二四

代理店 京都 大澤商店・神戸 奥村商店

廣
 …
 四〇

斯界の最優秀品

關根蓄電池



營業種目

關根蓄電池及極板製造
蓄電池材料並ニ電球卸

湯淺蓄電池製造株式會社代理店

協電社

東京市芝區田村町二丁目六
電話銀座(57)四六五三 振替東京四一〇〇六番
工場 芝區南佐久間町一丁目五十四

合油合金(オガロイ)製作發賣元

日産、トヨタ部分品並用品
ダットサン部分品並用品 製作卸
各種機械工具

八榮工機商會



東京市京橋區木挽町一丁目二番地

電話京橋(56)五八〇五番

自動車



若松製作所



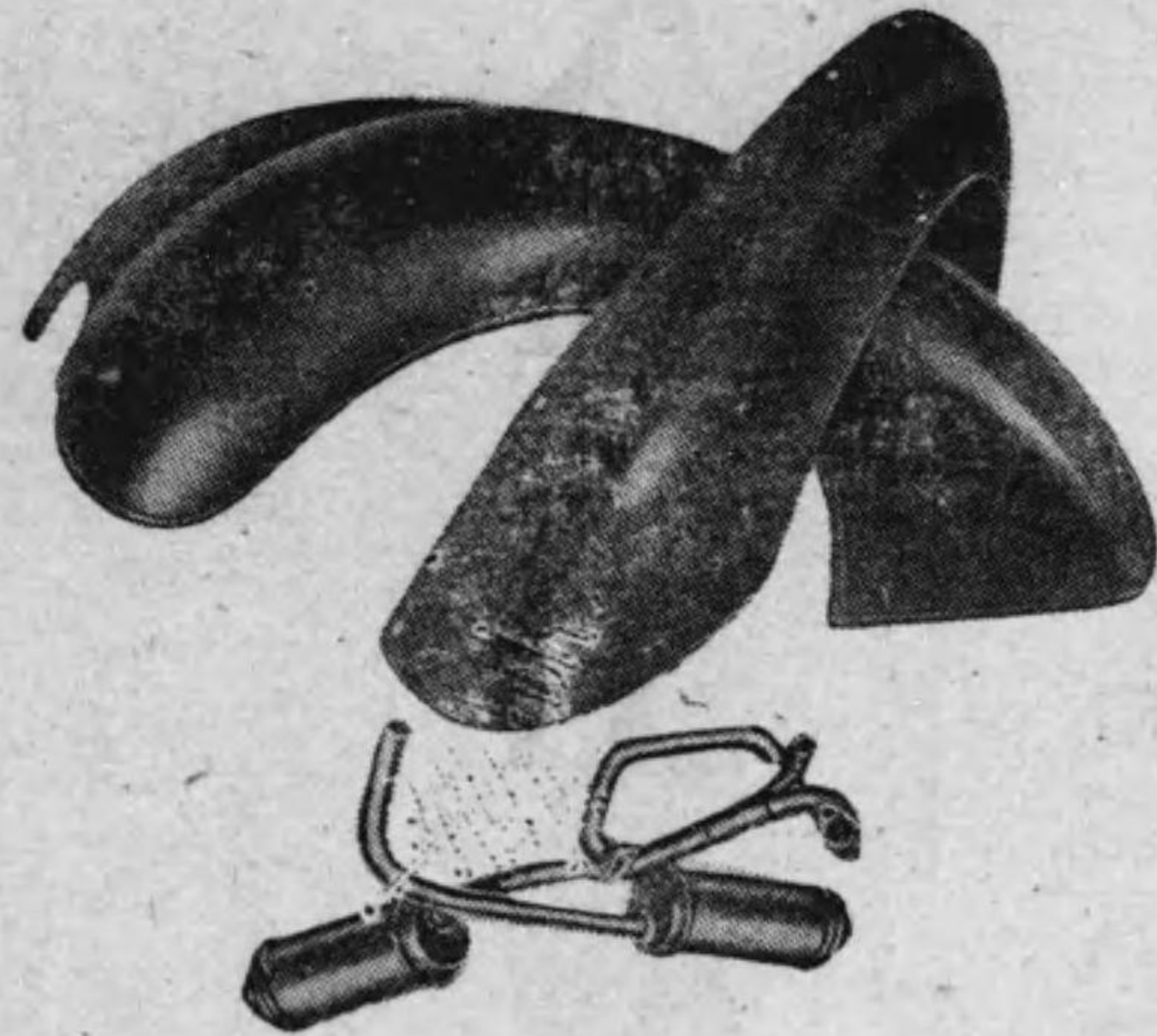
附屬品の製作工場

營業所 東京市品川區南品川五ノ一九七番地
 工場 " " 五ノ一九八番地
 電話高輪 { 六八二一 番
 七〇三四 番

國産 YK 權威

各種・自動車・内燃機 フェンダ・マフラー・専門製作

各種車用・在庫豊富



多量製産・特價提供

吉澤製作所

營業所 東京市芝區田村町二丁目十二番地
 電話銀座(57) 六二三九番

第一工場 東京市品川區大井南濱川一七三九番地
 第二工場 東京市品川區大井鈴ヶ森二二六二番地
 サービス工場 東京市淀橋區戸塚一丁目一〇九番地

營業品目

國產車パーツ
ダットサンパーツ
各種製作卸

泉谷製作所

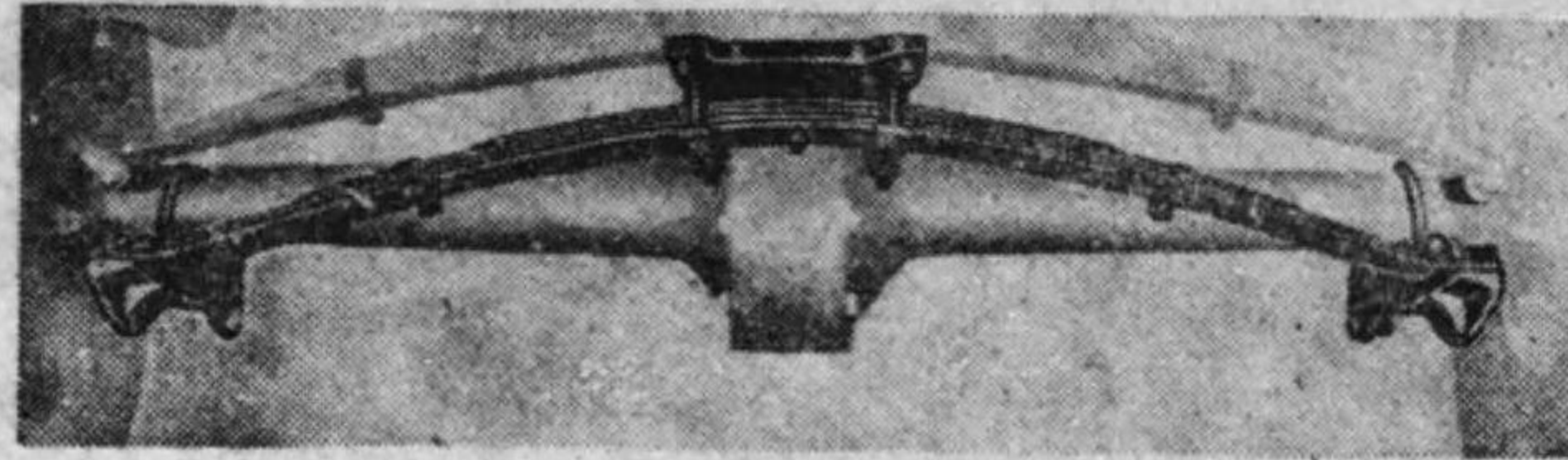
東京市芝區田村町二丁目十四番地五號

電話銀座(57)四六二七番

振替東京六九七四五番

工場 荒川區三河島町一丁目二七九一

強いフォードには 強い! 飯島式補助スプリングを!

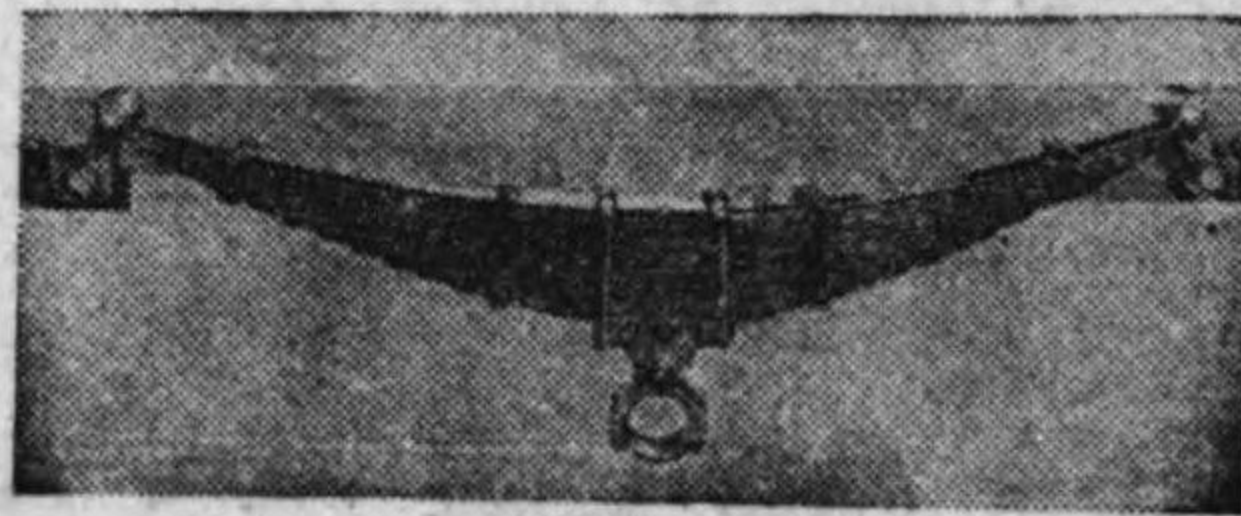


飯島式リヤ補助スプリング

32-37年型フォード
コンマーシャル、乗用車専用

PATENT No. 29275

賣價 コンプリート ¥35,00



飯島式 簡易エキステンション

賣價 1臺分 ¥120,00

AA型・トラック乗合用



飯島式フロント補助スプリング

34-36年式V-8型、B型、A型 乗用、貨物両用

PATENT No. 162805

賣價 1臺分 ¥22,00

◎三五・七年型フォード・トラック用フロント補助スプリング在庫豊富。

各年式共充分に在庫して御座います。フロント・スプリングは特に年式を詳しく御申越下さい。

◇お買上げは貴地のフォード特約販売店で願ひます。

製作發賣元

飯

島

製

作

所

東京市世田谷區上馬町一ノ七八〇
電話 世田谷二六一〇番



東京は藏前橋 東 詰

三菱商事株式会社 燃料部
ダゴールオイル 江東一手販賣所
關矢式タイヤ修繕及リム修繕
グッドリッチタイヤ及パッチゴム販賣
タイヤ修繕用生ゴム製造販賣

關矢商店タイヤ一部

店主 關矢 虎之助

電話 墨田 (74) 〇八二九番

群馬縣館林町大街道
支店 小 堀 商 店 (乞御利用)

營業課目

優良フエンダー製作・卸
自動車・航空機鍍金工業一般

菅野製作所

東京・芝區海岸通二ノ五

電話 三田 (45) 〇四七〇番

各種特殊鋼材取扱販賣

馬場特鋼商會

馬場榮一

東京市京橋區京橋一丁目四番地 山中ビル

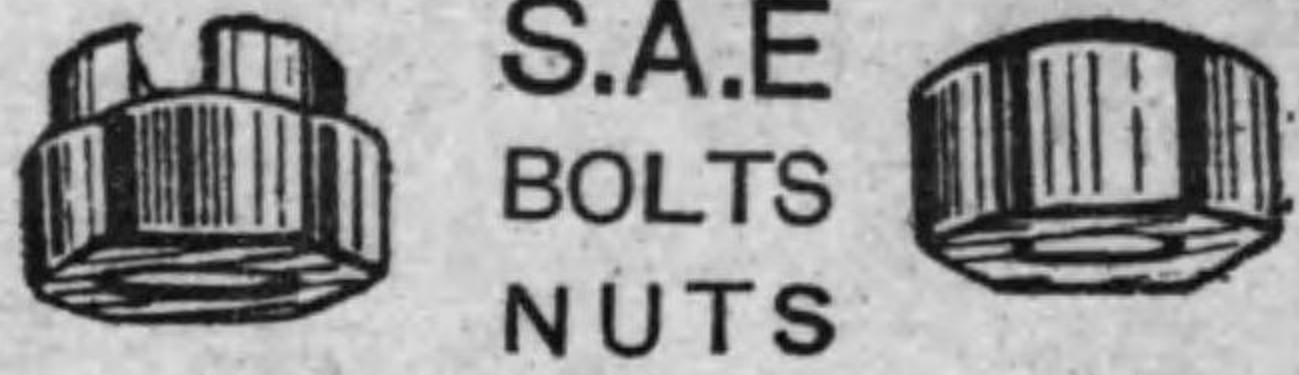
電話京橋(56)直一三九〇通・四〇五五・五三三七番

振替口座東京一六〇、六〇〇番

倉庫 東京市芝區沙留五番地

▽自動車用

ボルト・ナット



S.A.E
BOLTS
NUTS



▽は電話三田(45)〇五二六番へ

ボルト ナット 大廉價卸販賣

日本標準規格ボルト

B.B.B. 各種磨ボルト 専門
丸頭根角ボルト

S.A.E ボルト

スプリング・ワッシャ・リベット・ナット

輸入並に製作販賣

田中正三商店

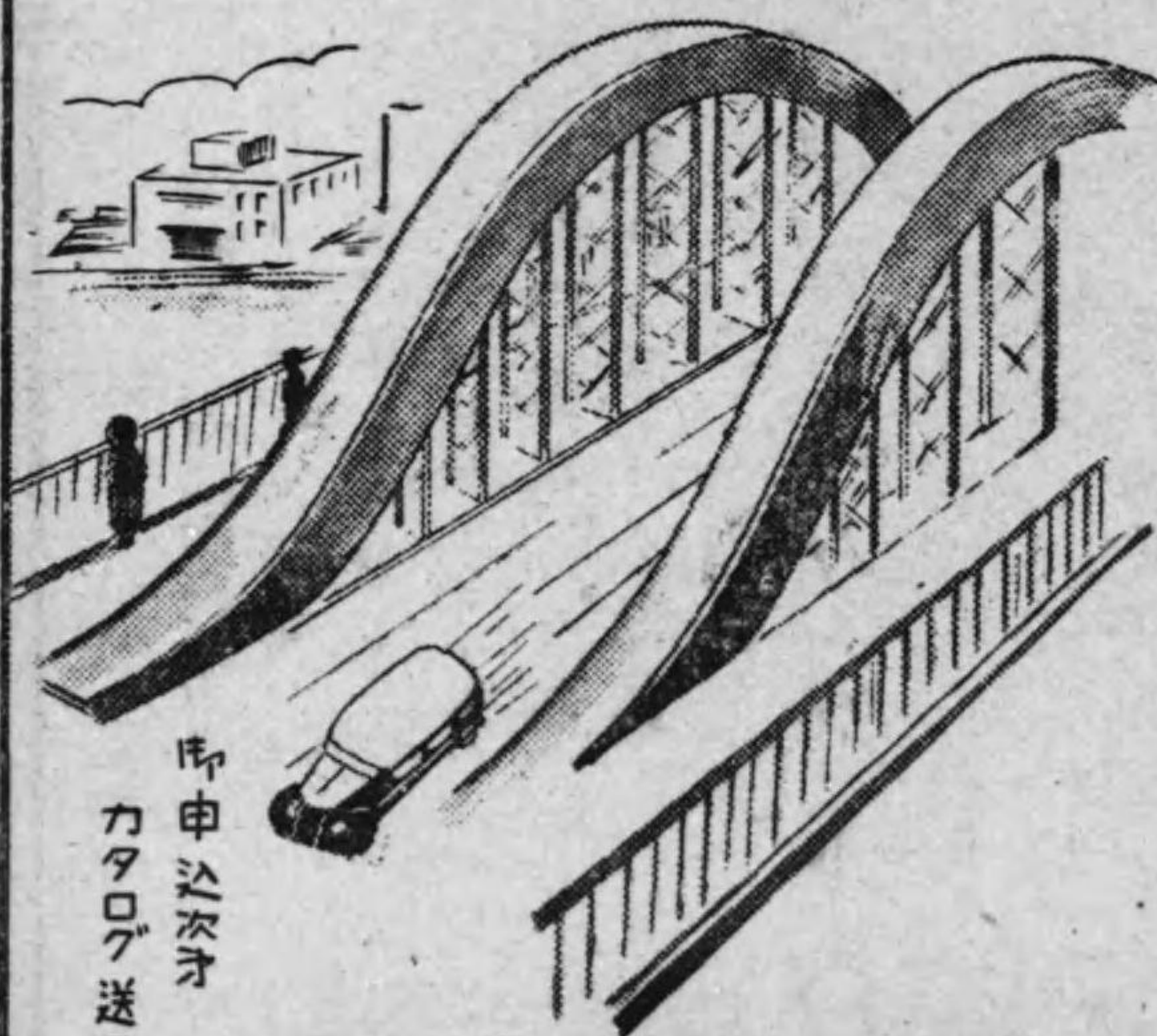
營業所 東京市芝區本芝一ノ一八電話三田(45) 0516番

工場 東京市蒲田區東六郷

各種自動車部分品 礦油販売

地方発送の迅速な店

在庫豊富



申次郎
カタログ送付

猪瀬商店

東京市深川區佐賀町一の二
電話本所 (73) 一四四四番
撥替東京 八七七五六番

自動車用 及 自動三輪車用

速度計・電流計
油壓計・溫度計
燃料計・回轉計
其他各種計器類

スターター スキツチ・スキツチ ボツクス

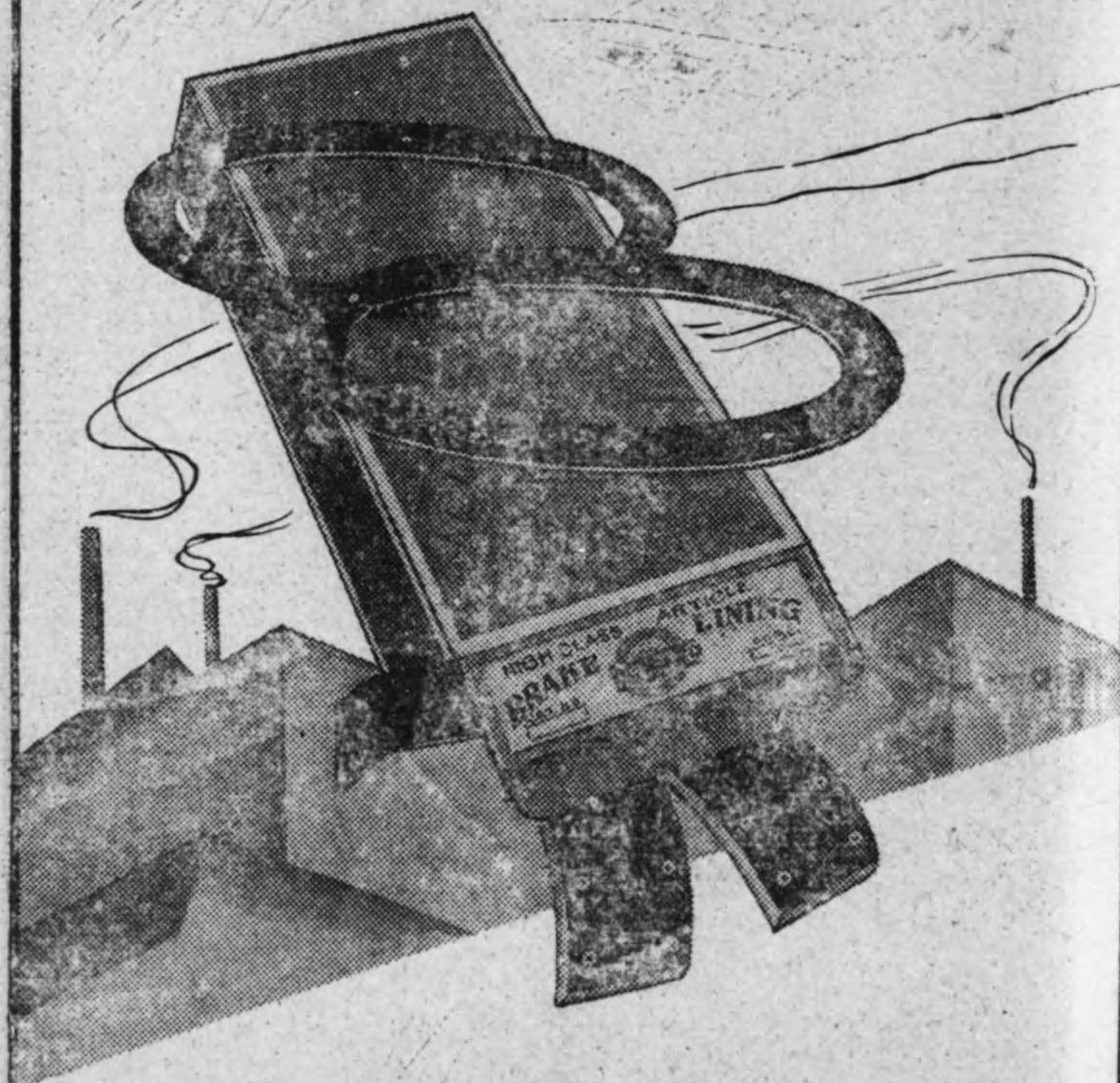
製造 販 賣

株 式 會 社

有 信 商 會

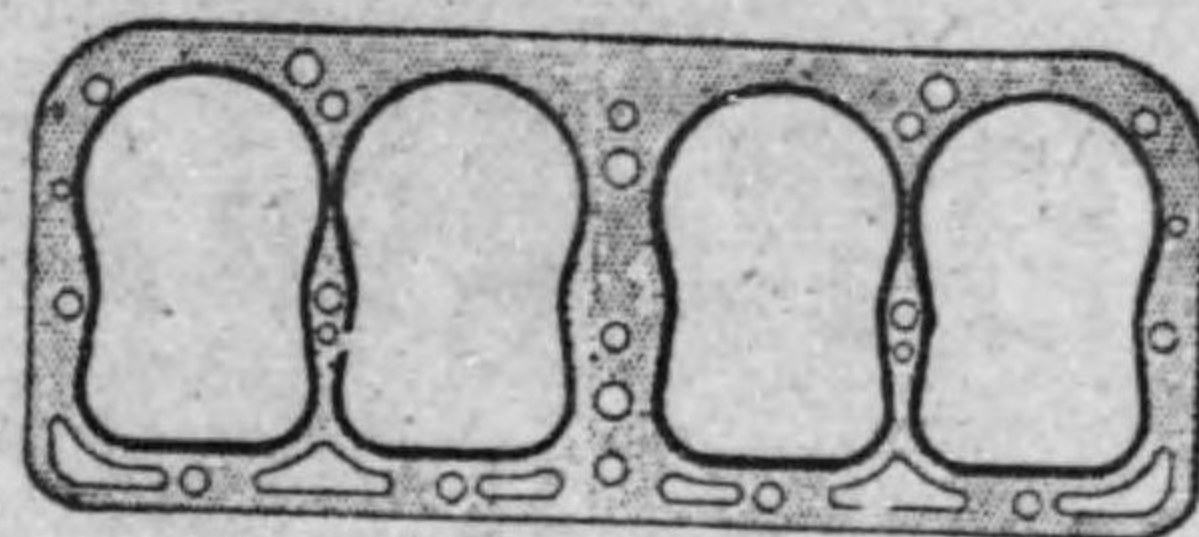
本社 東京市京橋區銀座貳丁目參番地
電話京橋 (56) 一九九三・七三一五番
工場 東京市蒲田區下丸子町一五四番地
電話蒲田 三八〇三番
支店 大阪市西區京町堀上通り一丁目三八番地
電話土佐堀 (44) 二六四七・一〇六一番

純国産品 ブレーキライニング



金剛石綿株式会社

本社 東京市芝區新橋三丁目一ノ九
電話 銀座(57)三四九七番
工場 東京市板橋區志村清水町四九五
電話 板橋九七八番



營業品目

自動車、飛行機、石油發動機用
ガasket、パッキング製作
ベルモイド、オイルシート
コルクシート、バンダーシート
自動車内燃機關部分品
拔型製作、プレス工業

東京ガasket合名會社

東京市蒲田區羽田本町一九二

電話 羽田一三二二番

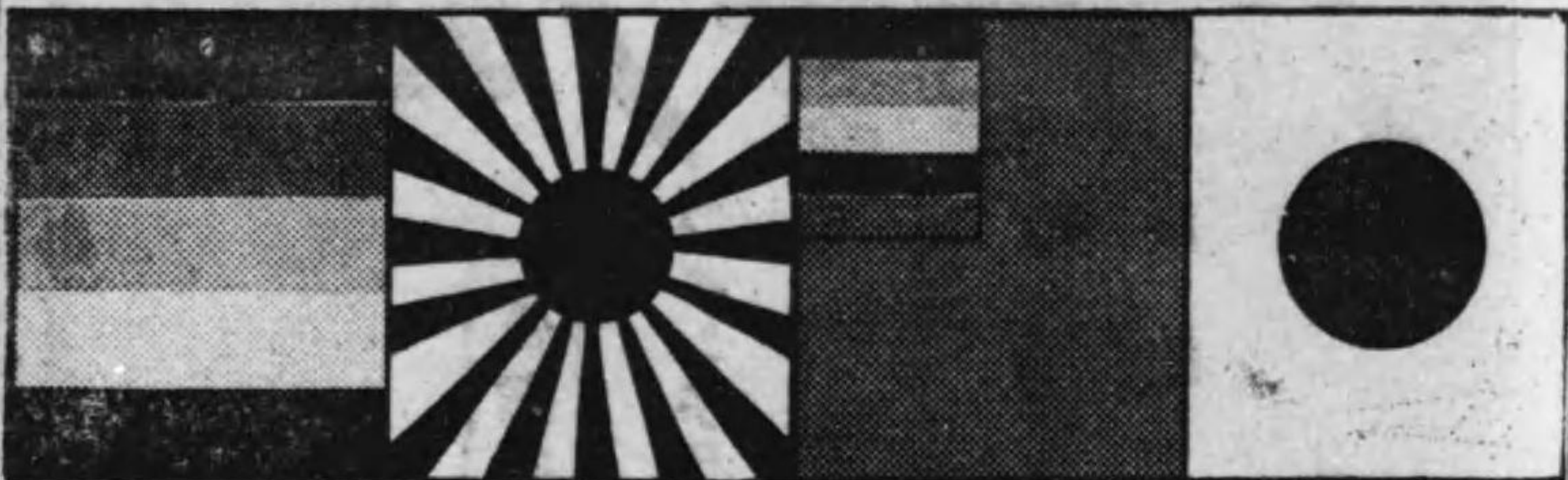
自動車鍛工品一式

製作販賣

橋本工業所

東京市京橋區月島仲通二の三
電話京橋(56)二〇六〇番

工業用自動車用ゴム一般製造加工



戦闘ノ花形

自動車用ゴム製品一般

事變統制強化中ナルモ

在庫豊富 製造迅速

國產自動車軍用自動車用品在型

ゴムエボナイト製品一般

尾久乃商店

東京市芝區新櫻田町十五番地

電話銀座〇一七三・二二九七番
振替口座東京 八七二四四番

工場(向島區隅田町一丁目一三〇三
向島區寺島町八丁目九七三)
特約工場 昭和護謨工業株式會社

特種製品

製紙染色ロール
タイヤ用フアンベルト
自動車用タイヤ用ゴム
高級ゴムホース及管
特殊ゴムタイヤ各種
玉突臺クッションゴム
エボナイト板棒型物
各種押出型物

フチンチラツカ

營業課目

フチンチラツカ
國防色塗料
高級焼付エナメル
其他特種塗料
塗裝機械
並部品

フチンチラツカ



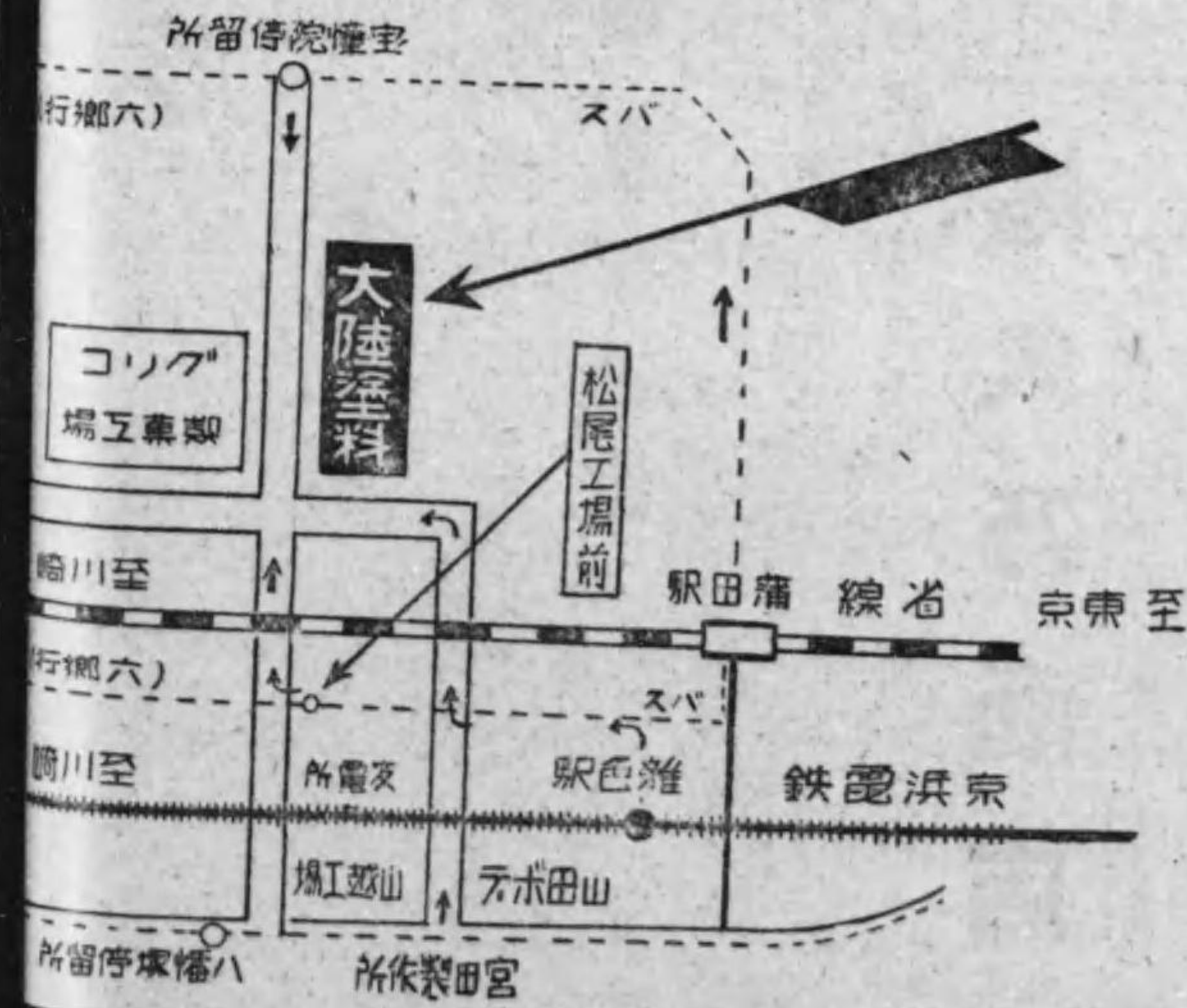
登録商標

大陸塗料工業株式會社

(旧フチンチラツカ會社)

東京市蒲田區西郷二ノ三番九
電話 蒲田四九七五番
振替口座東京二六一七三番

及營業所
塗裝機械
工場工作



省線バス—松尾前
宝幢院前
京浜線 雑色下車—徒歩五分

電機機械設計製作 精密電氣計器製作

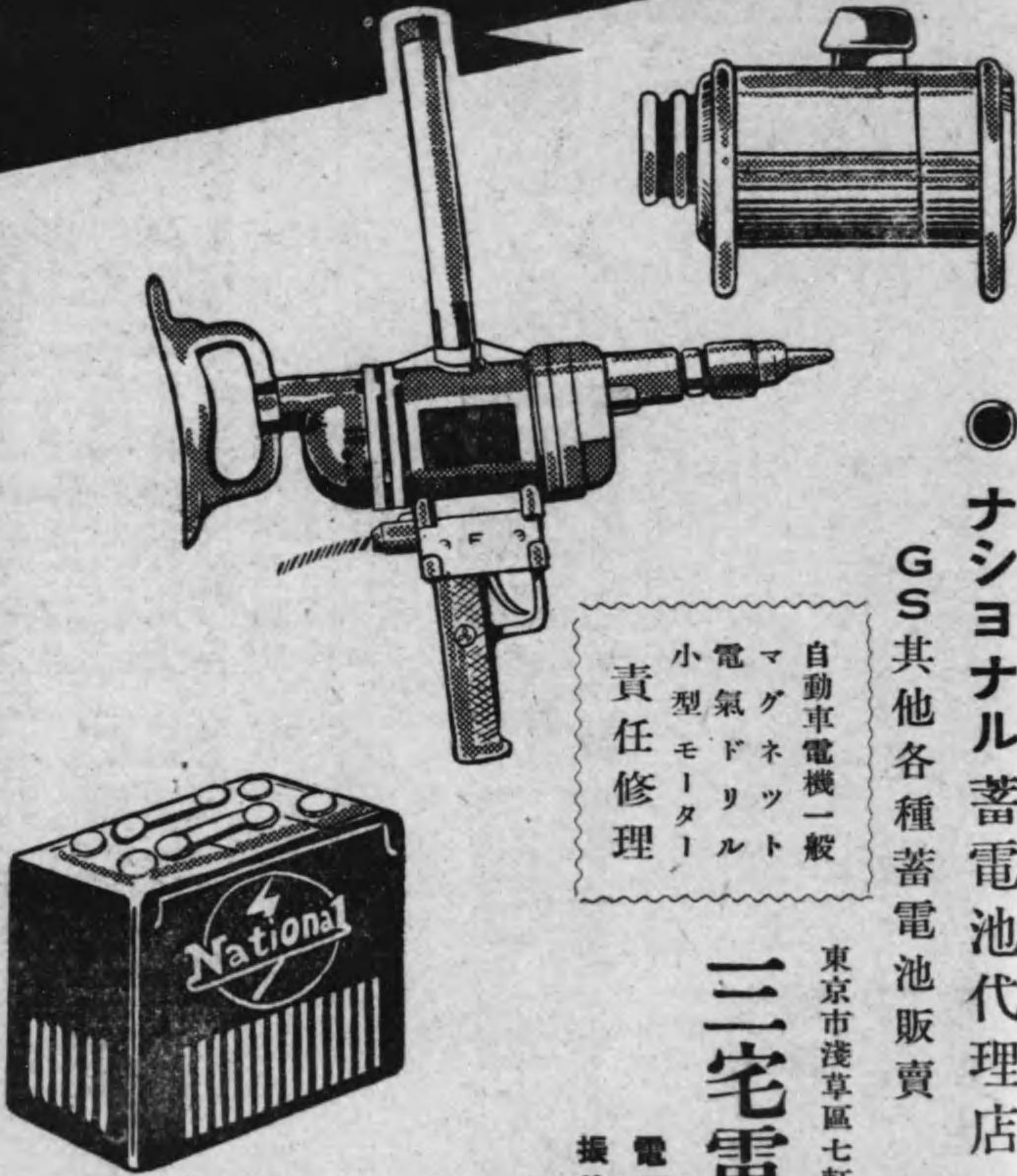
安全機器製作所

所長 大橋 衛

營業所

工場

東京市麴町區飯田町一ノ三(市電九段下下車) 堀留橋(實際)
電話九段(33)二六七四・三八四〇番
振替口座東京二八八二〇番
東京市板橋區志村前野町一一七〇
電話板橋一八四番 二三八番



● ナショナル蓄電池代理店 ●
GS 其他各種蓄電池販賣

自動車電機一般
マグネット
電氣ドリル
小型モーター
責任修理



三宅電氣工業所

東京市浅草区七軒町十番地(竹町電停隣)
電話 浅草 (84) 四五一九七番
振替東京 四七七六九番

内容本位の優良参考書

獨習者・研究者
受験者・必讀書

門馬孝吉著	高速チーゼル機關	定送 2.80 .21
奥泉少佐著	圖解一般自動車講義	5.00 .33
同	最新模範自動車教科書	3.50 .21
同	最新式自動車圖解全集	1.80 .21
同	最新自動車點燈始動裝置講義	3.80 .21
同	最新V型フォード自動車詳解	1.50 .15
同	受験用新型シボレー自動車詳解	1.50 .15
小山誠一著	圖解自動車故障並修理法	3.30 .21
奥泉少佐著	最新全國標準問題と答案の書方	1.70 .15
浅野清治著	最新自動車問題全集	1.50 .15
岡博高著	警視廳及各府縣自動車試驗問答	.90 .09
鈴木且美著	英和對譯最新自動車用語解説	.80 .06
梁瀬中尉著	最も要領を得たる最新自動車操縦法	1.00 .09
浅野清治著	最新ダットサン自動車取扱法	1.20 .15
岡博高著	最新オートバイの實際知識	3.00 .21
浅野清治著	圖解最新各種自動三輪車詳解	1.50 .15
同	最新オートバイ故障修理法	1.80 .15
月刊誌	自動車工学	毎月送料共31年ヶ年1.75 一ヶ年3.50 研究者・設計者・修繕業者・運轉者必讀書

著治清野淺

最新自動車教科書

版組新最

本書の特長

學問・式易い・系統的・直立的・説明・解り易い・圖解と表解・覚え易い・三段式説明・読み易い・對照・實物・教授・同様の圖解・試験合格本位の内容・初學者向の標準用い

菊大版五百餘頁
本綴布製箱入
定價 金三圓
送料 内地三十一錢
海外三十四錢
内容見本及目錄進呈

東京市芝区 三田一ノ二 德文堂書店 振替東京34160番 電話三田 3591番

東京之部

米國オートライト會社製品日滿代理店
小穴製作所製OE點火栓販賣代理店
大和合成油工業株式會社製品總發賣元
S・T・C・脂肪酸塗料總發賣元
理研ラツカ一製品販賣代理店
ペンゾイルモーターオイル代理店

其ノ他！自動車、船舶、航空機用品及
工具類各種並一般工業品



輸出入商

産業貿易商會

營業所

東京市麴町區丸ノ内丸ビル
電話丸ノ内(23)五六三八番

工場

東京市大森區大森九丁目
電話大森四三三五番



廣……六二

東京之部

絶対保証



燃たり
エーワイ

五十嵐商店
東京市京橋區銀座西五丁目
電話銀座(57)0536・4381

二葉商會
大阪市西淀川區清江北二丁目六
電話福島490494・4591

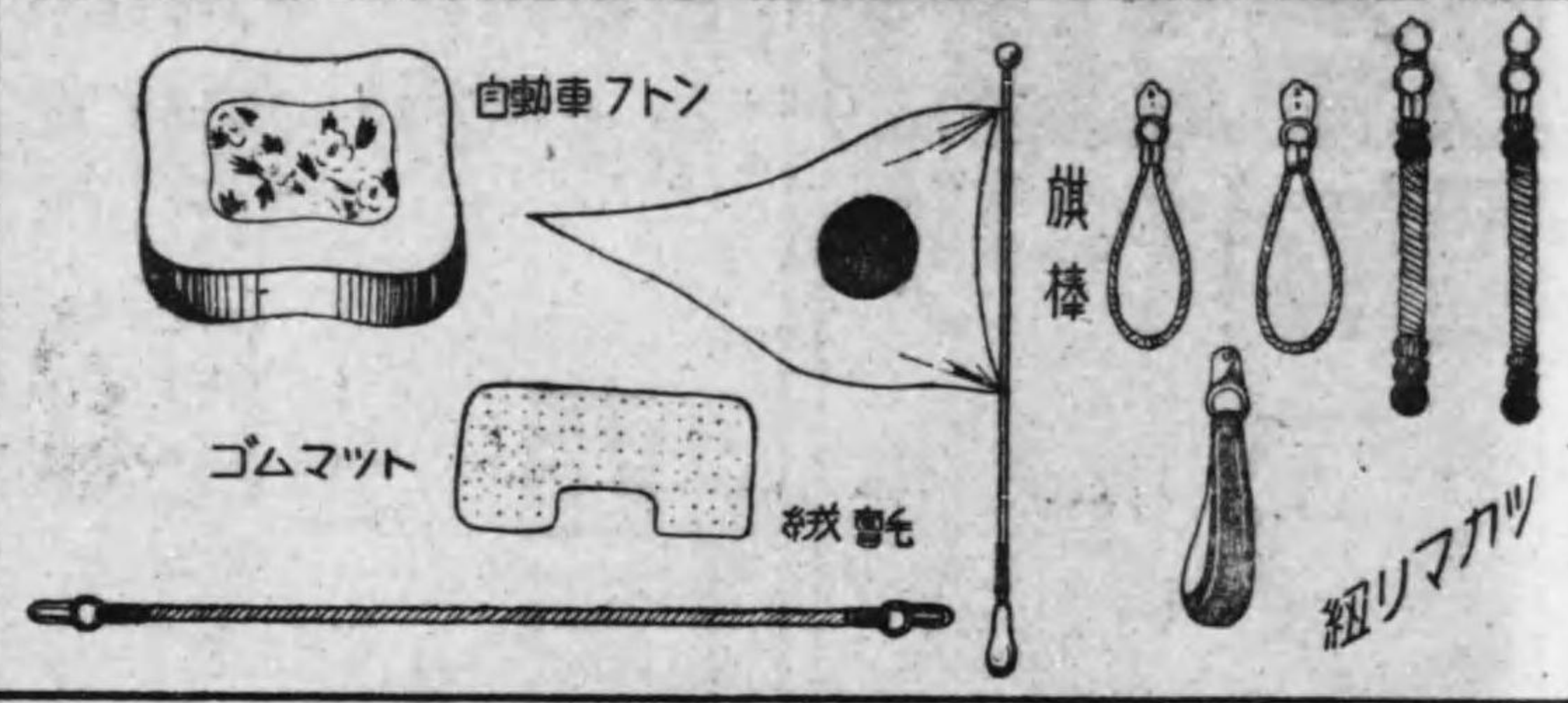
スパーク スラタ

製造元
大空社
名古屋

廣……六三

カバナーと敷物

東京之部



自動車航空機船舶裝飾用品一般

龜田製作所

營業所 東京市芝區南佐久間町一丁目二十六
電話芝(43)0649番 振替東京80372番

アートライトピストン

製
アート軽合金鑄造所
品



斯界最高權威
在庫豊富

明 治 商 會

明 治 商 會

東京市芝區田村町二ノ四
電話銀座(57) 四〇九三・六六一〇

廣六五

東京之部

自動車附屬品

製作

山口商店

東京市芝區今入町二四
電話銀座(57)三〇八三

關西ペイント株式會社
帝國塗料株式會社
大東京塗料株式會社
三共化學製品所

代理店

印塗料製造發賣元



川柳商店

東京市芝區金杉四丁目二十二番地
電話三田(45)三四五三番
振替口座東京二六一六番
工場東京市葛飾區堀切

廣六四

高級 改造 一面燒タイヤ

迅速勉強

サイズ種々あり 御照合ヲ乞フ

西原タイヤ商會

東京本所 芝大平町四・二九・電話 墨田五〇九二番

★用車動自★
★用車馬荷★

自動車 オートバイ 電氣パーツ



ボツシユ
スチツチ
(カタログ進呈)

直輸出入卸

柳澤商店

東京市麴町區内幸町二の廿二
電話 銀座(57)〇七三〇番

ワイヤー式高級國産
アポロ方向指示器

製作販賣

ブライト アポロ商會

東京營業所

東京市芝區琴平町三七
電話 芝(43)三三五〇番

大阪營業所

大阪市北區大融寺町一八
電話 北一 二五五番

工場

東京市芝區西芝浦三ノ一
電話 三田(45)一〇〇八番

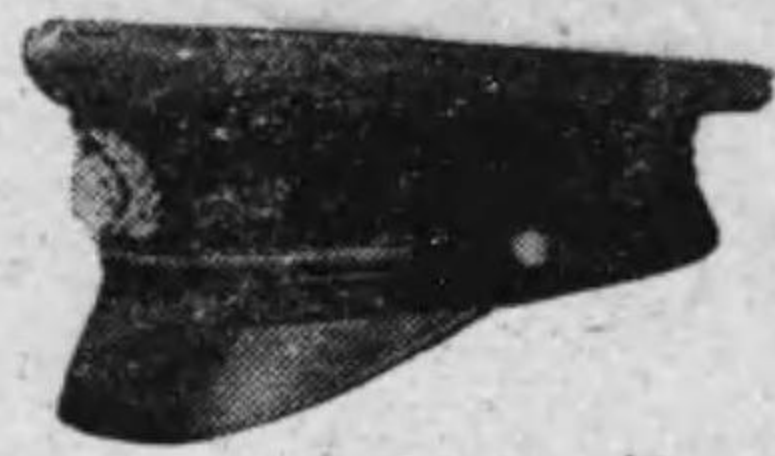


隅田ゴム工業所

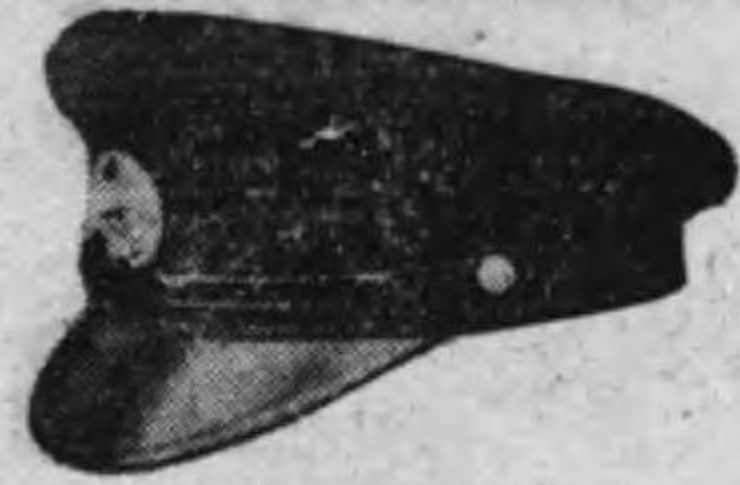
東京市淺草區清川町3の14 白鬚橋行十二間道沿
電話 淺草(84)3117番

東京之部

各自動車運轉者用帽子



八 流線型 ¥1.50 ヨリ .50上リ
號 ¥3.50 マデ



九 スピード型 ¥1.50 ヨリ
號 ¥3.00 マデ

御註文の節は伸縮せざるに紙は又紐るに計り御申
【呈進グロタカ】 (錢二料送) し度り成相越

全日本自動車学校・全日本乗合自動車組合指定

柴帽製造店

東京市芝区金三丁目二番地(電車通)
振替東京 九四八三番

レーンボー
ウインドクリナー
自動車用品製作

株式 株式会社 アトラス商會

東京市神田區五軒町二十二
電話 下谷 六九八三番
振替東京 一一八五四九番

廣...六九

旭 印



N.S Stable.
Spring.



Piston

ガソリンエンジン用
ディーゼルエンジン用

東京之部

發 賣 元

中 村 商 店

東京・京橋・築地二ノ二
電話京橋(56)四〇八一

自動車用・荷車用
高級再生

タイヤ

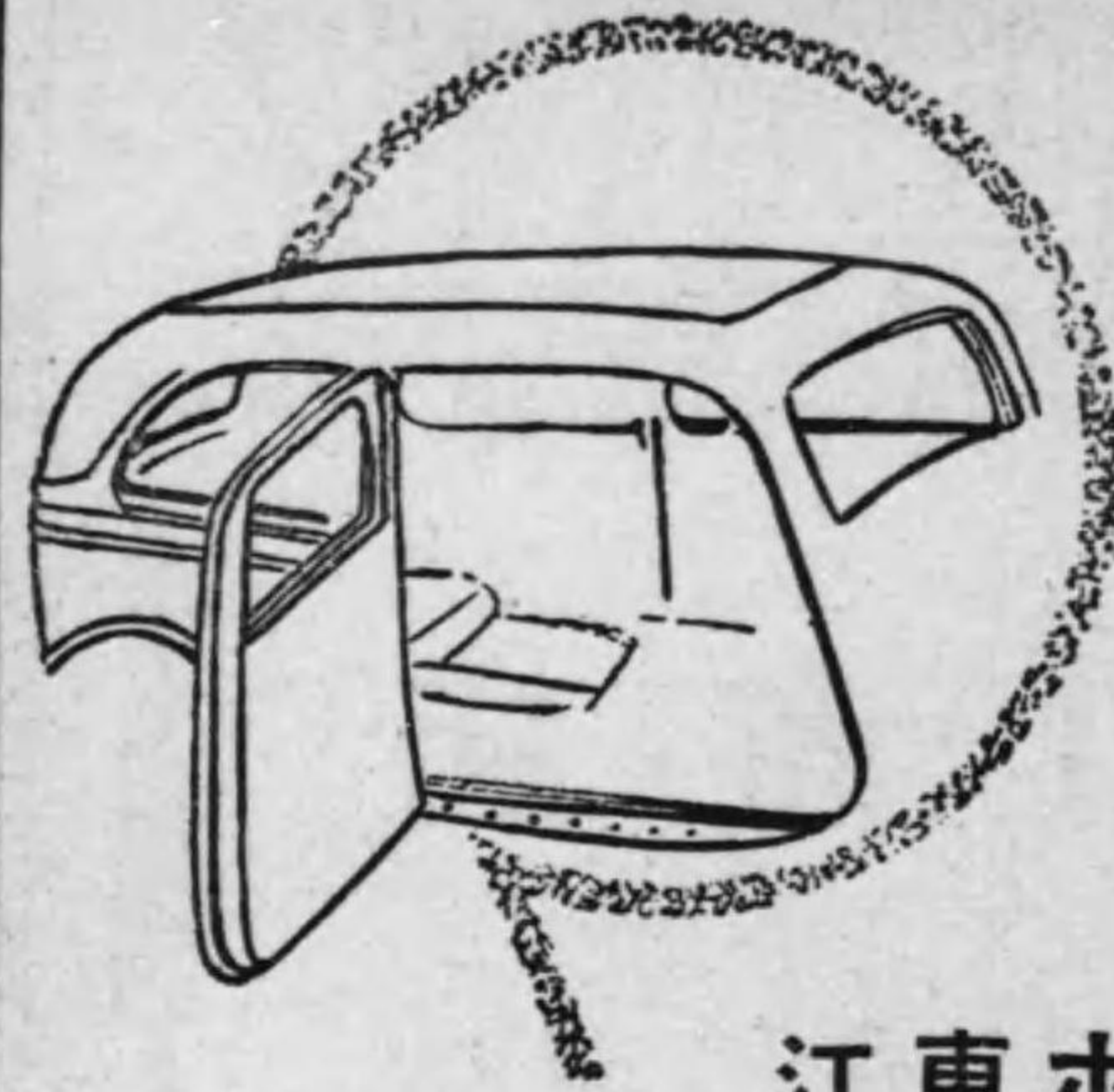


朝日ゴム工業所

東京市小石川區指ヶ谷町十八
電話 小石川(85)六〇四三番

地方注文歓迎

廣...六八



乗合自動車
高級乗用車
小型自動車
車室製作設計

江東ボデー製作所

江戸川区西小松川1813番地
電話墨田(74)4503番

各種自動車

新 古 賣 買

日比谷自動車取引所

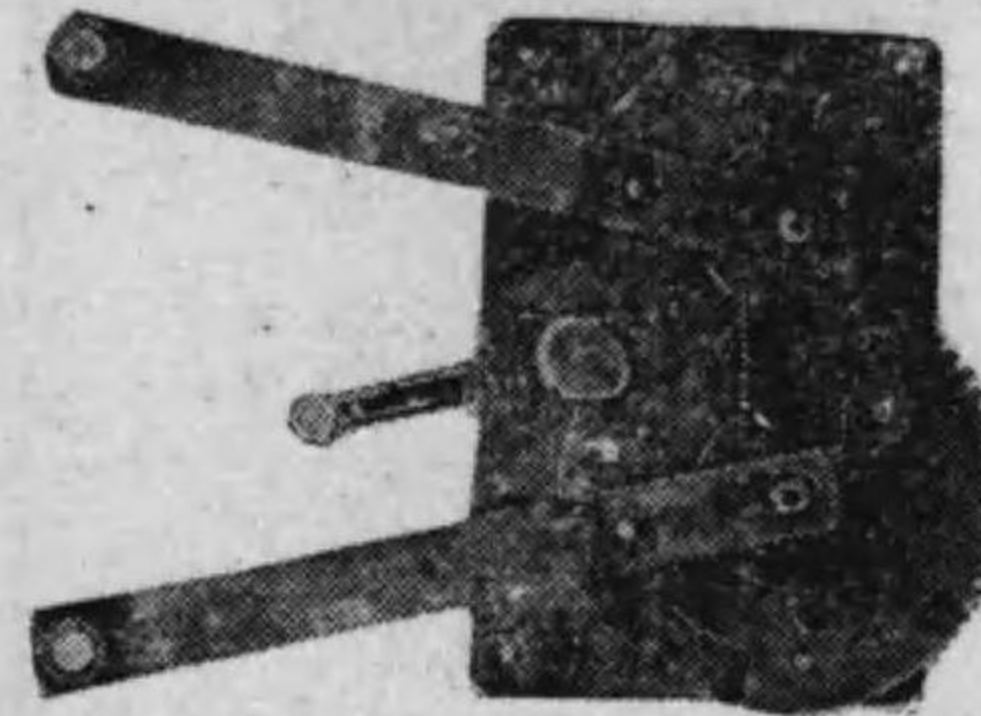
丸山道雄

麴町区内幸町一ノ六
(ヤナセ車庫内)
電話銀座(57)二八一六番

舶來ニ優ル國産ノ最高峰

日本ワイパー

レギュレーター



東洋一ノ製産能力

年産ワイパー 十二萬個
レギュレーター 十一萬個

日本ワイパーニ株式会社

本社 東京市麴町区有樂町二丁目二番地
電話銀座(57)二二三四
工場 東京市蒲田區安方町六一九番地

中古自動車
中古發動機
解體部分品
マグネツト
販賣修理

東京市本所區堅川町二丁目二番地

松本商店

電話本所(73)五〇三五番
振替口座東京一〇八七四四番

ヤスリ・工具・ベルト類
各種捻子型と刻印類



横山商店

東京市芝區南佐久間町一ノ五〇

電話芝(43)二八八四番

振替東京一一七〇六七番

東京自動車工業株式會社指定工場

日本自動車株式會社指定工場

自動車及各種内燃機關修理

改造並部分品製作販賣

虎の門

オートサービス・ステーション

竹内商會

東京市芝區田村町三十四番地

電話芝(43)〇七四三

オオダ
ー
ッ
ト
ト
三
輪
バ
サ
車
イ
ン

上値買入

石橋サイクル商會

東京市本所區豎川二ノ六
電話本所(73)二二〇一一

イバトーオ

ガレツガ
ソツーソ
及グルリ
オシホン
イルーツ
パイパル
ブドク

作製

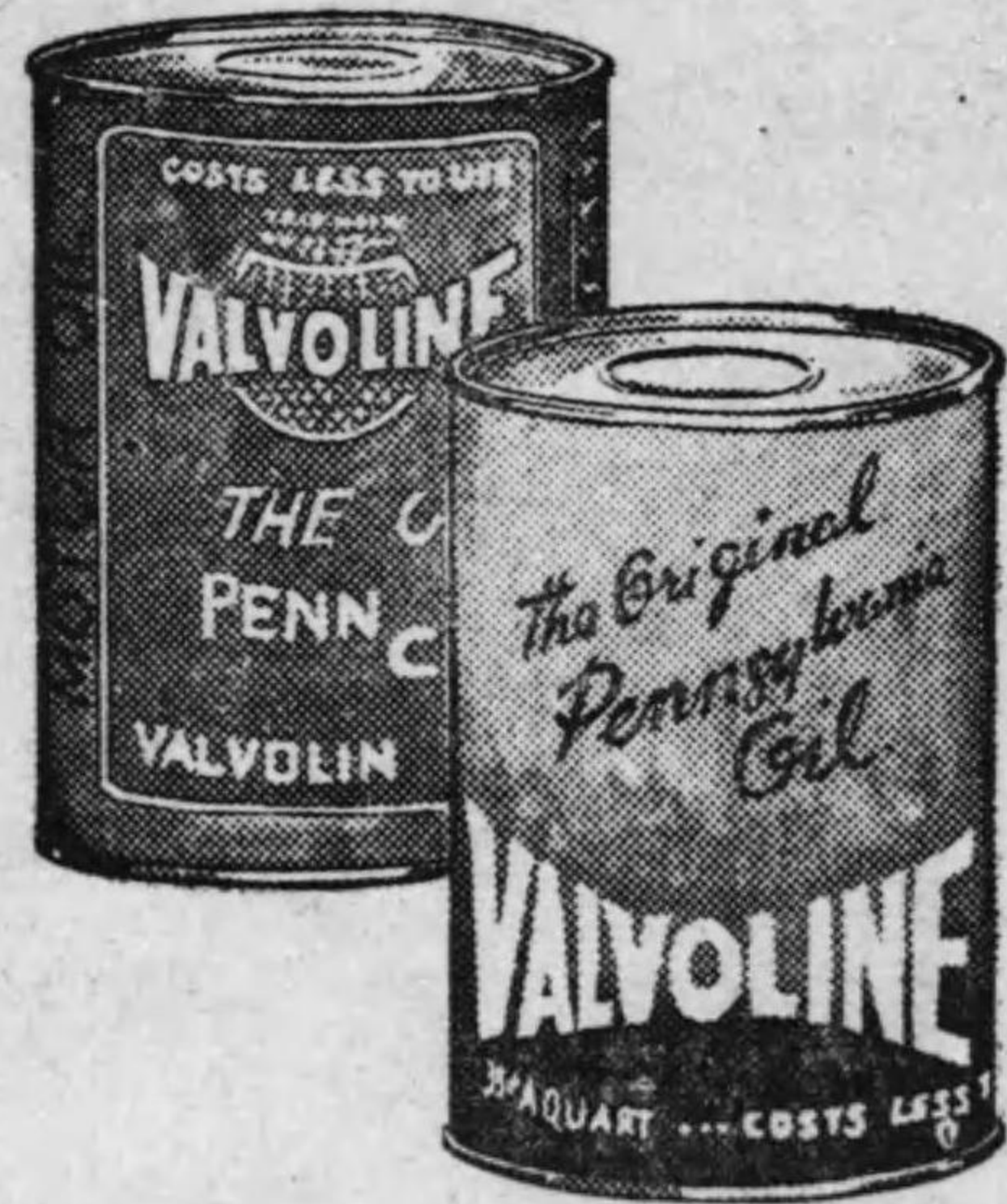
仲村定吉

麴町區土手三番町三番地
電話九段八五五番

斗泰のルイオーターモ 峰高最の異驚界斯

ンリボルバ

「バルボリン」ノ名稱ハ夫レ以上ニ「ペンシ
ルバニア、オイル」ノ中ノ最優秀油ナリ
トノ代名詞デアアル



「ペンシルバニア、オイル」ト言ヘバ良キ油ヲ
意味スルガ.....

店商木青



五ノ四圖公芝京東 店本
番六七七一(43)芝話
前門天二道馬草淺 店支一第
一ノ三ノ八町換橋京 店支二第
五町本宮市崎川 店支三第

東京市麴町區丸ノ内一丁目六

愛國石油株式會社

電話丸ノ内(23)

二	八	三	五
五	三	四	八

製油所 川崎市扇町八番地

品商般一

銅 鐵 車 鐵
自 動 車 品
解 體 品
ト ラ ッ ク
ト ラ ッ ク
デ ー ゼ ル エ ン ジ ン
ガ ソ リ ン 機 關 車

川田久三郎商店

東京市京橋區新佃東町一ノ五
(電車停留所前)
電話京橋(56)一六六九番

ボールベアリング
ローラー 製作

工場用



機械用

(カタログ進呈)

各種修理應需

東京市本所區豎川町四丁目六

資社 小島精工所
合會

電話本所 (73) 1033番

東京之部

廣...七七

純国産



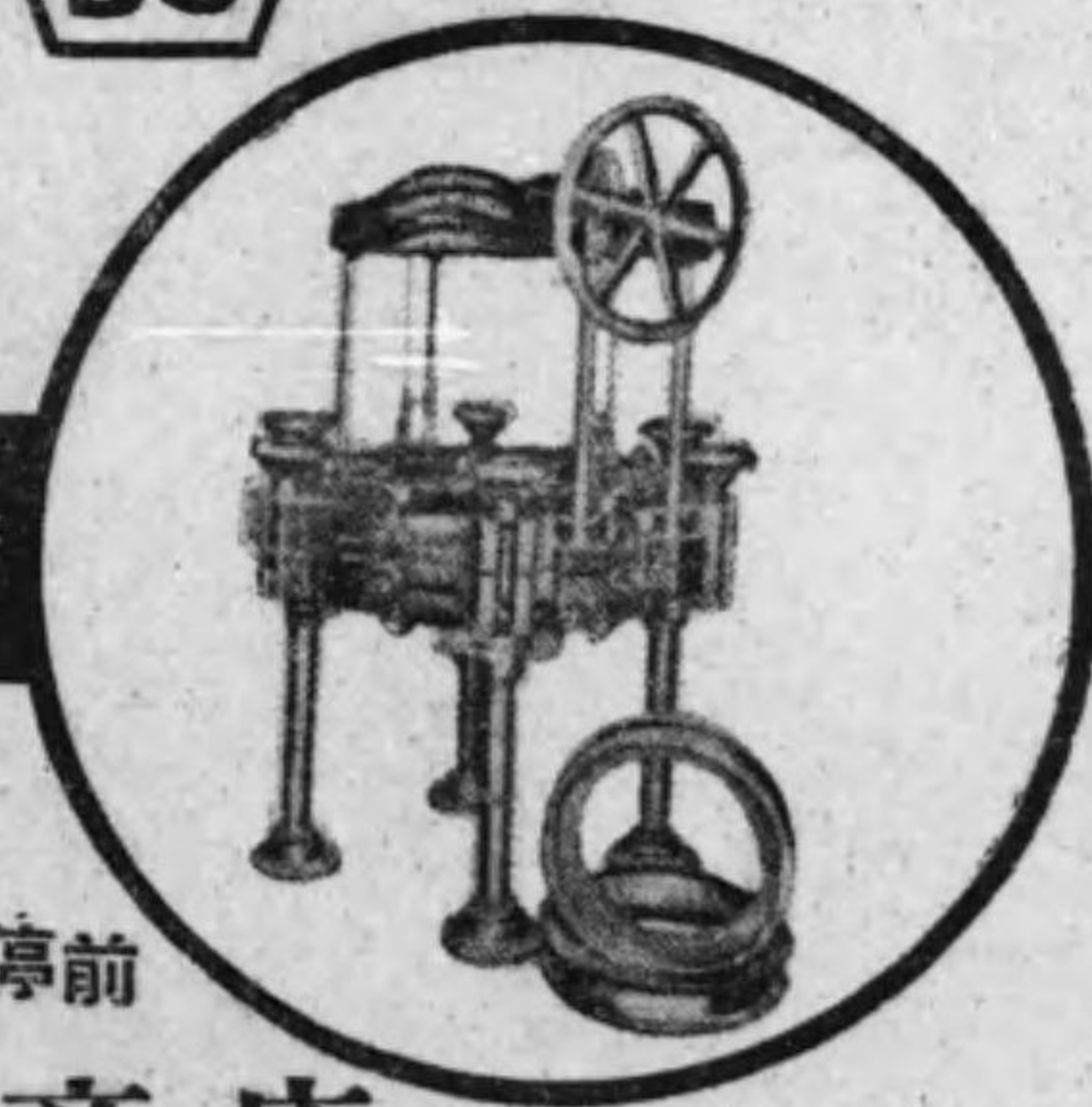
日本の誇り



福原式
タイヤ再生機

最高級標準型機械
一回焼・回轉焼・部分焼

新カタログ進呈



東洋唯一のタイヤ機械専門店

東京・神田・松永町・電停前

福原竹利商店

電話 下谷 (83) 五九二七番
振替東京 120212番

東京之部

廣...七六

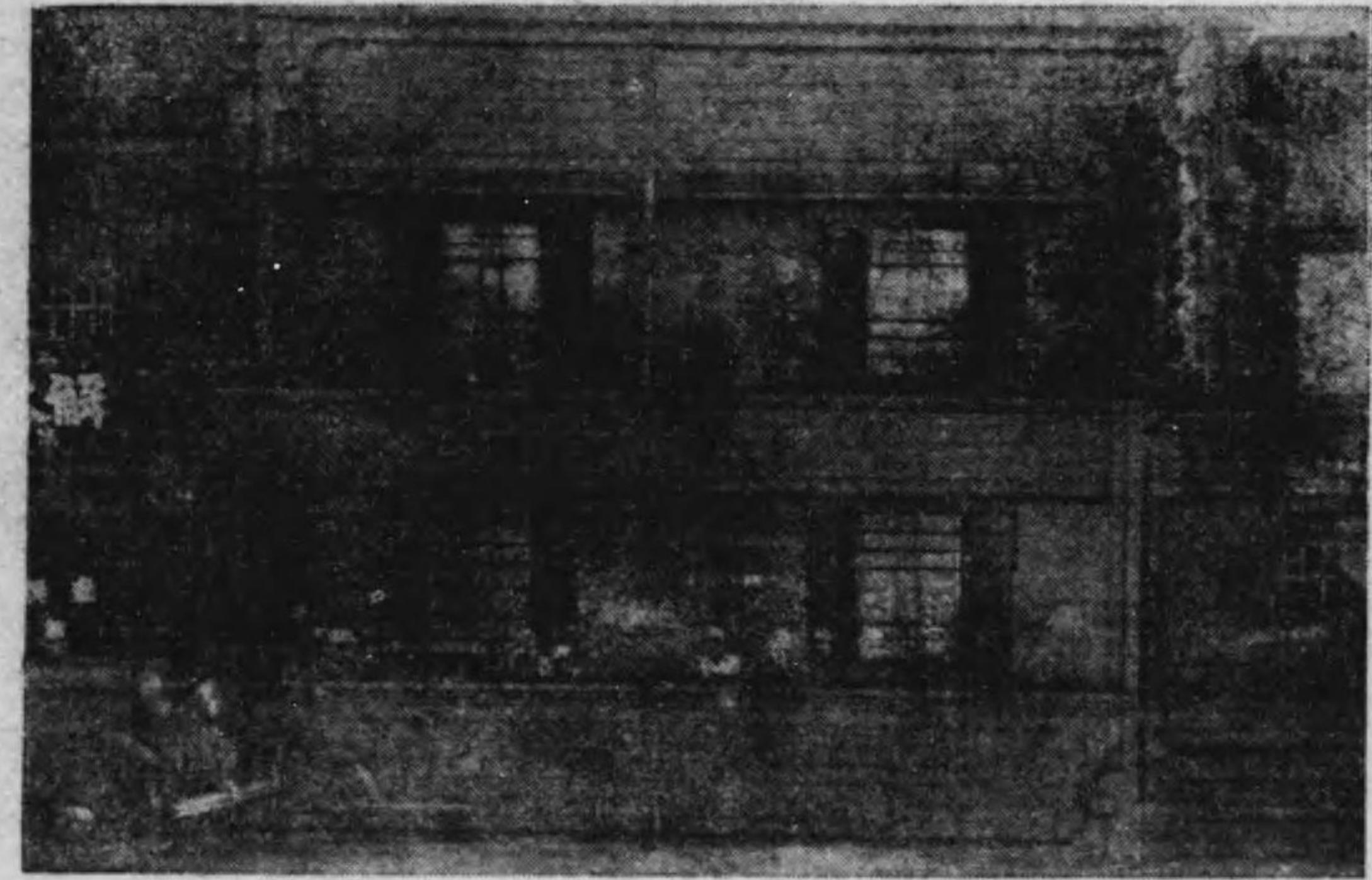
在庫品豊富な解体パーツ

中古自動車動力用ガソリンエンジン

荷馬車用手車用デフ車輪

バッテリー・セル・ダイナモ

マグネツト電機一般



地方御注文の御方には帽子進呈

大谷商店

(電機部同番地)

東京市本所區豎川一ノ六

電話本所(73)五九九五

振替口座東京一一八六六一

東京之部

廣...七八

新古自動車賣買

營業項目

各官廳並ニ自家用物
英國製オースチン並各種小型
各種貨物自動車

出 在 庫 豐 富
物

會 社 資 三 和 自 動 車 商 會

特殊部分品
並ニ用品 製作販賣

東京市芝區櫻川町一〇番地

電話芝(43)二二六一番

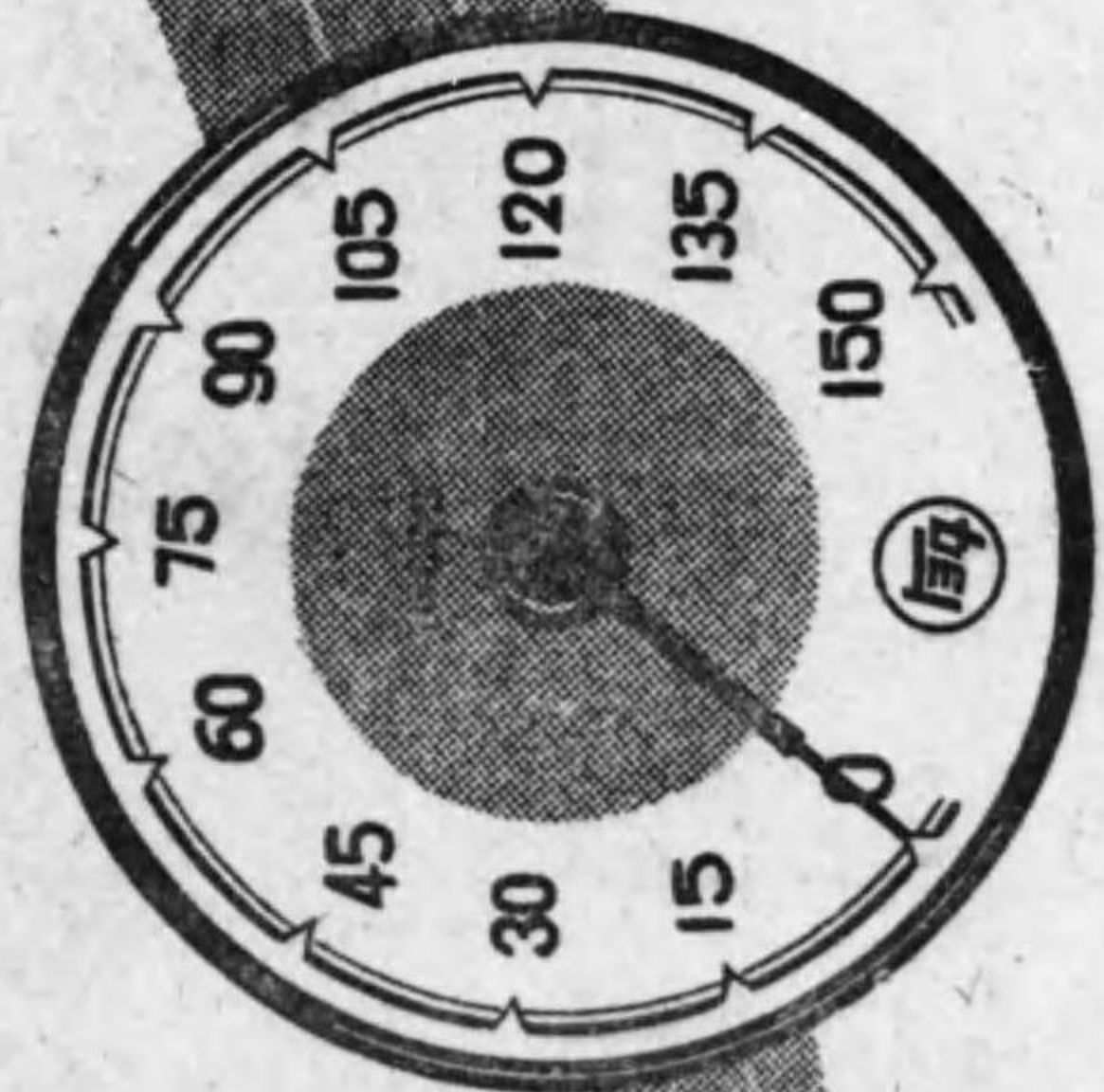
代表者 池田隆治

東京之部

廣...七九

東洋時計株式會社

東京市下谷區上野元町門牌九號



自働車計時器

工商省認定

に於いては一六、八三六、一秤、旅客列車計
 一一四、〇四九、一五八秤、貨物列車六秤
 四九九九、二二〇秤となり、營業收入内額は
 旅客收入が五四パーセント、貨物收入が四四
 パーセント、残り二パーセントが其の他の收
 入一九一、六三五、二二四圓、貨物運輸成績
 は貨物輸送噸數八一、〇三九、一三四噸、貨
 物噸秤一四、〇一一、七一、五二秤、貨
 物運賃二五、三四三、一三八圓雜收二、七
 五八、五二圓、總貨物收入二八、一〇
 一、七五四圓で嘗てない貨物の好績を收めて
 居る。

運賃一、四七四、三八七圓、小荷物運賃一九
 四八〇、六一七圓、郵便物運賃二、七八〇、
 六九八圓、入場料金一、八六三、四〇七圓、
 雜收一、七〇三、八〇九圓、以上の如き旅客
 運輸收入を舉げ總體に素晴らしい好績を收め
 て居る。七鐵道局の内筆頭は勿論東京鐵道局
 が握つて居るもの、各鐵道局に於ても積極的
 に旅客貨物の誘致に努力した結果何れも近來
 ない好成绩を舉げて居る。旅客平均營業料

鐵道、軌道

概況 本年度(十一年度)に於ける鐵道
 旅客運賃成績は旅客輸送人員一、〇五八、六
 三〇、七一一日平均旅客輸送人員一、九〇
 〇、三五八旅客人秤二六、一六一、一五四、
 五六五秤手荷物噸數三、九九五、七一九噸小
 荷物噸數六八、八〇一、〇四三噸以上の數量
 で運輸收入は二八七、〇六七、七九六圓の旅
 客運賃、入場料金三、一六一、〇八二圓、
 急行料金八、二二七、五八七圓、手荷物

鐵道線路名稱區間及營業料(其ノ一)(十二年三月末現在)

州名	區名	間名	營業料 秤分
東海道	東海道本線	東京神戶間、鶴見橫濱港間、	六三・一
		横濱大塚間、大塚美濃赤坂	四三・四
		間、東神戶港間及貨物支線	三三・三
		東神戶八王子間	三三・三
		大船橋須賀間	三三・三
		國府津(御殿場、沼津間)	三三・三
		熱海網代間	三三・三
		伊豆東	三三・三
		二俣西	三三・三
		武藏野	三三・三
北陸線	北陸本線	米原直江津間、敦賀敦賀港	三〇・〇
		間及貨物支線	三〇・〇
		敦賀新舞鶴間	三〇・〇
		金津一國港間	三〇・〇
		津幡輪島間及貨物支線	三〇・〇
		伏木城端間	三〇・〇
		伏木水端間	三〇・〇
		能町新湊間	三〇・〇
		糸魚川小瀧間	三〇・〇
		越前	三〇・〇
高山線	越前本線	岐阜富山間	三三・八
		美濃、下田北濃間	三三・八
		中央線	三三・三
		中央本線	三三・三
		中央線	三三・三
		中央本線	三三・三
		中央線	三三・三
		中央本線	三三・三
		中央線	三三・三
		中央本線	三三・三

昭和 年度	計	大正元年度 比としたる		一日平均 旅客收入	一軒一日 平均旅客 收入	列車一軒 平均旅客 收入	一車一日 平均旅客 收入	客車一軒 平均旅客 收入	一人平均 旅客運賃	一人一軒 平均旅客 運賃
		比	率							
一	二六、一九、九〇〇	〇〇	〇〇	七九、三五	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
二	二七、一五、三二六	〇〇	〇〇	七九、八三	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
三	二六、五三、八三二	五五	五五	七八、七四	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
四	二七、〇〇、三九	五四	五四	七四、四七	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
五	二五、〇六、三〇	四〇	四〇	六九、八六	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
六	二九、九一、七三	四三	四三	六九、六〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
七	三三、八七、二九	四〇	四〇	六九、四七	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
八	三三、〇〇、九六	四〇	四〇	六九、四七	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
九	三二、〇〇、三〇	三五	三五	七〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
十	三二、〇〇、三〇	三五	三五	七〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇
十一	三二、〇〇、三〇	三五	三五	七〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	〇〇

鐵道貨物運輸成績 (其ノ三)

(昭和十一年度)

昭和 年度	貨物輸送總數	大正元年度 比としたる		一日平均 貨物輸送 總數	貨物 總噸	大正元年度 比としたる		一週平均 輸送噸	一軒一日 平均貨物 輸送總數	列車一軒 平均貨物 輸送總數	貨車一軒 平均貨物 輸送總數
		比	率			比	率				
一	七、七〇、〇〇〇	三三	三三	二〇、八七	二、八七、七〇	三〇	三〇	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
二	六、六三、二六八	二八	二八	二〇、八四	二、四三、五九	二八	二八	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
三	七、九三、九〇九	三三	三三	二〇、八四	三、九三、九〇	三〇	三〇	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
四	七、三三、八〇〇	三二	三二	二〇、八四	三、三三、八〇	二八	二八	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
五	六、〇〇、〇〇〇	二六	二六	二〇、八四	二、〇〇、〇〇	二六	二六	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
六	六、〇〇、〇〇〇	二六	二六	二〇、八四	二、〇〇、〇〇	二六	二六	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
七	六、〇〇、〇〇〇	二六	二六	二〇、八四	二、〇〇、〇〇	二六	二六	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
八	七、〇〇、〇〇〇	三〇	三〇	二〇、八四	二、〇〇、〇〇	二六	二六	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
九	七、〇〇、〇〇〇	三〇	三〇	二〇、八四	二、〇〇、〇〇	二六	二六	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
十	七、〇〇、〇〇〇	三〇	三〇	二〇、八四	二、〇〇、〇〇	二六	二六	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇
十一	七、〇〇、〇〇〇	三〇	三〇	二〇、八四	二、〇〇、〇〇	二六	二六	一、八八	二、五五	二、五五	六、〇〇

一、運輸收入は純收入を計上す
三、十一年度以降特殊事情により發表なし

同 鐵 道

(其ノ一)

運 輸

收 入

年度	東 大 廣 門 仙 札									
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
貨物運賃	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350
雜 收	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870
計	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220
大正元年 比として 率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
一日平均 貨物收入	55,550	55,550	55,550	55,550	55,550	55,550	55,550	55,550	55,550	55,550
一日平均 貨物收入	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220
一列車平均 貨物收入	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220
一車平均 貨物收入	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220
一車平均 貨物收入	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220	3,595,220
一均貨物 運賃	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350
一均貨物 運賃	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350	2,000,350

年度	東 大 廣 門 仙 札									
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
米	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700
麥	77,400	77,400	77,400	77,400	77,400	77,400	77,400	77,400	77,400	77,400
大豆	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700	2,123,700
木	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000
木材	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,600,000
木	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870	1,594,870
薪	4,995,000	4,995,000	4,995,000	4,995,000	4,995,000	4,995,000	4,995,000	4,995,000	4,995,000	4,995,000

鐵道軌道

一、大正八年度以降は曆年に依る數量を示す
 二、本表數量は省及連帶線發着のものにして省線を輸送したるものを計す
 三、鹽乾魚、活鮮魚、小麥粉(但し昭和元年に限り貸切扱のみ)、味噌醬油、綿絲、綿織物に對する數量は小口扱、貸切扱の合算を計し其の他は貸切扱のみの數量を計す
 四、十三年度以降特殊事情により發表なし

鐵道

昭和年度

昭和年度	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
活鮮魚	七〇、三〇〇	七〇、一八〇	六九、九一〇	六九、七五〇	六九、六〇〇	六九、四五〇	六九、三〇〇	六九、一五〇	六九、〇〇〇	六八、八五〇
小麥粉	三九、九〇〇	三九、六〇〇	三九、三〇〇	三九、〇〇〇	三八、七〇〇	三八、四〇〇	三八、一〇〇	三七、八〇〇	三七、五〇〇	三七、二〇〇
砂糖	四七、六〇〇	四七、三〇〇	四七、〇〇〇	四六、七〇〇	四六、四〇〇	四六、一〇〇	四五、八〇〇	四五、五〇〇	四五、二〇〇	四四、九〇〇
味噌	三九、九〇〇	三九、六〇〇	三九、三〇〇	三九、〇〇〇	三八、七〇〇	三八、四〇〇	三八、一〇〇	三七、八〇〇	三七、五〇〇	三七、二〇〇
味噌油	三九、九〇〇	三九、六〇〇	三九、三〇〇	三九、〇〇〇	三八、七〇〇	三八、四〇〇	三八、一〇〇	三七、八〇〇	三七、五〇〇	三七、二〇〇
人造肥料	九二、八〇〇	九二、六〇〇	九二、四〇〇	九二、二〇〇	九二、〇〇〇	九一、八〇〇	九一、六〇〇	九一、四〇〇	九一、二〇〇	九一、〇〇〇
豆粉肥料	一〇、一〇〇	一〇、〇〇〇	九、九〇〇	九、八〇〇	九、七〇〇	九、六〇〇	九、五〇〇	九、四〇〇	九、三〇〇	九、二〇〇
鐵及鋼	七二、〇〇〇	七一、八〇〇	七一、六〇〇	七一、四〇〇	七一、二〇〇	七一、〇〇〇	七〇、八〇〇	七〇、六〇〇	七〇、四〇〇	七〇、二〇〇
鹽	五八、一〇〇	五八、〇〇〇	五七、九〇〇	五七、八〇〇	五七、七〇〇	五七、六〇〇	五七、五〇〇	五七、四〇〇	五七、三〇〇	五七、二〇〇
鹽乾魚	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇
石炭	三三、七〇〇	三三、六〇〇	三三、五〇〇	三三、四〇〇	三三、三〇〇	三三、二〇〇	三三、一〇〇	三三、〇〇〇	三二、九〇〇	三二、八〇〇
石油	五八、〇〇〇	五七、九〇〇	五七、八〇〇	五七、七〇〇	五七、六〇〇	五七、五〇〇	五七、四〇〇	五七、三〇〇	五七、二〇〇	五七、一〇〇
砂利	四九、〇〇〇	四八、九〇〇	四八、八〇〇	四八、七〇〇	四八、六〇〇	四八、五〇〇	四八、四〇〇	四八、三〇〇	四八、二〇〇	四八、一〇〇
石材	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇

鐵道局別 (昭和十年度)

昭和年度	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
海産物	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
其他肥料	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
綿	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇	四三、〇〇〇
綿織物	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
セメント	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇
煉瓦	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
和洋紙	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇
道	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇

昭和 年度	鐵路	地方鐵道車輛現在數		客車		貨車		計	
		輛數	總重量	輛數	定員	有蓋	無蓋		輛數
一	八三	八三	三、七四七	二、九八九	一、六〇九	六、六八九	六、六八九	一〇、〇五五	四、六八六
二	八六	八六	三、七四五	三、二九二	一、八四三	六、〇九二	六、〇九二	一〇、一六一	四、六八六
三	九二	九二	三、九七九	三、六四四	一、八四三	六、四八七	六、四八七	一〇、五八二	四、六八六
四	九七	九七	四、〇七六	三、七六一	一、八四三	六、八八〇	六、八八〇	一〇、六八三	四、六八六

昭和 年度	鐵路	地方鐵道	客車	貨車	計
一	八三	八三	二、九八九	六、六八九	一〇、〇五五
二	八六	八六	三、二九二	六、〇九二	一〇、一六一
三	九二	九二	三、六四四	六、四八七	一〇、五八二
四	九七	九七	三、七六一	六、八八〇	一〇、六八三

昭和 年度	鐵路	地方鐵道	客車	貨車	計
一	八三	八三	二、九八九	六、六八九	一〇、〇五五
二	八六	八六	三、二九二	六、〇九二	一〇、一六一
三	九二	九二	三、六四四	六、四八七	一〇、五八二
四	九七	九七	三、七六一	六、八八〇	一〇、六八三

一、嚴島巡遊航路一五哩及宇野内海間二四哩、高松内海間一七哩の季節的三航路並に臨時航路は所屬汽船なきを以て本表に計上せず
二、本表には借入船を含み貨渡船は含まず

昭和 年度	鐵路	汽船		汽船		汽船		計
		總噸數	定員	總噸數	定員	總噸數	定員	
一	九三	九三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二	九七	九七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三	一〇一	一〇一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四	一〇五	一〇五	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

昭和 年度	鐵路	汽船	汽船	汽船	計
一	九三	九三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二	九七	九七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三	一〇一	一〇一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四	一〇五	一〇五	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

一、本表には借入船を含み貨渡船は含まず

昭和十年末現在開業軌道營業狀況

「△」は開損金を示す

△電 氣

地方	營業者	營業收入	營業支出	差引營業 純益金
北海道	帝國電力	40,000円	55,850円	15,850円
	札幌市電氣局	7,840	8,200	360
	旭川電氣軌道	1,100	1,100	0
	大沼電	1,100	1,100	0
	旭川市街軌道	1,100	1,100	0
	旭川臨港軌道	1,100	1,100	0
	大沼電	1,100	1,100	0
	旭川市街軌道	1,100	1,100	0
	旭川臨港軌道	1,100	1,100	0
	旭川臨港軌道	1,100	1,100	0
岩手	花巻温泉電氣軌道	1,100	1,100	0
	秋保電氣軌道	1,100	1,100	0
	松島電車	1,100	1,100	0
	仙台市電氣部	1,100	1,100	0
	秋田電軌	1,100	1,100	0
	秋田電軌	1,100	1,100	0
	福島電氣軌道	1,100	1,100	0
	福島電氣軌道	1,100	1,100	0
	茨城常南電氣軌道	1,100	1,100	0
	茨城常南電氣軌道	1,100	1,100	0
栃木	日光自動車電車	1,100	1,100	0
	日光自動車電車	1,100	1,100	0
	群馬東武鐵道	1,100	1,100	0
	群馬東武鐵道	1,100	1,100	0
	千葉成田鐵道	1,100	1,100	0
	千葉成田鐵道	1,100	1,100	0
	東京市電氣局	1,100	1,100	0
	東京市電氣局	1,100	1,100	0
	東京市電氣局	1,100	1,100	0
	東京市電氣局	1,100	1,100	0
東京	京濱電氣鐵道	1,100	1,100	0
	京濱電氣鐵道	1,100	1,100	0
	西武鐵道	1,100	1,100	0
	西武鐵道	1,100	1,100	0
	王子電氣軌道	1,100	1,100	0
	王子電氣軌道	1,100	1,100	0
	京成電氣軌道	1,100	1,100	0
	京成電氣軌道	1,100	1,100	0
	京王電氣軌道	1,100	1,100	0
	京王電氣軌道	1,100	1,100	0
神奈川	箱根登山鐵道	1,100	1,100	0
	箱根登山鐵道	1,100	1,100	0
	江之島電氣鐵道	1,100	1,100	0
	江之島電氣鐵道	1,100	1,100	0
	橫濱市電氣局	1,100	1,100	0
	橫濱市電氣局	1,100	1,100	0
	鶴見臨港鐵道	1,100	1,100	0
	鶴見臨港鐵道	1,100	1,100	0
	新潟新潟電鐵	1,100	1,100	0
	新潟新潟電鐵	1,100	1,100	0
富山	富山市電氣軌道	1,100	1,100	0
	富山市電氣軌道	1,100	1,100	0
	石川溫泉電氣	1,100	1,100	0
	石川溫泉電氣	1,100	1,100	0
	石川溫泉電氣	1,100	1,100	0
	石川溫泉電氣	1,100	1,100	0
	石川溫泉電氣	1,100	1,100	0
	石川溫泉電氣	1,100	1,100	0
	石川溫泉電氣	1,100	1,100	0
	石川溫泉電氣	1,100	1,100	0
福井	福井電氣軌道	1,100	1,100	0
	福井電氣軌道	1,100	1,100	0
	山梨山梨電氣鐵道	1,100	1,100	0
	山梨山梨電氣鐵道	1,100	1,100	0
	長野上田溫泉電軌	1,100	1,100	0
	長野上田溫泉電軌	1,100	1,100	0
	岐阜名古屋鐵道	1,100	1,100	0
	岐阜名古屋鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡駿豆鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡駿豆鐵道	1,100	1,100	0
靜岡	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0
	靜岡電氣鐵道	1,100	1,100	0

鐵道軌道

地方	營業者	營業收入	營業支出	若引營業 純益金
地方	營業者	營業收入	營業支出	若引營業 純益金
名古屋	名古屋市電氣局	三,四〇,〇〇〇	二,三九,一〇〇	一,〇〇八,〇〇〇
三河	鐵道	三,三〇,〇〇〇	二,〇〇,〇〇〇	一,三〇〇,〇〇〇
新三河	鐵道	二,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
愛知	中村電氣軌道	一,四〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇
豐橋	電氣軌道	六,〇〇,〇〇〇	五,〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
三重	合同電氣	八,〇〇,〇〇〇	七,〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
京都	京都市電氣局	二,〇〇,〇〇〇	一,八〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇
京都	電燈	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
大阪	南海鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
大阪	大阪市電氣局	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
大阪	京阪電氣鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
大阪	阪神急行電鐵	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
大阪	大阪電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
兵庫	阪神電氣鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
兵庫	山陽電氣鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
兵庫	神戸市電氣局	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
鳥取	能勢電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
鳥取	米子電車軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇

△蒸氣

地方	營業者	營業收入	營業支出	若引營業 純益金
北海道	士別軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
北海道	沙流軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
北海道	江當軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
北海道	根室拓殖軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
宮城	仙南溫泉軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
宮城	栗原軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
秋田	五城目軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
秋田	日本硫黃	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
神奈川	湘南軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
靜岡	濱松電氣鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
三重	中勢鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	朝倉軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	兩筑軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	鞍手軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
合計		一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇

△瓦斯力

鐵道軌道

地方	營業者	營業收入	營業支出	若引營業 純益金
岡山	岡山電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
廣島	廣瀨鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
廣島	廣島瓦斯電氣	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
山口	山陽電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
山口	高松電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
香川	四國水力電氣	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
香川	琴平參宮電鐵	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
愛媛	伊豫鐵道電氣	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
高知	土佐電氣	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	小倉電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	福博電車	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	九州電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	九州鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	大牟田電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
佐賀	佐賀電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
長崎	長崎電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
熊本	菊池電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
熊本	熊本電氣軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
熊本	熊本市水道局	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
大分	別府大分電鐵	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
鹿兒島	鹿兒島市電氣局	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
合計		一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇

△蒸氣

地方	營業者	營業收入	營業支出	若引營業 純益金
北海道	早來軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
宮城	金華山軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
宮城	增東軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福島	警城炭礦	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福島	警城海岸軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
栃木	東武鐵道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
岐阜	神岡水電	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
靜岡	堀之内軌道運輸	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
鳥取	岩井町營	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
福岡	南筑軌道	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
宮崎	宮崎縣營	一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
馬力合計		一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
人力合計		一,〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇

優良國産潤滑油



ヤマトモト油

道路

總說 自動車運輸の發達と道路の整備とは兩者切り離して考へる事は出来ない、道路の整備状況は其の國に於ける自動車運輸者にてはバロメーターであり、亦逆に自動車工業の幼稚な處には見るべき道路施設もまたないものと言つてよい、我が國自動車工業は自動車製造事業法の實施と共に輝かしい將來を約束されるに至つたが、隨つて道路施設は如何となれば、遺憾ながら未だ餘りに幼稚過ぎるものがあると言はざるを得ない。

我が國の道路で一番困る事は氣候の關係上年一月から五月頃までの雪解けや降雨のためその大部分は殆ど整地としての用をなさぬ事である、従つてバス營業の如き年中無休を自指すならば、此の期間不整地として諸般の設計を考へねばならず、従つてシユスパートランスマシジョンの如きも獨り山間部の分配と平地との經濟運輸を考へる外に季節的問題をも考慮する必要がある。

内務省當局に於てもこの點を考慮し、自動車^のの改修構築に力を入れてゐるが、我が國の

道路

如き財政状態に於ては、急に道路の幅員の擴張や橋梁の改築等は出来ない、まして補裝の如きも急に望む事は先づ不可能であると言つていゝ、かゝる事情にある我國の如き場合に於ては形式的に幅員を増す事よりも先づ道路格を上げ、利用價值を増すために橋梁の強度を増し、曲線や勾配を變更して自動車運輸の利用上に支障ない様に改良を施す事から始めなければならぬ、幅員の擴張はその上での仕事としても遅くはない。

ともあれ今日自動車と道路とは決して離れては存在し得ない、アメリカでは道路の改良や新設や保守をする人々は先づ第一に自動車の運輸を練習する必要ありと言はれ、第二に自動車の興ふる道路上の影響を研究する事が肝要であるとされてゐる程である、しかるに我が國ではこの點に關する認識が一般に徹底してゐるであらうか。やゝもすれば自動車の如きは一部特殊等級の占有物であるか、さもなければ働け仕事に過ぎないといふ偏見が未だ一掃されず、道路問題と別個のものであると

考へられてゐる感はないか。自動車と道路の關係は今後眞に研明し、合理的に解決しなければならぬ問題が少くない。

而して我が國に於ける自動車の急速な發達は道路の改修構築に拍車をかけ本邦の道路は關進的に發達を遂げた、然し乍ら我が國の道路状況は自動車の發達に添はず未だ諸外國に比して遺憾の點がある、政府に於ても此の發達に力を盡してゐるのは勿論で内務省土木局は道路改良第二天機關事業計畫を樹立し去る昭和八年十月土木會議に提出し左の如き九年度を第一年度とする二十年改良計畫を決議した一方大正八年制定した道路法の改正意見が當路者より叫ばれてゐるが、目下審議を進行中の道路取締令の改正と共に同法の改正實現を見るものと視られる、これ等は悉く自動車交通の異狀な發達が起因してゐるものである、第二次二十年改良計畫は次の如し。

第二次二十年改良計畫の内容

(一) 國道改良費
金四億四千八百七十六萬八千圓
道路法第十條第一號に該當する國道七千五百二十六軒(千九百十六里)(北海道を除く)
中近代交通に適應せざるもの六千九百三軒(千七百六十里)を政府自ら改良するものと

す其の改良計畫の標準左の如し

(イ) 路 線

路線は現在道路によるを原則とするも地勢の關係其の他特殊の事由ある箇所には之を變更するものとす

す其の改良計畫の標準左の如し

(イ) 路 線

路線は地勢の關係其の他已むを爲ざる箇所を除く外大體現在道路を利用することを以て方針とす

(ロ) 有効幅員

有効幅員は道路構造令の規定に從ひ七米五に改良するを原則とするも都市内及其の附近、人家連擔する地、將來連擔すべき地及交通頻繁なる區間に在りては九米乃至十五米(大都市内又其の附近に於ては最大二十七米)とし山地其の他特殊の箇所には六米と爲す

(ハ) 勾 配

勾配は平地部に於ては三十分の一山地部に於ては十五分の一を限度とす但し地勢の關係上已むを爲ざる箇所限り十二分の一を限度とす

(ニ) 屈 曲

屈曲部中心線の半径は五十五米以上と爲すと雖も山地部其の他特殊の箇所には二十米を限度とす

(ホ) 路 面

路面は總て之を舗裝することとし交通の狀態に相應したる工種を採用するものとす

(ハ) 鐵道との交叉

鐵道との平面交叉は可及的之を避くるものとす

(ト) 橋 梁

橋梁の有効幅員は前後道路の有効幅員と同一とするも延長大なる橋梁に在りては之を最小六米とし其の構造は道路構造令又は街路構造令の規定する荷重に耐ふる永久的のものとす

(ニ) 特殊國道改良費

金八百四十萬圓
道路法第十條第一號に該當する國道三百八軒(七十八里)中未改良に屬する二百七十五軒(七十里)を改良するものにして其の計畫の概要左の如し

(イ) 路 面

路面は地勢の關係其の他已むを爲ざる箇所を除くの外大體現在道路を利用することを以て方針とす

(ロ) 有効幅員

有効幅員は七・五米に改良するを原則とするも山地又は特殊の箇所にして交通量特に少き區間に在りて四・五米とし地勢上工事主難の地に在りては更に一米縮少するものとす

(ハ) 勾 配

勾配は平地部に於ては三十分の一山地部に於ては十五分の一を限度とす但し特殊の箇所にして延長八十米以内の區間に限り十分の一とす

(ニ) 屈 曲

屈曲部中心線の半径は五十米以上と爲すと雖も山地部其の他特殊の箇所には十二米を限度とす

(ホ) 路 面

路面は砂利敷きを原則とする

(ト) 橋 梁

橋梁の有効幅員は前後道路の有効幅員と同一とし其の構造は永久的のものとす

◇第二次道路改良計畫ノ要點

而して土木會議は更に京濱間國道が全く交通飽和の狀態を呈し、自動車交通の機能を著しく減殺せるのみならず交通上危險少なからざる狀態に在るに鑑み、引續き京濱間國道交通

の緩和に關する件を審議し、併せて甲府下諏訪間及前橋新潟間道路を國道に認定するの件を議し、左の通夫を議決する所あり、而して之に基き第二次道路改良計畫に依る事業費總額及其年度割次の通更正を見た

一、京濱間國道交通の緩和に關する件

近時京濱間の道路交通に繁劇を加へ京濱間國道に於ける交通量既に飽和の狀態に在るの現況に鑑み左の諸項に基き左の諸項に基き速に交通緩和の方途を講ずるの必要ありと認む

一、現國道と別途に京濱間を連絡する國道新線(東京市麹町區外櫻田町より東京市新田區古市町を経て横市神奈川區神奈川一丁目に至るもの)を認定し政府に於て速に之を直轄改良することとし其の工事費約千五百六十万円を支出すること

二、京濱間交通の補助路線たる府縣道(東京市品川區下大崎町より丸子を経て横濱市神奈川區東神奈川に至るもの)は兩府縣をして成るべく速に改良せしむること
三、専ら高速度交通に供する道路の認定に關しては將來が通情勢の進展に鑑み別途方策を樹つること

二、國道路線追加に關する件

道路交通の發達に伴ひ現行法の規定する國道

認定標準を改正するの必要ありと認むるもの差當り左記府縣道を國道に認定し改良するの必要ありと認む

一、甲府市下諏訪町間道路

改良費約三百六十八万円

一、前橋市新潟市間道路

改良費約六百三十九万円

業伸長道路改良

五箇年計畫

第二次道路改良計畫は昭和九年度以降二十箇年に亘り未改良に屬する國道及指定府縣道の全部を改良するの計畫なるが現下産業交通の情勢に鑑みるときは産業上重要なる地點を連絡する區間の改良特に急を要する状況に在るを以て昭和十一年度豫算の編成に當り第二次道路改良計畫の實行方法として産業伸長道路改良五箇年計畫を可立する所ありたり

右産業伸長道路改良五箇年計畫左の如し。
全國を通じ自動車運輸の低廉迅速安全を圖り以て生産配給販賣の経費低減を促して各種産業並易の基礎的條件を改善し併て一朝有事の際に於ける動員の迅速を確保するは刻下の急務とす而して國道及指定府縣道全線を通じて之に適應せしむるが爲には其の經費約六億九千万円を要するも就中全國の産業上重要な

る地點を連絡する區間を選び之を一體として改良工事を施行するは現下産業交通の情勢に鑑み最も急を要するを以て之が實施の爲五箇年計畫を樹てたり本計畫の實施に依り

(一) 國道は全線(關門國道を含む)を通じ

自動車運輸を可能且敏速ならしむ其の工事區間及工事費豫算額は別表(一)の通り

(二) 府縣道は産業上重要な左記區間の自動車運輸を可能且敏速ならしむ其の府縣別補助額は別表(二)の通り

(イ) 全國府縣廳所在地相互間全部

(ロ) 七大都市を中心とする左記産業プロツク内に於ける主要幹線

1 東京(横濱) 北條館山、銚子、水戸

福島、宇都宮、前橋、長野、松本、甲府

2 名古屋(豊田) 長野、富山、福井、敦賀

鳥羽

3 大阪(京都、神戸) 和歌山、新宮、松

坂、彦根、敦賀、舞鶴、松江、岡山、四

國

4 福岡(唐津、佐世保、長崎、三角、熊本

大分、門司

(ハ) 第一種及第二種重要二灣と其の背地

域内に於ける市との連絡

(ニ) 表日本と裏日本との連絡

(ホ) 東北振興上必要なる幹線道路

産業伸長道路改良五年計畫

路線名	區間	府縣名	改良商	延長	工種	幅員	工費
一	自橫濱市至清水市	神戶川	自湯本町至箱根町	二二・〇軒	鋪收裝	六〇・五米	六〇〇千円
一	自靜岡市至名古屋市	靜岡	自田方郡園南村至靜岡市	五六・〇	同	九六〇〇	三一七〇
一	自靜岡市至名古屋市	愛知	自靜岡市至名古屋市	一〇四・〇	同	九〇〇	五、七〇〇
一	自名古屋市至宇治山田市	三重	自西桑名町至宇治山田市	七五・〇	同	一九〇〇	四、〇九四
二	自名古屋市至京都市	滋賀	自三重郡(分)日永村(分)至大津市	三三・〇	同	七・五	一、六〇〇
二	自神戶市至岡山市	兵庫	自姫路市外花田村至岡山市	四〇・五	同	七・五	一、九六〇
二	自岡山市至廣島市	岡山	自岡山市至金光町	一三・〇	同	七・五	一、〇六七
二	自廣島市至小郡市	山口	自小郡市至小郡市	四八・〇	同	七・五	三、〇四〇
二	自門司市至久留米市	福岡	自折尾町至久留米市	五一・五	改築鋪裝	同七・五	一、二〇〇
二	自久留米市至鹿兒島市	熊本	自植木町至八代町(川内町地内(大平橋))	〇・四五	同	七・五	一、四〇〇
三	自小倉町至大分市	大分	自小倉市至大分市界	二五・〇	改築鋪裝	同七・五	一、四〇〇
三	自延岡市至宮崎市	宮崎	自延岡市至高島町	二〇・七	同	七・五	一、三三〇
三	自宮崎市至鹿兒島市	鹿兒島	自宮崎郡藤原村(一ツ瀬川橋梁)至鹿兒島市	一五・〇	改築鋪裝	七・五	一、一〇〇
四	自東京市至仙台市	茨城	自南埼玉郡浦生村至仙台市	三七・二	同	九・〇	二、二〇〇
四	自仙台市至仙台市	宮城	自仙台市至仙台市	一〇・〇	同	七・五	二、三三〇
四	自仙台市至仙台市	福島	自仙台市至仙台市	三三・〇	同	同	四、八四〇
四	自仙台市至仙台市	岩手	自仙台市至仙台市	一〇・八	同	同	一、四〇〇
五	自山形市至山形市	山形	自尾花澤町至尾花澤町	二二・〇	改築	同六・〇	一、二〇〇
五	自秋田市至秋田市	秋田	自山本郡鹿角村至大鰐町至青森市	三九・〇	改築鋪裝	七・五	一、六七〇
五	自青森市至青森市	青森	自大鰐町至青森市	四二・〇	同	同	二、〇四〇
六	自東京市至水戸市	茨城	自水戸市至水戸市	三七・〇	同	同	一、八五〇

路線名	區間	府縣名	改良商	延長	工種	幅員	工費
二	自門司市至門司市	福岡	關門隧道	四・〇	隧道	同	八、〇〇〇
二	自久留米市至久留米市	福岡	同	一、一五	改築鋪裝	同七・五	一、六九〇
二	自久留米市至鹿兒島市	熊本	同	〇・四五	同	七・五	一、四〇〇
三	自小倉町至大分市	大分	同	二五・〇	改築鋪裝	同七・五	一、四〇〇
三	自延岡市至宮崎市	宮崎	同	二〇・七	同	七・五	一、三三〇
三	自宮崎市至鹿兒島市	鹿兒島	同	一五・〇	改築鋪裝	七・五	一、一〇〇
四	自東京市至仙台市	茨城	同	三七・二	同	九・〇	二、二〇〇
四	自仙台市至仙台市	宮城	同	一〇・〇	同	七・五	二、三三〇
四	自仙台市至仙台市	福島	同	三三・〇	同	同	四、八四〇
四	自仙台市至仙台市	岩手	同	一〇・八	同	同	一、四〇〇
五	自山形市至山形市	山形	同	二二・〇	改築	同六・〇	一、二〇〇
五	自秋田市至秋田市	秋田	同	三九・〇	改築鋪裝	七・五	一、六七〇
五	自青森市至青森市	青森	同	四二・〇	同	同	二、〇四〇
六	自東京市至水戸市	茨城	同	三七・〇	同	同	一、八五〇

自動車道開設状況調

其一

(昭和十三年三月調)

府縣開設者名

自動車道の築造

許可(認可)したる

法上の根據

府縣	開設者名	區間	延長	幅員	築造費	年月日	許可(認可)したる	法上の根據
北海道	旭自動車株式會社	自函館市大森町至釧田郡湯川村	四、五	一〇	一〇〇,〇〇〇	大正七、八	交通物體	官有地使用許可に包含し許可す
和歌山	高野山參詣自動車株式會社	自伊都郡九度山町推出至同郡高野村高野山	二、八	八、八	一〇〇,〇〇〇	大正一、二	同右	自動車營業免許條件
奈良	生駒登山自動車株式會社	自生駒郡生駒村谷田至同村菜田	一、〇	五、五	五〇,〇〇〇	大正一〇、一	同右	土木工事取締規則による私道
大阪	石切自動車株式會社	中河内郡大戸村石切	一、一〇	七、〇	一五〇,〇〇〇	昭和一二、一	一般自動車及自營業合自動車	明治四年太政官布告第六四七號
山梨	富士自動車株式會社	南都留郡福地村自上古田至鈴鹿馬返	七、四	五、五	一〇〇,〇〇〇	昭和一二、一	自營業合自動車	同右
神奈川	日本自動車株式會社	自鎌倉郡小坂村字大船至同郡川口村字片瀬	六、五	七、二	三〇〇,〇〇〇	大正五、二	一般自動車	同右
愛知	名岐自動車株式會社	名古屋市東湯清水町同西區二丁目	四、六〇	六、〇	一、五〇〇,〇〇〇	昭和四、五	一般自動車	同右
愛知	三州自動車株式會社	1 豊橋市東田町北臨濟寺八名郡下川村 2 八ヶ村下川村寶飯郡豊川町 3 西掛日井郡山田村一宮市 4 中島郡今勢村葉栗郡北村	四、四	五、四	一、〇〇〇,〇〇〇	昭和六、七	一般自動車及自營業合自動車	同右

群馬	箱根土地株式會社	自吾妻郡嬭野村鬼押出若至同郡后村萬座温泉	一〇、九	六、〇	二〇〇,〇〇〇	昭和五、三	同右	同右
群馬	箱根土地株式會社	自吾妻郡嬭野村萬座温泉至同郡草津町	三、〇	六、〇	五五〇,〇〇〇	昭和六、七	同右	同右
栃木	日光登山鐵道株式會社	自上都賀郡日光町宮社町中宮町	二、二	六、二	三〇〇,〇〇〇	昭和七、八	同右	同右
神奈川	富士箱根自動車株式會社	自足柄下郡元箱根村舊札場至同郡仙石原村片平	五、三	七、〇	一六、三〇〇	昭和七、八	一般自動車及自營業合自動車	同右
神奈川	箱根遊船株式會社	自足柄下郡宮城野村強羅至同郡湯泉村小湧谷	一、四	四、〇	一〇〇,〇〇〇	昭和四、五	同右	同右
神奈川	富士箱根自動車株式會社	自武庫郡大庄村西大島至川邊郡小瀬村川面	一、一	七、二	一、三、〇〇〇	昭和六、七	同右	同右
兵庫	阪神國道自動車株式會社	自足柄下郡宮城野村強羅至同郡元箱根村湖尻	六、四	四、〇	一、四、〇〇〇	昭和八、九	同右	同右
神奈川	駿豆鐵道箱根遊船株式會社	自足柄下郡宮城野村強羅至同郡仙石原村台ヶ嶽	一、四	四、〇	〇〇,〇〇〇	昭和八、九	同右	明治四年太政官布告第六四八號
和歌山	明光バス株式會社	自西牟婁郡有富田村大字堅田至同郡瀬戸山	〇、〇	七、〇	一〇〇,〇〇〇	昭和六、七	同右	同右
北海道	小樽正山溪自動車株式會社	自小樽郡新里村地内至札幌郡豊平町字定山溪	二、一〇	六、〇	三〇〇,〇〇〇	昭和一二、一	同右	同右
静岡	駿豆鐵道株式會社	自田方郡南村字國見至熱海至駿東郡富士岡村字神山長尾峠	二、〇	六、〇	三〇〇,〇〇〇	昭和七、八	同右	同右
長野	箱根土地株式會社	自長野縣井澤町岩井至群馬縣嬭野村鬼押出	一、八	七、〇	一〇〇,〇〇〇	昭和七、八	同右	明治四年太政官布告第六四八號

道路延長地方別

(昭和十年十二月末現在)

單位メートル「△」は特殊國道「○」は準地方費道

地方	國道	府縣道又ハ地方費道	市道	町村道	合計
北海道	4,110,000米	3,310,000米	2,210,000米	3,110,000米	12,740,000米
東北區	1,520,000	2,110,000	3,210,000	2,210,000	9,050,000
青森	121,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,561,100
岩手	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
宮城	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
秋田	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
山形	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
福島	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
關東區	2,210,000	2,210,000	2,210,000	2,210,000	8,840,000
茨城	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
栃木	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
群馬	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
千代田	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
東京	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
神奈川	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
北陸區	1,520,000	2,210,000	2,210,000	2,210,000	8,250,000
新潟	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
富山	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
石川	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
福井	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100
北陸	131,100	1,020,000	1,210,000	1,210,000	3,592,100

滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 鳥取 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知 福岡 佐賀

五〇八、二七二
五六五、九七九
五六八、一七二
五九一、〇三三
五五八、七六五
六三六、二一〇
七七七、四六一
九二五、二六一
七三七、〇八九
九〇九、四三六
一、〇七四、五四八
六九〇、四四八
九〇〇
七六九、九八九
一一〇〇〇
九三三、三二二
一一〇〇〇
九三五、九二八
一一〇〇〇
一、一〇七、三二〇
一、一〇〇、三三〇
一、二六〇、四五二
一、一三〇

三重の経路に依り日永、華山、關、草津經由大津市に達す
同上を大津經由京都市に達す
同上を京都經由大阪市に達す
〔同上を大阪、歌島、小田、尾崎、鳴尾、瓦木、西宮、本山、魚崎、住吉、御影經由神戸市に達す〕
京都の経路に依り京都、深草、伏見、宇治經由奈良市に達す
大阪の経路に依り大阪、堺、淡輪經由和歌山市に達す
京都の経路に依り京都、龜岡、福知山、枚田、八田、村岡經由鳥取市に達す
同上を鳥取、倉吉、赤崎、米子經由松江市に達す
兵庫の経路に依り神戸、明石、姫路、餘部經由岡山市に達す
同上を岡山、福山、尾道、海田市經由廣島市に達す
同上を廣島、徳山、小郡經由山口市に達す
〔兵庫の経路に依り神戸、明石(海路)、岩屋、福良(海路) 撫養經由徳島市に達す〕
岡山の経路に依り餘部、大野(海路)、經由高松市に達す
同上を高松、坂出、丸龜、瀧川、川之江、小松經由松山市に達す
同上を瀧川、善通寺、琴平、池田經由高知市に達す
山口の経路に依り小郡、下關(海路)、門司、小倉、名島經由福岡市に達す
同上を福岡、田代、鳥栖經由佐賀市に達す

長崎 熊本 大分 宮崎 鹿兒島 沖繩

一、二七六、六八七
一、三三〇
一、三二二、八七三
一、三三〇
一、二六四、二四五
一、三三〇
一、四七二、五八八
一、三三〇
一、五二六、三八四
一、三三〇
一、五二八、七九五
一、三七三、〇〇〇

同上を福岡、武雄、彼杵經由長崎市に達す
佐賀の経路に依り田代、久留米、國分、山鹿經由熊本市に達す
〔山口の経路に依り山口、下關(海路)、門司、小倉、中津、龜川、那府經由大分市に達す〕
同上を大分、延岡經由宮崎市に達す
熊本の経路に依り熊本、八代、水俣、阿久根經由鹿兒島市に達す
同上を鹿兒島(海路)經由那覇市に達す

國道路線別

(附別一覽表) (昭和十二年四月一日)

本表は道路法により國道として認定したる路線を けたるものなり
但し第一表の國道延長と符號せざるは本表には附加路線等を含むに因る
(重用距離とは同一路線にして更に他の路線に亘れる部分を謂ふ)

一 號 二 號 三 號 四 號 五 號

東京市より伊勢神宮に達する路線
東京市より鹿兒島縣所在地に達する(甲)路線
東京市より鹿兒島縣縣所在地に達する(乙)路線
東京市より北海道廳所在地に達する路線
東京市より青森縣廳所在地に達する路線

Table with 3 columns: 主要距離(米), 重用距離(米), 合計(米). Rows correspond to routes 1-5.